基本解析マニュアル 基本編1

基本解析マニュアル 基本編1 「大気時間値集計・解析プログラム」による集計

1. 準備するもの

基本解析を行うため、C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u> から、 PCに以下をインストールして下さい。

- (1) 大気時間値集計・解析プログラム(最新版: CSyuukei-admin-v1-5-3.msi)※昨年度に基本解析作業を行った方は、インストールは不要です。
- (2) 測定局情報ファイル(最新年度: 2007年度までの全年度を使用)
 ※昨年度に基本解析作業を行った方は、2007年度ファイルを追加してください。
- (3) 大気時間値データファイル(最新年度: 2007 年度までの全年度を使用)
 ※昨年度に基本解析作業を行った方は、2007 年度ファイルを追加してください。

♥C型共同研	究メンバーサイト	Mozilla Firefox			- 7 🛛
) 表示(V) 履歴(S) フックマ	ーク(E) ツール(E) ヘルプ(E)		- C. Google	ن ۵
C #II					~
C	天向研究アンバーク				
メインメニュー ニーム ニュース フォーラム スタラコール リンク版 第20シック 大気気形を予測シスタム リンク版 第20シック 大気気形を予測シスタム リンク酸 第20シック 第20シック 東京市 マスクリスターム リンク酸 東京市 東京市 大気気影を予約シットならします。 東京の市の大気気を発き、シークシット 天気空かられのシット 大気気影響 見な空音などのない アカウンド電気 イベックト アカウンド電気 イベックト マスクト マスクト マスクト マスクト マスクト マスクト マスクト マスクト マスクー マスクー	大(円)の分え、アノハーワ そ期間男名男女気のとなった。 そのからしていたいです。 そのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	2006-9-4) NE グランロー たがまるようになりました (2008-9-1) NE グランロー たが、 (2008-7-1) (2008-7-3) (2008-7-3) (2008-7-3) (2008-7-3) (2008-7-3) (2008-6-24) 東京学校会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社	直集計解析プログラムの取得 0 0 13 0 13 13 13 13 13 13 13 13 155 7 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155 155	2008-8-29 10:42 ehime.uno 2008-8-28 19:34 saga.takahashi 2008-8-28 20:15 (kwoka.yamazaki 2008-6-30 11:41 saga.yamazaki 2008-6-30 11:11 saka.yada 2008-6-30 11:02 saka.yada 2008-6-30 10:02 saka.yada 2008-6-31 15:10 yamaguchira yada 2008-6-11:14 saka.yada 2008-6-51 11:03 saka.yada 2008-6-51 11:03 saka.yada 2008-6-51 11:03 saka.yada 2008-5-21 11:03 saka.yada 2008-5-21 11:03 saka.yada 2008-5-21 11:03 saka.yada	副主要用 日20年夕海田県の名 2007年周辺の会社のの名 2007年周辺の会社の名 2007年周辺の会社の名 2007年周辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 1207年月辺の会社の名 113年の主要などの名 113年の主要などの名 113年の主要などの名 2回転引きたみ目的会社の会社の名 空間振行会社の名 2回転引きたみ目的会社の名 113年の主要などの名 2回転引きたみ目的会社の名 2回転引きたみ目的会社の名 2回転引きたみ目的会社の名 2回転日会社の名 2回転日会社の名 <td< th=""></td<>
					10群隔県 11地玉県 12千葉県 13東京都 ✓
完了	1				project.nies.go.jp 🔒

(1)「大気時間値集計・解析プログラム」最新版の取得方法

OC型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u>のダウンロード

基本解析マニュアル 基本編2 集計結果ファイルの作成

Oエクセル形式データの作成

「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルを用いて、エクセルで集計を行い、集計結果ファイルを作成 します。

※以下の設定画面イメージで、年度を指定する箇所は入力例ですので、テキストと合っていない場合があります。テキストに合わせ、適宜読み替えて下さい。

(1)単純集計-年度別出力ファイルの作業

①出力ファイルをエクセルで開きます。エクセルを起動し、全年度一括ファイル yAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

最新年度ファイル

yPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)

全年度一括ファイルの場合

yAPP_SS.txt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

・測定項目コード

03:NO₂, 04:NOx, 06:Ox, 07:NMHC, 10:SPM, 51:PO

Microsoft Excel				
ファイル(E) 編集(E) 表示	〒(⊻) 挿入仰 書式(②) ツール(亚)	データ(<u>D</u>) ウィンドウ(<u>W</u>) ヘル	プ(出) 質	間を入力してくだざい・
①ツールバー-		2+ X+ 🛍 🚜	_ ? .	
ファイルの場所の:	☐ 23愛知県単純	- E Q X 🖄	<u>~</u> × == ・ツール() ・	
履歴	y232002_23.txt y232004_02.txt y232002_51.txt y232003_01.txt y232004_04.txt y232003_02.txt y232004_06.txt	t]_22.txt]_23.txt]_51.txt	
71 FEFTX2F	<pre> y232003_03.txt y232004_07.tx y232003_04.txt y232004_10.txt y232003_06.txt y232004_22.txt y232004_23.txt y23204_23.txt y23204_23.txt</pre>	t = y232005_23.txt t = y232005_51.txt t = yA23_01.txt t = yA23_02.txt		
デスクトップ	y22003_01.txt i y22003_01.txt i y22004_51.txt i y22003_22.txt i y22003_22.txt i y22003_23.txt i y22005_02.txt i	t [] yA23_03.txt t [] yA23_04.txt t [] yA23_04.txt t [] yA23_06.txt		
*	i y232003_51.txt i y232005_03.txt i y232005_03.txt i y232005_04.txt	t 📳 yA23_07.txt t 🗐 yA23_10.txt		
お気に入り	<u>(</u>	/APP_SS.txtまたは	、yPPYYYY_SS.t>	t を選択。
	ファイル名(N): ファイルの種類(T): テキストファイル (*.pr	n; *.txt; *.csv)	 開(①)・ キャンセル 	
	②ファイルの)種類は、テキストフ	ァイルを選びます	0

```
②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたテキストデータとします。
```

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3	
 選択したデータは区切り文字で区切られています。 D太へ]をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。 一元のデータの形式 データのアナイル形式を選択してください: () カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたう イスペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ 取り込み開始行(R): 1 二 元のファイル(Q): 932: J 	
ファイル C.¥Documents and Settings¥情報整備室¥デスクトップ¥集計 1 局コード,年度,有効測定値総和(年総計),有効測定時間総和 2 23101010,1376,223280,8314,26.9,147.0,19.7,22,6185,349 3 23103510,1976,215155,8458,25.4,112,0,17.8,23,5678,355 4	テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3 ? アイールドの区切り文字を指定してください。「データのブレビュー」ボックスには区切り位置が表示されます。 区切り文字 「タブ①」「セミココン(M)」「カンマ〇」」 エスペース(S)」「その他(Q): 「違続した区切り文字は1文字として扱う(E) データのブレビュー(P)
	周コード 年度 有効測定値総和(年総計) 有効測定時間総和(年総計) 平均値(年総計) 23101010 1976 223280 8314 26.9 23103510 1976 215155 8458 25.4 < ・ ・ キャンセル 〈戻る(B) 次へ(N) 〉 完了(E)

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

他は「G/標準(G)」(デフォルト)のまま、変更しません。「完了」をクリック。

(局コードの先頭文字が0で始まる県があるため、データ形式を文字列データとして読み込みます。)

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3 🦳 🔀						
区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。 [G/標準]を選択すると、数字は数値に、日付は日 付形式の値に、その他の値は文字列に変換されま す。 詳細(<u>A</u>)						
「データのブレビュー(P)						
局 二一 P 住度 有 効測定値総和(年総計) 有効測定時間総和(年総計) 平均値(年総計)						
23103510 1976 215155 8458 25.4						
<u>キャンセル</u> < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)						

④昨年度までの集計結果がある場合は、最新年度(2007 年度)集計データ yPP2007_SS.txt を、過去の集 計データ yAPP_SS.xls に追加します。(yPPYYYY_SS.txt のタイトルを除くすべてデータの行番号をドラ ッグしてコピー、yAPP_SS.xls の最後尾にペースト。エクセルブック形式で保存。)過去データのシートに オートフィルタがかかっている場合は、オートフィルタを外してから、コピーしてください。

⑤データの並べ替えを行うために、シートの左端1の上をクリックし、シート全体を選択。

N	licrosoft Ex	cel-yA23_	06.txt					
	ファイル(E) 編	[集(E) 表示(⊻ 挿入Φ	書式(<u>O</u>) ツ	ール① デー	タ(<u>D</u>) ウィンド	ウW ヘルブ	(H) - 8 ×
D	🛩 🖪 🐋	a 🕽 🖉	አ 🖻 🖻	- 💅 IN -	Ci + 🍓 S	E - AL AL	🛍 🚜 100	× • 🕄 🗸
	A1	-	<u>f</u> _x 局コート					
	A	В	С	D	E	F	G	Н
1	局コード	年度	有効測定値	有効測定間	平均値(年編	最大値(年紀	最小値(年紀	標準偏差(二
2	23101010	1976	223280	8314	26.9	147	0	19.7
3	23103510	1976	215155	8458	25.4	112	0	17.8
4	23105510	1976	264470	7959	33.2	137	0	20.5
5	231 0801 0	1976	304361	8554	35.6	215	0	21.4
6	23111010	1976	251351	8294	30.3	151	0	20
7	23201010	1976	256727	8403	30.6	138	0	19.4
8	23201520	1976	231046	7359	31.4	140	0	16.8
9	23202020	1976	237991	81.04	29.4	132	0	16.7
10	23202510	1976	275177	5952	46.2	154	0	23.4
11	23203010	1976	254761	8494	30	236	0	19.3
12	23204020	1976	231882	8120	28.6	141	0	20.1 💌
H 4	▶ ▶ <u>\</u> \ <u>v</u> A23	<u>06</u> /			•			•

⑥ツールバー「データ」→「並べ替え」。

最優先されるキー「局コード」、2番目に優先されるキー「年度」、範囲の先頭行「タイトル行」をチェックし、 「OK」をクリック。「数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う」をチェックし、「OK」をクリック。

並べ替え	? 🔀
最優先されるキー 「局コード →	 ● 昇順(<u>A</u>) ○ 降順(<u>D</u>)
2 番目に優先されるキー — 「年度	 ○ 昇順(○) ○ 降順(№)
3 番目に優先されるキー	 ● 昇順① ○ 降順(<u>G</u>)
範囲の先頭行 ● タイトル行(R) C テ オプション(Q)…	"ータ(<u>W</u>) K キャンセル

並べ替えの前に
 次の並べ替えのキーにはテキスト形式の数値が含まれているため、正しくソートできません:
 局コード
 操作を選択してください。
 ③ 数値に見えるものはすべて数値として並べ替えを行う(N)
 ④ 数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う(T)
 OK
 キャンセル
 ヘルプ(H)

⑦ツールバー「ファイル」→「名前を付けて保存」

ファイルの種類をエクセルブック形式で、保存。

名前を付けて係	¥存	? 🔀
保存先①:	🔁 23愛知県単純 💽 🖕 - 🖻 🔞 🗙 📸 🖬 • ツール	,(<u>L</u>) →
③ 履歴	衝mA23_06.xls	
۲۲ ۲¥عx>۲		
デスクトップ		
* お気に入り		
	ファイル名(N): mA23_06.xls ・	保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(T): Microsoft Excel ブック (*.xls)	キャンセル

*①から⑦の作業を繰り返し、03:NO_{2、}04:NOx、06:Ox、07:NMHC、10:SPM、51:POについて行いま す。 (2)単純集計ー月別出力ファイル

- (1) 出力ファイルをエクセルで開きます。
 - ・昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データmAPP_SS.xlsを開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの 最新年度(2007 年度)ファイル mPP2007_SS.txtを開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイルmAPP_SS.txtを開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

mAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

mPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)

・測定項目コード

03:NO₂,04:NOx,06:Ox,07:NMHC,10:SPM,51:PO

以下、「年度別単純集計」の2~6と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

④昨年度までの集計結果がある場合は、過去の集計データ mAPP_SS.xls の「mAPP_SS」シートに、最新 年度データをコピーし、追加。(yPPYYYY_SS.txt のタイトルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコ ピー、yAPP_SS.xls の末尾にペースト。エクセルブック形式で保存。)過去データのシートにオートフィルタ がかかっている場合は、オートフィルタを外してから、コピーしてください。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

 $\mathbf{5}$

⑦1990年度(固定)から2007年度(最新年度)のデータを抽出。

Bをクリックし、列Bを選択します。ツールバー「データ」→「フィルタ」→「オートフィルタ」をチェック。

🔀 M	icrosoft Ex	cel - mA23	_06.xls								
	ファイル(<u>E</u>) 編	諜(E) 表示	⊻ 挿入Φ	書式(0) ツ	/-ル(T)	データ	① ウィンドウW ヘルプ(H)		-	.8×	
D	🗃 🖬 📆	a 🛯 🖤	X 🖻 🛍	• 🛷 K) =	0.+ 1	2↓ 1	並べ替え(<u>S</u>)				
	B1		fx 年度			5	74NA(E)	•	オートフィ	ルタ(E)	
	A	В	С	D	E	5	フォーム(<u>O</u>)	1	すべて表	示(<u>s</u>)	
1	局コード	年度	年	月	有効測	1	集計(B)		フィルタフ	ヤションの	設定(A)
2	23101010	1976	1976	4	25	-		-	10		
3	231 01 01 0	1976	1976	5	31		<br √/J%RQJ\ <u>U</u> /	_	8	2	
4	231 01 01 0	1976	1976	6	27	5	テーブル(<u>T</u>)		7	2	
5	231 01 01 0	1976	1976	7	16	3	区切り位置(E)		3	2	
6	231 01 01 0	1976	1976	8	21	2			3		
7	231 01 01 0	1976	1976	9	16	d:			2	1	
8	231 01 01 0	1976	1976	10	18	1	ブループとアウトラインの設定(G)		2	1	
9	231 01 01 0	1976	1976	11	11	IP t	ピボットテーブルとピボットグラフ レポート(<u>P</u>)		0	1	
10	23101010	1976	1976	12	12		★#8≓ ニカの取れい ユ (□)		0	1-1	
14 4	• • <u>MA23</u>	<u>306</u> /				2 5	F-9の更新(B)				

「B1」のブルダウンボタンをクリックし、オプションを選択。

	licrosoft	Excel-m	A23_06	xls						ļ	
8	ファイル(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入①	書式(0) ツ	·−ル① デー	·タ(D) ウインド	かШ ヘルス	λ(П)		_ 8 ×
D	🛩 🖪 🐔	a B.	** X	b C	• 🛷 🗠 •	ci + 🍓 :	$\Sigma - \frac{A}{2} \downarrow \frac{Z}{4} \downarrow$	🛍 🚯 100	1% - 🔉 🗸		
	B1	-	fx	年度		L'ansaire a	1091 1090				
	A	В		С	D	E	F	G	н	I	J 🔽
1	局コード	年度	(一)年		月	有効測定値	有効測定時	平均值(月)	最大値(月編	最小値(月紅	標準偏二
2	231 (7/	(て) グテント	\mathbf{Y}	1976	4	25256	716	35.3	111	10	1
3	231	ション		1976	5	31526	738	42.7	147	8	2
4	231 1976			1976	6	27035	712	38	147	7	2
5	231 1978		a	1976	7	16995	689	24.7	113	3	2
6	231 1979			1976	8	21693	740	29.3	130	3	
7	231 1981			1976	9	16483	715	23.1	134	2	1
8	231 1982		0	1976	10	18399	739	24.9	112	2	1
9	231 1984			1976	11	11793	716	16.5	66	0	1
10	231 1985		+	1976	12	12934	740	17.5	53	0	1 🛶
14 4	► ► \ <u>m</u> 4	23.06/						1		-	

抽出条件の指定「1990」「以上」「AND(A)」「2007」「以下」をチェック、「OK」をクリック。

オートフィルタ オプション			X				
抽出条件の指定: 年度							
1990	*	以上	~				
⊙ AND(<u>A</u>) OR(<u>O</u>)							
2006	¥	以下	~				
?を使って、任意の1 文字を表すことができます。 * を使って、任意の文字列を表すことができます。							
		OK	キャンセル				

基本解析マニュアル 基本編2

⑧新規にシートを挿入。(ツールバー「挿入」→「ワークシート」をクリック)。シート名を右クリックして「名前の 変更」をクリック、シート名を「1990-2007」に変更。

💌 м	icrosoft E	ixcel – mA2	3_06.	xls							
:2)	7711/(E)	編集(E) 表示	F(V)	挿	入(1) 書式(O) ツール(T)	デー	-タ(<u>D)</u> ウィン	ドウ(w) へル:	プ(<u>H</u>) Adobe	PDF(<u>B</u>)	_ 8 ×
10	📬 🔒 🖻	a a 🛽	ABC		セル(<u>E</u>)	0	- 🧕 Σ	- A↓ X↓ ∭	100% 🦓	- 🕜 📑	. · ·
: 📆	R R				行(<u>R</u>)						
	A1	-	fx		列(<u>C</u>)						
	A	В			ワークシート(型)		F	G	Н	I	J 🗖
1]			グラフ(<u>H</u>)						
2					記号と特殊文字(<u>S</u>)	F					
4					改ページ(<u>B</u>)	⊢					
5				fx	関数(<u>F</u>)						
6					名前(<u>N</u>) ト						
7			_	1	コメント(M)	F					
9						t					
10				2	図表(G)						~
H 4	▶ ▶ <u>199</u>	10 <u>-2006 /</u> mA2	23_06		オブジェクト(の)		<			·]	>
עדב	۲			2	ハイパーリンク(① Otrl+K				N	IUM	
עדב	F			2	ハイパーリンク① Ctrl+K	-			N	IUM	

 ③元データシート「mAPP_SS(PP:県コード SS:項目コード)」をクリックしてアクティブにし、⑦で抽出した 1990-2007 年度のデータの全レコード行をコピーし、「1990-2007」シートの先頭行に貼付け。 10レコードの並べ替え。

シートの左端1の上をクリックし、シート全体を選択します。

ツールバー→「データ」→「並べ替え」局コード>月>年度の順に並べます。範囲の先頭行「タイトル行」を クリックし、「OK」をクリック。「数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う」をクリック。

並べ替え	? 🛛					
最優先されるキー 「局コード	○ 昇順(A) ○ 降順(D)					
2 番目に優先されるキー	 ○ 昇順(○) ○ 降順(N) 					
3 番目に優先されるキー 年度	 ○ 昇順① ○ 降順(G) 					
範囲の先頭行 で タイトル行(R) C デ オプション(Q) OK	-9(W)					
並べ替えの前に		? 🛛				
 次の並べ替えのキーにはテキスト形式の数値が含まれているため、正しくソートできません: 局コード 操作を選択してください。 数値に見えるものはすべて数値として並べ替えを行う(№) (*) 数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う(①) OK キャンセル ヘルプ(H) 						

レコードの並べ替えを実行すると、同じ測定局コードの1月(1990-2007年度)、2月(1990-2007年度)…1 2月までの順にレコードが並びます。

M	licrosoft	Excel -	mA23_0)6.xls								L	
:0)	ファイル(E)	編集(E)	表示()	の 挿入(1)	書式(0)	ツール(エ) デ	ータ(<u>D</u>) ウィン	ドウ(図) ヘルフ)(<u>H</u>) Adobe	PDF(B)	質問を入力し	してください -	_ @ ×
10		2		× ایک	B B - (3 - 0	- 😣 Σ	- 21 XI 1	100%	• @] !	11 • ≣ ≣	a 📰 - 🖄	- <u>A</u> - <u></u>
: •••	-		_										
: 🗠	A1	-		6 局コート									
	A				D	F	F	G	н	T		ĸ	
1	局コード	年度	5	Æ	月	有効測定	何有効測定的	平均值(月)	最大値(月編	- 最小値(月)	標準偏差()	中間値(月紀	有効測
2	21 201 01	10	1990	1991	1	11914	4 727	16.4	40	1	10.6	15	17200
3	21 201 01	10	1991	1992	1	7173	3 735	9.8	36	0	8.2	7	
4	21 201 01	10	1992	1993	1	8281	733	11.3	36	0	8.7	8	
5	21 201 01	10	1993	1994	1	5928	3 726	8.2	30	0	7.1	6	
6	21 201 01	10	1994	1995	1	8813	3 729	12.1	32	1	8.2	10	
7	21 201 01	10	1995	1996	1	9715	5 723	13.4	36	0	10.3	11	
8	21 201 01	10	1996	1997	1	8775	5 729	12	36	0	9.7	9	
9	21 201 01	0	1997	1998	1	12087	1 728	16.6	43	0	11.4	14	
10	21 201 01	0	1998	1999	1	6191	438	14.1	38	0	11.5	11	
11	21 201 01	0	1999	2000	1	11189	3 742	15.1	45	0	13.5	12	
12	21 201 01	0	2000	2001	1	12327	/ 744	16.6	39	0	11.8	16	
13	2120101	0	2001	2002	1	11803	3 742	15.9	47	0	12.2	14	
14	2120101	0	2002	2003	1	11371	709	16	41	0	12.3	14	
15	2120101	0	2003	2004	1	11854	4 /44	15.9	41	0	12	14	
16	2120101	.0	2004	2005	1	12167	/ /43	16.4	41	0	12.1	16	
17	2120101	0	2005	2006	1	14881	/44	20	44	0	12.4	21	
18	2120101	0	2006	2007		12151	/38	16.5	44	0	12	14	
19	2120101	0	1990	1991	2	10758	3 602	10.3	04	0	11.3	10	
20	2120101	0	1991	1992	2	10076	3 077	10.7	70	0	10.7	17	
21	2120101	0	1992	1993	2	12270	657	21.1	79	2	10.7		
22	2120101	10	1993	1994	2	11950	2 650	17.0	20	0	10	17	
24	2120101	10	1994	1996	2	14522	2 669	21.7	19	2	11.7	22	
29	2120101	10	1995	1997	2	11396	658	173	40	0	11.7	16	
26	2120101	10	1997	1998	2	14360	2 659	21.8	52	0	134	19	
20	2120101	10	1998	1999	2	9940	1 613	162	44	0	11.8	15	
28	2120101	10	1999	2000	2	15310	1 696	22	53	- O	14.4	22	
29	2120101	10	2000	2001	2	13305	5 672	19.8	47	0	13.4	19	*
H 4	► N \19	90-2006	(mA23)	06/	-	10000	/ 0.2	10.0		, i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	10.1	1.5	
עדב	<i>ر</i> ان								合計=770	041017.6	N	UM	

基本解析マニュアル 基本編2

①同一局コードの平均値(月総計)の平均値を月別に計算。集計は、2回に分けて、実行。

1回目の集計。

シート全体を選択し、ツールバー「データ」→「集計」。

集計の設定 🔹 💽 🔀	集計の設定
グループの基準(<u>A)</u> : 「局コード ▼	クループの基準(A): 局コード 集計の方法(U): 合計
,	集計するフィールド:
요하 🔽	「有効測定値総和(月総計)」をチェック
集計するフィールド(<u>D</u>): 	「有効測定時間総和(月総計)」をチェック
 ✓ 有効測定値総和(月総計) ✓ 有効測定時間総和(月総計) ✓ 平均値(月総計) 	「現在の集計表と置き換える」をチェック。
☑ 現在の集計表と置き換える(C)	「グループごとに改ページを挿入する」をチェッ
 ▼ グループごとに改べージを挿入する(P) ▼ 集計行をデータの下に挿入する(S) すべて削除(R) OK キャンセル 	ク。 「集計行をデータの下に挿入する」をチェック。 「OK」をクリック。

レコードの集計行が挿入され、測定局別に全期間の合計値が表示。

×	Mic	rosoft	Excel -	m/	423_06.	xls																
:2	9 7	ァイル(E)) 編集(<u>E</u>)		表示(⊻)	挿	λ	書式(0)	ッール(1)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ	<u>₩</u>)ל	ヘルプ(日)	Ad	obe PDF(<u>B</u>)		質問を	入力してく	だざい		Β×
3	1 0	3 🛄		3	ABC	íñ.	K I	es 🙉	+ 🎯 🖾		0 - 0	Σ-	ĄĮ Z.	L I 🌆 🦧	10	0% - 👩	: 11	-	≣ •a•		- 3 - A	A - "
									· · · ·	_			2, A								_	-
1	거리		-																			
		A1	-		fx					_		-										_
Ļ	2 3		A		В			<u> </u>	D		E		F	G		Н]	[J		K	^
	·	189	2120101	0	19	990		1990	1	2	6951		728		9.5	41		0		8.3		6
	·	190	2120101	0	19	991		1991	1	2	6438	}	733		8.8	31		0		8.4		5
	·	191	2120101	0	19	992		1992	1	2	7064	ļ	732		9.7	35		0		8.2		7
	1.	192	2120101	0	19	993		1993	1	2	7054	1	728		9.7	33		0		7.9		7
	1.	193	2120101	0	19	994		1994	1	2	7998	3	729		11	35		0		8.4		7
	1.	194	2120101	0	19	995		1995	1	2	8458	}	726	1	1.7	36		0		9.1		8
	1.	195	2120101	0	19	996		1996	1	2	4804	ļ	727		6.6	30		0		6.5		4
	1.	196	2120101	0	19	997		1997	1	2	9351		729	1	2.8	42		0		10		8
	1.	197	2120101	0	19	998		1998	1	2	7083	}	744		9.5	38		0		10.6		5
	1 ·	198	21 201 01	0	19	999		1999	1	2	8040)	733		11	43		0		12.1		5
	1 ·	199	21 201 01	0	20	000		2000	1	2	6901		744		9.3	38		0		10.2		5
	1 ·	200	21 201 01	0	20	001		2001	1	2	10529)	744	1	4.2	46		0		12.5		10
	·	201	21 201 01	0	20	002		2002	1	2	8512	2	744	1	1.4	40		0		11.8		7
	·	202	2120101	0	20	003		2003	1	2	8341		734	1	1.4	35		0		10.7		8
	·	203	2120101	0	20	004		2004	1	2	8147	7	744		11	38		0		10.8		7
	·	204	2120101	0	20	005		2005	1	2	9428	3	743	1	2.7	37		0		10.4		12
	T.	205	2120101	0	20	006		2006	1	2	8917	7	738	1	2.1	39		0		11.2		7
	닏	206	<u>212010</u>	10	_集計_						2965425	5 14	15009		=				 			
	1.	207	2120102	0	18	990		1991		1	11686)	734	- 1	5.9	48		2		10.8		12
	1.	208	2120102	0	19	991		1992		1	5966)	737		8.1	29		0		7		5
	Ι.	209	2120102	0	18	392		1993		1	6431		733		8.8	33		1		6.5		6 ~
H.	+ +	N \1	<u>990-2006</u>	χ'n	1A23_06	7					,,,,,,			<				~				>
<u> </u>	マンド														合計	=138847921.6			NUM			1.3

120日の集計。1990-2007年度の月平均値を計算。

ツールバー「データ」→「集計」

集計の設定 🛛 🔀	集計の設定
グループの基準(<u>A</u>):	グループの基準(A):月
月 _	
集計の方法(型):	集計するフィールト:
古計 ▲ 集計オスコノールド(D)・	「有効測定値総和(月総計)」をチェック
▼有効測定値総和(月総計) 「有効測定時間総和(月総計)	「有効測定時間総和(月総計)」をチェック
	「現在の集計表と置き換える」のチェックをは
現在の集計表と置き換える(<u>C</u>)	ずす。
「 クルーノことにロペーンを挿入りるい」 同 生計行なデータの下に振入する(S)	「グループごとに改ページを挿入する」のチェ
	ックをはずす。
	「OK」をクリック。

集計を再実行すると、月別合計値が小計として、表示。

	Microsof	t Excel – r	nA23_06	.xls										
:2] ファイル(E) 編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	挿入(I)	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(<u>W</u>)	신	プ(<u>H</u>) Adob	e PDF(<u>B</u>)	質問を入力)してください	8 ×
En	- 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 -	A A A	ABC	K L	🗈 🙈 •	og 🖉 🚽 🗸	(° - 1 😣	Σ - ∯↓	Z↓ I II	100%	- 🕜 📑	11 - 들	•a•	🗞 - A - 💾
							1 000							
: 🗠		Ŧ												
	A189	T	ţx.	_										
1:	2 3 4		左南	B /	C	D	E 王 王 志 志 初川	「「「「」」	ت درجین	G RHG/#/ BS			」 捕獲/戸業/	
.	-г. 🚽		年度	·平	- 1001	<u></u> Я	相 知測	正11/有 SD 洪 • • •	り正明白 202	₩FF3/1個(月1	取入11回月11	較小1個(月≉	標準1偏差1.	,中间偃八一
		212010		1001	1002	1	74	70	727	10.4	40		10.0	
		212010		1002	1002	1	/1	73	730	9.0	30	0	0.2	
		212010	10	1992	1993	1	50	.01 1/20	700	11.3	30	0	7.1	
		212010	10	1993	1994	1	89	13	720	121	30	1	82	1
		212010	10	1995	1996	1	97	15	723	13.4	36	0	103	1
	<u> </u>	212010	10	1996	1997	1	87	75	729	12	36	0	97	
		212010	10	1997	1998	1	120	187	728	16.6	43	0	11.4	1
	· · 1	0 212010	10	1998	1999	1	61	91	438	141	38	0	11.5	1
		1 212010	10	1999	2000	1	111	89	742	15.1	45	Ő	13.5	1
	· · •	2 212010	10	2000	2001	1	123	27	744	16.6	39	0	11.8	1
	· · 1	3 21 201 0	10	2001	2002	1	118	103	742	15.9	47	0	12.2	1
	· · 1·	4 21 201 0 ⁻	10	2002	2003	1	113	171	709	16	41	0	12.3	1
	· · 1	5 212010	10	2003	2004	1	118	54	744	15.9	41	0	12	1
	· 1	6 21 201 O	10	2004	2005	1	121	67	743	16.4	41	0	12.1	1
	· · 1	7 <mark>212010</mark>	10	2005	2006	1	148	81	744	20	44	0	12.4	2
	· · 1	B 212010 ⁻	10	2006	2007	1	121	51	738	16.5	44	0	12	1
	1	9				1 集計	1766	120 12	174					
	- E - 2	0 <mark>212010</mark>	10	1990	1991	2	2 107	58	662	16.3	54	0	11.3	1
	· 2	1 <mark>212010</mark>	10	1991	1992	2	2 113	128	677	16.7	60	0	11.8	1
	· 2	2 <mark>212010</mark>	10	1992	1993	2	2 122	75	660	18.6	79	2	10.7	1
	· 2	3 <mark>212010</mark>	10	1993	1994	2	2 138	35	657	21.1	39	1	10	2
	· 2	4 <mark>212010</mark>	10	1994	1995	2	2 113	152	659	17.2	38	0	10	1
	• 2	5 21 201 0	10	1995	1996	2	2 145	23	669	21.7	49	2	11.7	2
	· 2	6 21 201 0	10	1996	1997	2	2 113	196	658	17.3	42	0	11	1
	• • • • <u>•</u> •	7 121 201 0 990-2006 /	mA23.06	1997	1998		149	162	659	21.8	52	0	134	>
קב	ンド	<u></u> /		,						승計=1	69751373.6		NUM	

⑬集計行のみ表示。

表示レベルの「3」をクリック。表示レベルが変更。

	licro	soft E	Excel – m	A23_06	.xls										
:2)	ファイ	л(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入(I)	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(₩)	ヘルプ()	H) Adob	e PDF(<u>B</u>)	質問を	入力してください	×
: •	-2		ALA	DA ABG	ANIV		<u> </u>	0	N - Al	ZIIABa			8 11 - L I	= =	A . A . P
				<u> </u>	₩ 00		V -/		Z • Z ŧ	A 🕴 🛄	100%				
2	1 🛃	۔ 🗟													
	A1	89	-	fx											
1 2	34		A		в	С	D	E	F		G	н	I	J	К
		1	局コード	年度	£	Ŧ	月	有効測定	E佢有効測	定時平均	均値(月編	最大値(月	1.最小値(月編標準偏差	()中間値()
ΓΓ		19					1 集計	1766	20 12	174					
	+	37					2 集計	2248	24 11	325					
	+	55					3 集計	3038	63 12	022					
	•	73					4 集計	3621	24 11	904					
	•	91					5 集計	3853	19 12	393					
	٠	109					6 集計	3197	23 12	071					
	+	127					7 集計	2438	13 12	283					
	+	145					8 集計	2433	19 11	799					
	+	163					9 集計	2303	05 12	009					
	+	181					10 集計	1998	73 12	440					
	+	199					11 集計	1416	26 12	089					
	٠	217					12 集計	1340	16 12	500					
		218	<u>212010</u>	10 集	it			29654	25 145	009					
		236					1 集計	1559	17 12	205					
	÷	254					2 集計	1888	81 11	300					
	÷	272					3 集計	2569	25 11	684					
	Ŀ	290					4 集計	3437	44 11	909					
	Ŀ	308					5 集計	3847	54 12	450					
	<u>+</u>	326					6 集計	3238	71 12	004					
	Ŀ	344					7 集計	2444	85 12	412					
	Ŀ	362					8 集計	2469	77 12	194					
	Ŀ	380					9 集計	21.06	55 12	010					
	Ľ	398					10 集計	1765	77 12	205					
	Ľ	416					11 集計	1264	12 11	914					
		434					12 集計	1252	75 12	318					
1 4	• •	195	191 201 0 10-2006 /	mA23.06	1			27844	73 144	605				1	>
יבר	78	(100	<u></u>		-						승計=9	2710356		NUM	

(1)1990-2007 年度までの月平均値を計算。

G列に1列挿入(G1にマウスを置いて右クリック「挿入」)

G1に「平均値(1990-2007)」と入力。

平均値を求める計算式は、月平均値=有効測定値総和/有効測定時間値総和

表示された先頭のセル(G19)に「=E19/F19」と入力。

セルの右下の■をダブルクリックすると全てのセルにコピーされます。

	Micro	soft E	ixcel – mAi	23_06.xls								
;E	1 771.	л(<u>E</u>)	編集(<u>E</u>) 表	示(⊻) 挿入	(1) 書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>) ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘルプ(円)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください	- 8 ×
			AAR) 🤣 🖏 I	አ 🗅 🛍 •	II) -	(≅ -	1 1 10 43	100% 👻 🕜 📮 🕅 1		🔤 , 🔛 - 🖄 -	<u>A</u> - 🔡
-	SI	JM	- X	√ <i>f</i> ≈ =E19	/F19							
1	2 3 4		A	В	С	D	E		F		G	- I -
		1	局コード	年度	年	月	有効測定値総和(月	総計)	有効測定時間総和(月総計)	<u>平均値(1990-2006</u>) 平均 🔤
Г	[🛨	19				1 集計		176620		12174	=E19/F19	
	•	37				2 集計		224824		11325		
	•	55				3 集計		303863		12022		
	•	73				4 集計		362124		11904		
	•	91				5 集計		385319		12393		
	•	109				6 集計		319723		12071		
	•	127				7 集計		243813		12283		
	•	145				8 集計		243319		11799		
	•	163				9 集計		230305		12009		
	•	181				10 集計		199873		12440		
		199				11 集計		141626		12089		
	Ŀ	217				12 集計		134016		12500		
	<u> </u>	218	21201010	<u> 集計</u>				2965425		1 45009		
		236				1 集計		155917		12205		
	•	254				2 集計		188881		11300		<u> </u>
M	4))	1 <u>99</u>	<u>0-2006 / m</u> /	423_06/								
編	集										NUM	

	Micr	rosoft	Excel - n	nA23_06.)	ds								
÷Ę	27	r/IV(E)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	挿入(])	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>) ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘルプ(日)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください・・・	_ 8 ×
	1 🖻	i 🖬 🗖	A 6	ABC	11 K	🗈 🛍 •	🦪 🤟 🗸	(² - 🤮 Σ - <u>A</u> ↓ 3	KI I 🛍 🛷	100% - 🕜 📑 11	• E =	🔤 , 🔛 - 🖄 - 🖊	<u> </u>
	-	1 💼											
-			_	£	- 51 0 / 5	30							
-	2 3	4	×	/×		-19	D	E		C		C	
Ľ		1	局コード		, 	E	E D	右効測定値総和印	目総計)	有効測定時間総和	(日総計)	平均值(1990-2006)	平均合
Г	[+]	19		-+152			/」 1 集計	- H MARKE 12/08/10(7	176620		12174	14 5079678	
	•	37					2 集計		224824		11325	19.85200883	
	•	55					3 集計		303863		12022	25.27557811	
	+	73					4 集計		362124		11904	30.4203629	
	•	91					5 集計		385319		12393	31.09166465	
	•	1 0 9					6 集計		319723		12071	26.48686936	
	•	127					7 集計		243813		12283	19.84962957	
	÷	145					8 集計		243319		11799	20.62200186	
		163					9 集計		230305		12009	19.17770006	
	•	181					10 集計		199873		12440	16.06696141	
	•	199					11 集計		141626		12089	11.71527835	
	Ŀ	217					12 集計		134016		12500	10.72128	
	닏_	218	212010	<u>)10 集計</u>					2965425		145009	20.44993759	
	l 🛨	236					1 集計		155917		12205	12.77484637	
Ш	+	254			,		2 集計		188881		11300	16.71513274	~
M	→	N (<u>19</u>	<u>30-2006 /</u>	, mA23_06	/								
	マンド									合計=4043	685132	NUM	

(5)⑦~(1)の作業を、「1990-2007」シートを作成したのと同様にして、「1990-1994」シート(1990 年代当初 5 年度)と、「2003-2007」シート(最新 5 年度)を作成。

16エクセルブック形式で、ファイルを保存。

* ①から¹¹の作業を繰り返し、03: NO₂、04: NOx、06: Ox、07: NMHC、10: SPM、51: POについて集計を 行います。 (3)濃度ランク別集計-年度別出力ファイル

- ① 出力ファイルをエクセルで開きます。
- ・昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データ ryAPP_SS.xls を開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの最 新年度(2007 年度)ファイル ryPP2007_SS.txt を開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイル ryAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

ryAPP_SS.txt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

ryPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード

・測定項目コード

Ox(06), SPM(10)

以下、「年度別単純集計」②~⑦と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

- ③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。
- ④昨年度までの集計結果がある場合は(オートフィルタがかかっている場合は解除する)、過去の集計データ ryAPP_SS.xls の「ryAPP_SS」シートに、最新年度データをコピーし、追加。(ryPPYYYY_SS.txt のタイ トルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコピー、ryAPP_SS.xls の末尾にペースト。エクセルブック 形式で保存。)
 - (注意)Ox の場合は、セル:有効測定時間総和 120ppb 以上を追加しているため、列ズレを起こしている場合があるので確認する。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

⑦06:Ox の場合。有効測定時間総和 120ppb 以上の計算をする。

有効測定時間総和(120-139)~有効測定時間総和(240以上)の合計値を計算。

最終列の AH 列の AH1 に「120ppb 以上有効測定時間総和」と入力。

合計値を求める計算式:

120ppb 以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(120-139)+有効測定時間総和(140-159)+ 有効 測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定時間 総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が2行目の場合。

AH2 のセルに「=P2(有効測定時間総和(120-139))・・・・・+AB2(有効測定時間総和(240 以上))」と入 カ。 ⑦10:SPM の場合。有効測定時間総和 100µg/m3 以上の計算をする。 有効測定時間総和(100-119)~有効測定時間総和(240 以上)の合計値を計算。 最終列の AH 列の AH1 に「100µg/m3 以上有効測定時間総和」と入力。 合計値を求める計算式:

100µg/m3以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+有効測 定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和 (200-219)+ 有効測定時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が2行目の場合。

AH2のセルに「=N2(有効測定時間総和(100-119))·····+AB2(有効測定時間総和(240以上))」と入力。

	licrosof	ft Excel -	ryA45_	06.xls								_		¢
:0)	771MD	編集(E) 表示	市业 挿入(? 書式(12)	ツール①	データ(10) ウ	心下り 110 - 4	ヘルプ田	Adobe PDF(B)	1	間間を入力して	ください ・	- 0	×
		i 🗅 🧉 🖟	166	1 🌣 📖	X 🗈 🐔 ·	- 🍠 🄊 -	(* - 😣 🗴	e - 21 %.	10	0% - 😡				
i MS	S Pゴシック	• 11 •	BIU		I 🔤 📑 %	• 🖽 • .	<u>ð</u> - <u>A</u> -			- 18	4 - 🗄 🔟	🗆 📖	~~ ~~	
1	11 11 2	🗞 🖄 🗇	3) 🗿 🗞	@ ₩ 权I	目結果の返信(<u>c</u>) 校開結長	鳥の差し込み参	*7(N)						
	AH2	-	f≈ =P2+R	2+T2+V2+>	(2+Z2+AB2									
	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	1	=
1	有効測定	作有効測定時	トータル有多	エラーコート	エラーコート	エラーコート	データ総数	120ppb以	上有効測定の	時間総和				
2		0	8086	0	0	674	8760		0					
3		0	8277	0	0	507	8784		0					
4		0	8006	0	0	754	8760		0					
5		0	8579	0	0	181	8760		0					
6		0	8312	0	0	448	8760		0					
7		0	8607	0	0	177	8784		0					v
14 4	P H TY	A45 06/						<					>	
: 37	6の調整(12)-	· 🔓 オートショ	1.1.2 心・ 丶	100	-	🗘 🛯 🔙 I	ů · 2 ·	A - = =	a 🗄 🖬 🍘	-				
J72	F									-	NUM	1		

計算式を列AHセルにコピー(AH1の右下をクリックして全セルにコピー)

⑧ツールバー「ファイル」→「名前を付けて保存」、ファイルの種類をエクセルブック形式で、保存。

*以上の①~⑧の手順を繰り返し、06:Ox、10:SPM について行います。

(4) 濃度ランク別集計 一月別出力ファイル

①出力ファイルをエクセルで開きます。

昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データ rmAPP_SS.xls を開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの最新年度(2007 年度)ファイル rmPP2007_SS.txt を開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイル rmAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

rmAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

rmPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード

・測定項目コード

Ox(06), SPM(10)

以下、「月別単純集計」の2~10と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

- ④昨年度までの集計結果がある場合は(オートフィルタがかかっている場合は解除する)、過去の集計データ rmAPP_SS.xlsの「rmAPP_SS」シートに、最新年度データをコピーし、追加。(rmPPYYYY_SS.txtのタ イトルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコピー、rmAPP_SS.xlsの末尾にペースト。エクセルブッ ク形式で保存。)
 - (注意)Ox の場合は、セル:有効測定時間総和 120ppb 以上を追加しているため、列ズレを起こしている場合があるので確認する。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

(7)1990年度(固定)から2007年度(最新年度)のデータを抽出。

ツールバー「データ」→「フィルタ」→「オートフィルタ」。

⑧新規シート「1990-2007」シートを作成。

ツールバー「挿入」→「ワークシート」。シート名変更。

⑨⑦で抽出したデータを新シート「1990-2007」に貼付。

⑩レコードの並び替え。(局コード>月>年度>)

①集計は、2回に分けて、実行。

1回目の集計。

シート全体を選択し、ツールバー「データ」→「集計」。

集計の設定 🛛 🛛 🔀	集計
グループの基準(A):	グル
	集計
,	集計
	「有
集計するフィールド(<u>D</u>):	۲ŀ
 ▼ 有効測定値総和(240以上) ▼ 有効測定時間総和(240以上) ▼ トータル有効測定時間総和 	ドに
✓ 現在の集計表と置き換える(C)	「現
▼ グルーブごとに改ぺージを挿入する(P)	「グ
▼ 集計行をデータの下に挿入する(S)	ク。
_すべて削除(R) OK キャンセル	「集

集計の設定 ブル プの其進

グループの基準(A): 局コード 集計の方法(U): 合計 集計するフィールド : 「有効測定値総和(0-19)」から 「トータル有効測定時間総和」まで全てのフィール ドにチェックを入れる。

「現在の集計表と置き換える」をチェック。 「グループごとに改ページを挿入する」をチェッ ク。 「集計行をデータの下に挿入する」をチェック。

「OK」をクリック。

122回目の集計。

ツールバー「データ」→「集計」

集計の設定	? 🗙
グループの基準(<u>A</u>):	
月 🗸	
集計の方法(U):	
合計	
集計するフィールド(<u>D</u>):	
月 ▼ 有効測定値総和0-19) ▼ 有効測定時間総和0-19) ▼	
 □ 現在の集計表と置き換える(©) □ [グループごとに改べージを挿入する(P)] □ 集計行をデータの下に挿入する(S) 	
すべて削除(<u>R</u>) OK キ	ヤンセル

集計の設定 グループの基準(A):月 集計の方法(U):合計 集計するフィールド: 「有効測定値総和(0-19)」から 「トータル有効測定時間総和」をチェック

「現在の集計表と置き換える」のチェックをは ずす。

「グループごとに改ページを挿入する」のチェ ックをはずす。

「OK」をクリック。

③集計行のみ表示。

表示レベルの「3」をクリック。表示レベルが変更。

📧 Mi	Microsoft Excel - rmA23_06.xls													
:0)	3) ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 挿入(D) 書式(Q) ツール(D) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H) Adobe PDF(E) 質問を入力してください - 日×													
10	2	BAIAR	1 459 11	XDR	- 🥑 -	(* - 🔍 Σ - Δ↓ 🗛 🛺 4	👌 100% 🛛 🕡 📃 🗄 MS Pゴシック	- 11 - B <i>I</i> U i	E = = = =	A - [2				
	-													
· •														
12														
Laide La		局コード	年度	年	月	有効測定値総和(0~19)	有効測定時間総和(0~19)	有効測定値総和(20~39)	有効測定時間総和(20~39)	有效				
ГГБ	• 1	9			1 集計	60703	8095	112070	3986					
Ē	• 3	7			2 集計	51370	5711	141807	4884	3				
	• 5	5			3 集計	46896	4693	147479	4943	10				
E	• 7	3			4 集計	38608	3520	138068	4739	14				
E	• 9	1			5 集計	42021	3796	1 40488	4869	15				
	• 1	09			6 集計	51954	5451	109206	3831	3				
	• 1:	27			7 集計	58065	7652	77084	2789	5				
	<u>+</u> 1	45			8 集計	53538	7132	77079	2737	E				
	<u>+</u> 1	53			9 集計	58795	7416	85993	3085	2				
	• 1	31			10 集計	63157	8343	88481	31 40	3				
	<u>•</u> <u>1</u>	99			11 集計	54955	9121	74750	2708	1				
L	• 2	7	- 44-21	-	12 集計	59442	9708	73156	2758					
	2	8 2120101	0 集計			639504	80638	1265661	44469	70				
	• 2	36			1 集計	62886	8799	91535	3370	1				
		24	-		2 集計	53116	6724	116/20	4137					
	2	12			3 集訂	50237	5743	121/16	4123	- 1				
		20			4 朱司	42472	4004	112073	3810	16				
	. 3	78			3 朱司	42852	4301	1210/5	4101	12				
		20			0 朱訂	49300	3400	102903	3090	Ê				
		14			7 朱司	57521	7/45	77699	2003	- F				
		1000-2006 / mm	A22 06 /	-		55752	7400	1 1088	2115					
777.4	5 M (1990 2000 X m	M23_007					and the second s	NUM					
JAN I	90.								NUM	1				

⑭06:Ox の場合。有効測定時間総和 60ppb 以上の計算をする。

有効測定時間総和(60-79)~有効測定時間総和(240以上)の合計値を計算。

最終列の AJ 列の AJ1 に「60ppb 以上時間総和」と入力。

合計値を求める計算式:

60ppb以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(60-79)+有効測定時間総和(80-99)+有効測定時 間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+有効測定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和 (160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定時間総和 (220-239)+有効測定時間総和(240以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が19行目の場合。

AJ19 のセルに「=L19(有効測定時間総和(60-79))+N19(有効測定時間総和(80-99))+P19(有効測定時 間総和(100-119))・・・・・+AD19(有効測定時間総和(240 以上))」と入力。

×	Micros	oft E	xcel - rmA	23_06.xls							
:2) 771.	V(E)	編集(<u>E</u>) 表:	〒(⊻) 挿入()	D 書式(<u>O</u>) ツール(<u>T</u>) データ	(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください		5 ×
i 🗆	D 😂 🖬 B 👌 i 🛎 B, I 🌮 🛍 从 🖬 B, - ♂ i ળ - ભ - i 🧶 Σ - ϟϳ Հὶ I 🕮 🕸 100% - φ 🖉 📜 11 - i B U I ≡ ≡ 🖼 I → I ⊞ - 🂁 - 🗛 - 👘 🦉										
1											
	SL	ІМ	- X -	/ ∱x =L19•	+N19+P19+R19+T19+V19	+X19+Z19+AB19+AD19					
1	234		AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	~
		1	有効測定時	トータル有家	エラーコード(9997)総数	エラーコード(9998)総数	エラーコード(9999)総数	データ総数	60ppb以上時間総和		
Г		19	0	12174					=L19+N19+P19+R19+	T19+	
		37	0	11325					V19+X19+Z19+AB19+	AD19	
	•	55	0	12022							
	•	73	0	11904							
	•	91	0	12393							
	•	109	0	12071							
	•	127	0	12283							
	•	145	0	11799							_
	+	163	_ 0	12009							~
H.	4 F H	<u>\199</u>	<u>0-2006 / rm</u> 4	<u>23_06</u> /			<)	
編	ŧ								NUM		

計算式を列 AJ セルにコピー。

10:SPMの場合。

有効測定時間総和(100-119)~有効測定時間総和(240 以上)の合計値を計算。 最終行AJ列のAJ1 に「100 µ g/m³以上時間総和」と入力。

合計値求める計算式:

100 μ g/m³以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+ 有 効測定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+ 有効測定 時間総和(200-219)+ 有効測定時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が19行目の場合。

AJ19 のセルに「=P19(有効測定時間総和(100-119))+R19(有効測定時間総和(120-139))+T19(有効測 定時間総和(140-159))+・・・・・・・+AD19(有効測定時間総和(240 以上))」と入力。

×	Microsoft Excel - rmA23_10.xls											
:2] 771.	N(E)	編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式((0) ツール(I) データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(₩)	ヘルプ(<u>H</u>) A	dobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力して	ください 🚽	_ 8 ×
	D 🔗 🖬 D 👌 I 🗳 D I 💝 🏛 I 🛦 🖻 🖻 - 🖋 I 🗉 - 🔍 - I 😓 🛛 - 🖓 A I I 🛍 🦓 100% - 🎯 🚽 111 - I B U I 🚍 🔤 I 🔹 I 🕀 - 🗛 - 🔤											
1	· 元 元 元 书 · · · · · · · · · · · · · · ·											
	SI	JM	🔻 🗙 🗸 🏂 =P19+R19+T	19+V19+X1	9+Z19+AB	19+AD19						
1	2 3 4		AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	A
	_	1	トータル有効測定時間総和	エラーコート	エラーコート	エラーコート	データ総数	<u>100ug/m以上時間総和</u>				
Γ		19	12587					=P19+R19+T19+V19+X19+	Z19+AB19	+AD19		
	•	37	11398									
	•	55	12190									
	•	73	11889									
	•	91	11799									=
	Ŀ	109	11763									
	<u> </u>	127	12122									
	<u> </u>	145	12341									
	<u> </u>	163	12062									I
	Ŀ	181	12038									
		199	12033									~
М	• • •	199	<u>0-2006</u> /rmA23 <u>1</u> 0/					<			1111	
編	ŧ									NU	M	

計算式を列AJセルにコピー。

15に進む。

(1) ⑦~(1)の作業を、「1990-2007」シートを作成したのと同様にして、「1990-1994」シート(1990 年代当初 5 年度)と、「2003-2007」シート(最新5年度)を作成。

16エクセルブック形式で、ファイルを保存。

*以上の手順を繰り返し、06:Ox、10:SPM について、集計を行います。

©国立環境研究所

①右メニュー「基本解析」の「時間値集計プログラム改訂版」をクリック。

C型共同研究:	メンバーサイト Mozilla Fire	fox						
ァイル(E) 編集(E) ま	表示(⊻) 履歴(≦) ブックマーク(B) ツール(T)	ヘルプ(円)			÷.			
🗩 C 🗡	🕻 🏠 🔣 https://project.nies.go.jp/c-	ox/forum/		😭 🔹 🔀 🕻 Google	Ļ			
C型;	共同研究メンバーサイト							
-ב_צו	- 最新ニュー スプロック				関連資料			
- L					H20参加機関名簿			
- ス	 ・ 今回報用名場を利のの知らし(2000-9-4) ・ 中間ファイルが全国一括で年度別にダウン 	/ ロードができるようになりました(2008-8-11)			平成20年度第一回研究 会配布资料			
- 5 4	 中国ファイル2007年度を見解しました(20) 長期利用ファイル交換サーバー運用一時名 	106-8-1) 步止(8/7)(2008-7-29)			平成20年度第一回研究			
「ジュール クル	 北海道2006年度データ提供開始のお知ら 2006年度時間値データのダウンロード開 	世 (2008-7-7) 蛤 (2008-7-4)			会プレゼン資料(内部資 料)			
リンク	 ● 参加振開名等の更新(お知らせ)(2008-7 ● 大気環境学会(2008年9月)講演委旨(20 ● 明洁姿符のだらいロードー時倍止(6/27) 	-2) 108-6-30) (2008-6-24)			2007年高邊度発生事 例の水平分布図			
、汚染予測システム 通ID:toshi 共通 にtoshi\$123)	 は反気管のメンクロード「時行圧(0)27) 	(2000-0-24) URLの変更(2008-6-24)			H20大気環境学会講演 要旨			
- (03111-1237 (這報値·違皮分 1) (10-10-15 世 /	フォーラムでの最近の差額							
s)タウンロードリオ 共通ID:gis4 共通 とgis4を123)	フォーラム	スレッド	返信 閲覧	最終控箭	H20/4/23環境省記者 クラブ動強会姿料			
igi51(過去百食)サイ	04中国四国グループ	2008年度のOx高温度事例について	3 20	2008-10-5 10:16 shimane.sagawa	大気汚染予測紹介VTR			
t通ID:user08 共	04中国四国グループ	夜闘高O×調査結果とりまとめについて	1 20	2008-10-1 16:37 yamaguchi.osada	H19年度地域Gまとめ			
GIS(大気汚染状	2007.4/26-/29(九州、中国四国 Ox)	九州グループの解析について(全体会議の発表要旨)	0 9	2008-9-30 16:04 fukuoka.yamamoto	H19年度基本解析結果			
常時監視結果)	05九州グループ	九州グループ解析(全体会議要旨)	0 9	2008-9-30 16:02 fukuoka.yamamoto	H19年度第二回研究会			
【数値データベース 気データのダウン	03東海近畿グループ	月ごとランク別高濃度発生時間の程年変化について	2 76	2008-9-26 11:38 osaka.wada	究科III果泉 山10年4日駅会理本マ			
·F)	04中国四国グループ	中国四国Gの高濃度事例解析について	8 151	2008-8-29 10:42 ehime.uno	119年6月末送調量7 ンケート			
まめ君	05九州グループ	MANDARAを使った地図作成マニュアル	2 36	2008-8-28 19:34 saga.takahashi	本サイト操作方法			
と学オキシダント等に するC型共同研究	05九州グループ	8月19日グループ会識配付資料	0 14	2008-8-28 19:15 fukuoka.yamazaki	平成19年度第一回研究 会资料in更享			
ジ	循星データ活用グループ	OMIによる対流圏NO2分布画像	2 42	2008-7-16 14:27 yamaguchi.osada	平成19年度第一回研究			
R KOREA	P ログ ループ	取りまとめ資料	3 57	2008-6-30 17:21 osaka.itano	会プレゼン資料			
ザメニュー	POグループ	取りまとめ资料(和田発表分)	0 14	2008-6-30 16:02 osaka.wada	全国集計結果			
ウント皆報	04中国四国グループ	2008大気環境学会について	1 39	2008-6-30 10:59 shimane.sagawa	局政業告書			
ワント編集	循星データ活用グループ	2008年6月豐強会资料	1 56	2008-6-13 16:10 yamaguchi.osada	基本解析ツール			
アウト	ここだけの話 役方達醫鏡解析について 7 199 2008-6-13 15:51 fukuoka.yamazaki							
箱				フォーラムへ	refフォルタ追加ファイ ル			

②最新版 バージョン「CSyuukei-admin-v1-5-3.msi」をクリックし、ファイル保存先を指定し、 PC にファイル保存する。

¹² Proself Web公開 - Mozilla Firefox	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)	
🕜 🖸 🗸 🏠 🗋 http://fxp.nies.go.jp/public/49qoAAEIasOAmDsBCwsUnbJO3WOdr 🏠 🔹 💽 - Google	\mathbf{P}
🔏 O型共同研究メンバーサイト - 🖂 📄 Proself Web公開 🛛 🛛	•
Proself ver.2 Web公開	<
日本 日本	~

〇「大気時間値集計・解析プログラム」のインストール

(1) PC に保存した「CSyuukei-admin-v1-5-3.msi」をクリックする。

(2) セキュリティの警告メッセージが表示される場合は、「実行」をクリックする。



- O 旧プログラムが PC にインストールされている場合
- (1) セットアップウィザードが表示されるので、旧プログラムの削除を行った後、最新版をインスト ールする。



(2) 旧プログラムの削除

「大気時間値集計・解析プログラムの削除」を選択、「完了」をクリック。
 ②インストール完了が表示されたら、「閉じる」をクリック。

♂大気時間値集計・解析プログラム	
インストールが完了しました。	
大気時間値集計・解析プログラムは正常に削除されました。	
終了するためには「閉じる」をクリックしてください。	
<u>キャンオフル(C)</u> 尾ろ(P)	問じろ(0)

(3)最新版のインストール

①PCに保存されている「CSyuukei-admin-v1-5-3.msi」をクリックする。

②セキュリティの警告メッセージが表示される場合は、「実行」をクリックする。



③以下のメッセージ画面が表示されたら、「次へ」をクリック。

◎大気時間値集計・解析プログラム - □ 区
大気時間値集計・解析ブログラム セットアップ ウィザートへようこそ
インストーラは 大気時間値集計・解析プログラム をコンピュータ上にインストールするため に必要な手順を示します。
継続するためには「次へ」をクリックしてください。
警告:このコンピュータ ブログラムは、日本国著作権法および国際条約により保護されてい ます。このブログラムの全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると著 作権の侵害となりますのでご注意ください。
キャンセル(2) 戻る(2) 次へ(1)

④以下の設定画面で、インストールフォルダを選択する。

♂大気時間値集計・解析プログラム
インストール フォルダの選択
インストーラは以下のフォルダへ 大気時間値集計・解析プログラム をインストールします。 このフォルダヘインストールためには「次へ」をクリックしてください。他のフォルダヘインスト ールするためには、以下に入力するかまたは「参照」をクリックしてください。
フォルダ(E): C¥Program Files¥大気時間値集計・解析プログラム¥ 参照(B) ソフトウェアを以下のドライブにインストールできます(<u>V</u>):
ボリューム ディスグ ヘ
ディスク所要量(D)
(キャンセル(D) 戻る(P) 次へ(N)

⑤設定画面の指示に従い、インストールする。

(注意点)

・昨年度に基本解析作業を行った方は、既に最新版がインストールされています。

・最新版(v1-5-3)では、単純集計(年度集計)の出力ファイルに、環境基準項目を追加している ため、旧版の出力ファイルを保存されている方はご注意ください。

(2)「測定局情報ファイル」の取得方法

「大気時間値集計・解析プログラム」インストールにより、2003年度までの測定局情報ファイルがインストールされるため、以後の年度ファイルを追加する必要がある。

(1) C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u> からのダウンロード。

① 右メニュー「基本解析」の「ref フォルダ追加ファイル」をクリック。

♥C型共同研究メ	ンパーサイト Mozilla Firef	ōx								
ファイル(E) 編集(E) 表:	示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T)	ヘルプ(円)			**** ***					
🔇 🔊 - C 🗙	🕢 💽 🕈 🖒 🔣 https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/ 🙀 - 🔀 Google 🔎									
C型共同研究メンバーサイト ^^										
メインメニュー	- 最新ニュー スプロック				関連资料					
ホーム					H20参加機関名簿					
	 ・ 夢風伝開名 ※更新の お知らせ (2008-9-4) ・ 中間ファイルが全国 – 括で年度別にダウンロ 	ードができるようになりました(2008-8-11)			平成20年度第一回研究					
フォーラム	 中間ファイル2007年度を更新しました(200) 長期利用ファイル交換サーバー運用一時常)8-8-1) + (8 (7) (2008-7-28)			会配布资料					
スケジュール	 * 本海市用ノディルンデリーハー連用一時存 * 北海道2006年度データ提供開始のお知ら 	t (2008-7-7)			半成20年度第一回研究 会プレゼン资料(内部资					
リンク集	 2006年度時間値データのダウンロード開き 参加機関名簿の更新(お知らせ)(2008-7- 	台 (2008-7-4) 2)			料)					
関連リンク	 大気環境学会(2008年9月)講演表旨(20) 開決環境学会(2008年9月)講演表旨(20) 	08-6-30)			2007年高邊康発生事 例の水平分布図					
大気汚染予測システム (共通ID:toshi 共通 PW:toshi\$123)	 ・ 国連式谷切タワノロードー時存止(6/27) ・ 大気汚染予報システム(研究者服定公開) し 	(2000-0-24) IRLの変更(2008-6-24)			H20大気環境学会講演 素旨					
時間値(波振値・濃度分					H20/4/23報道発表资					
布図)ダウンロードサイ ト(井通ID:gis4 井澤					(1) 1120/4/23環境次記法					
PW:gis4\$123)	フォーラム	オレット	退信 開計	L 最终:	2017年123座現自正者 クラブ勉強会资料					
CFORS(過去画像)サイ	04中国四国クループ	2008年度のUX高温度争例について	3 20	J 2008-10-5 10:16 shimane.saga	awa 大気汚染予測紹介 VTR					
ト(共通ID:user08 共 通PW:080401)	04中国四国クループ	夜圓高O×調査結果とりまとめについて	1 20	2008-10-1 16:37 yamaguchi.os	ada H19年度地域Gまとめ					
環境GIS(大気汚染状	2007.4/26-/29(九州、中国四国 0x)	九州グループの解析について(全体会議の発表要旨)	0 9	2008-9-30 16:04 fukuoka.yamam	oto H19年度基本解析結果					
況の常時監視結果)	05九州グループ	九州グループ解析(全体会議要旨)	0 9	2008-9-30 16:02 fukuoka.yamam	oto H19年度第二回研究会 资料 io 東京					
環境数値データベース (大気データのダウン	03東海近畿グループ	月ごとランク別高盪度発生時間の程年変化について	2 76	5 2008-9-26 11:38 osaka.w	ada H19年6日緊急調査ア					
ù-F)	04中国四国グループ	中国四国Gの高邊度事例解析について	8 15	1 2008-8-29 10:42 ehime.	uno ンケート					
そらまめ君	05九州グループ	MANDARAを使った地図作成マニュアル	2 36	5 2008-8-28 19:34 saga.takaha	ashi 本サイト操作方法					
光化学オキシダント等に 用するC型共同研究	05九州グループ	8月19日グループ会議配付資料	0 14	4 2008-8-28 19:15 fukuoka.yama:	aki 平成19年度第一回研究					
ページ	衛星データ活用グループ	OMIによる対流圏N02分布画像	2 42	2 2008-7-16 14:27 yamaguchi.os	ada 平 4 1 9 年 6 第 一 回 晋 安					
AIR KOREA	POグループ	取りまとめ資料	3 57	7 2008-6-30 17:21 osaka.it	ano 会ブレゼン資料					
ユーザメニュー	POグループ	取りまとめ資料(和田発表分)	0 14	4 2008-6-30 16:02 osaka.w	ada 全国集計結果					
アカウント皆報	04中国内国グループ	2008大気運搬学会について	1 39	2008-6-30 10:59 shimane.sag	最終報告書					
アカウント編集	衛星デーや美田グループ	2008年6月豐登会资料	1 56	5 2008-6-13 16:10 xamaguchi os	基本解析ツール ada					
イベント通知機能			7 10	2009-6-13 15:51 fukurka varma	時間値集計プログラム					
ログアウト	CC107010	12 /J all latt out of \$11 In JUIC	/ 19							
受信箱				71-7.						
弊理表√~ 完了					project nies.go.in					

②2004 年度以降の測定局情報ファイルを選択し、ダウンロードする。

※昨年度に基本解析作業を行った方は、2007年度のみを選択し、ダウンロードしてください。

(2)測定局情報ファイルの PC へのインストール

測定局情報ファイルを、以下の手順で追加します。

(例:2007年度測定局情報ファイルの追加)

① 「ダウンロードしたファイル(例:TM20070000.zip)を解凍。

解凍した TM20070000.txt を、「大気時間値集計プログラム」 がインストールされたフォルダの 直下にある ref フォルダ内にコピー。

(注意)

・「大気時間値集計・解析プログラム」の更新時

旧版使用時に保存されていた測定局情報フォルダは、そのまま、ref フォルダ内に保存されているため、再度インストールする必要はない。

(ただし、旧版と新版のプログラムインストール先が同じフォルダの場合のみ)

「大気時間値集計プログラム」のファイル構成(デフォルト時)

C:\Program Files\大気時間値集計・解析プログラム\

preSyukei.exe大気時間値集計プログラム実行ファイル¥errプログラム実行時のエラーログの出力フォルダ¥file設定ファイル等の保存フォルダ¥makemap地図作成ツール実行ファイル等の保存フォルダ¥ref測定局情報ファイルの保存フォルダ

(3)「大気時間値データファイル」の取得方法

C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u> よりダウンロード。 ①右メニュー「時間値データファイルダウンロード」から、必要な都道府県をクリック。

◎C型共同研究メンバーサイト – – Mozilla Firefox									
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表;	示(V) 履歴(S) ブックマ	ーク(<u>B</u>) ツール(<u>T</u>) ヘルフ	î(H)		*** *** ***				
🔇 🔊 - C 🗙	☆ 🔣 https://pr	oject.nies.go.jp/c-ox/foru	um/	😭 •	🖸 • Google 🔎				
	循星データ活用グルー ブ	2008年6月勉強会资料	1 56	2008-6-13 16:10 yamaguchi.osada	サンフルテータ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
	ここだけの話	後方流譜鏡解析について	7 199	2008-6-13 15:51 fukuoka.yamazaki	Q&A				
				フォーラムへ	→ <u>→</u> 平成19年度第二回研究 今日本				
	- 今後の予定 (piCal) 予定なし				33-34 平519年度第一回研究 学5支 時間値データファイルダウン				
	✔予定の追加			/	ロード 全国-年度別(2004年 度から)				
					01北海道 04宮城県				
				1	05秋田県 06山形県				
					07福島県 08茨城県				
				\	09栃木県				
				\	10群馬県 11埼玉県	1			
完了					project.nies.go.jp 🔒 📑	\mathbf{V}			

②必要な年度をクリック。

※全年度取得したい場合は、最上段の「PP 都道府県名.zip」(PP:県コード)をクリックし、PC に保存する。

♥Proself Web公開 - Mozilla Firefox									
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) 1	ッール(T) ヘルプ(H) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇								
🔇 💽 C 🗙 🏠 🗋 http://fxp.nies.go.jp/public/L9yQAAlJa4OAb8MByFERfAXFZ7x3g0 🏠 📲 🔀 Google 🛛 🔎									
🔏 C型共同研究メンバーサイト - 💿 🗋 Proself W	¥eb公開 区								
Proself ver2 Web公開 Web公開	go.jp/public/L9yQAAIIs4OAb8MByFERfAXFZ7x3g0IMOFx4psZt34mZ データファイル								
名前	サイズ 更新日 種類 詳細情報								
III 01北海道zip	71,329KB 2008/10/10 18:36:29 zip 📑 🚛								
101 <u>1992.aip</u>	4,325KB 2007/07/04 11:22:59 zip 📑 🏭								
i01_1993.zip	4,396KB 2007/07/04 11:23:54 zip 📑 🚛								
i01_1994.zip	4,560KB 2007/07/04 11:24:57 zip 📑 🚛 🚛								
i01_1995.zip	4,696KB 2007/07/04 11:26:09 zip 📑 🚛 📰								
i01_1996.zip	4,747KB 2007/07/04 11:27:05 zip 📑 🚛								
i01_1997.zip	4,782KB 2007/07/04 11:28:04 zip 📑 🚛								
i01_1998.zip	4,868KB 2007/07/04 11:29:01 zip 📑 🚛 👘								
i01_1999.zip	4,968KB 2007/07/04 11:29:58 zip 📑 🚛								
i01_2000.zip	4,991 KB 2007/07/04 11:30:57 zip 🧮 🚛 🛁								
i01_2001.zip	4,868KB 2007/07/04 11:31:54 zip 📑 細一 ,								
完了									

③PCに保存したファイルを解凍する。

(注意点)

複数県の時間値データについて基本解析を実行する場合は、以下のフォルダ構成にする必要がある。

¥大気時間値データファイルフォルダの下に年度別サブフォルダを作成 年度別サブフォルダ内に、全県の時間値データを解凍する。

例	示

2 006									
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お	6気に入り(<u>A</u>) ツール(T) ヘルプ(H)								
🔇 ēs 🔹 🕥 - 🇊 🔎	検索 遃 フォルダ 🛄・								
:アドレス(D) 🚞 G:¥大気時間値¥2000	6				💙 🄁 移動				
	▲ 名前 ▲	サイズ	種類	更新日時	^				
ファイルとフォルダのタスク 📀	🗐 012006 01.txt	4,621 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
	i012006 02.txt	5,020 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
	🗐 j012006_03.txt	5,020 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
🧐 このノオルタを Web に公開 する	j012006_04.txt	5,020 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
2 このフォルダを共有する	🗐 j012006_05.txt	514 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
	j012006_06.txt	1,255 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
a second s	🗐 j012006_07.txt	343 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
その他 🔹	= 🗐 j012006_08.txt	343 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
	🗐 j012006_09.txt	343 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
🛅 大気時間値	j012006_10.txt	5,134 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:56					
אלעבאא די 🕒 🔁	🗐 j012006_21.txt	3,252 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:57					
🕞 共有ドキュメント	🗐 j012006_22.txt	3,252 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:57					
2 71 TVP1-8	🗐 j012006_23.txt	1,027 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:57					
	🗐 j012006_24.txt	58 KB	テキスト ドキュメント	2008/07/07 12:57					
3 11 4919 9	🗐 j042006_01.txt	856 KB	テキスト ドキュメント	2008/06/27 12:09					
	📃 🗊 j042006_02.txt	2,339 KB	テキスト ドキュメント	2008/06/27 12:09					
詳細 (余)	🗐 j042006_03.txt	2,339 KB	テキスト ドキュメント	2008/06/27 12:09					
	🗐 j042006_04.txt	2,339 KB	テキスト ドキュメント	2008/06/27 12:09					
2006	🥃 🗐 j042006_05.txt	229 KB	テキスト ドキュメント	2008/06/27 12:09					
ファイル フォルタ		1 655 VD	ニチョレ ドチェルトル	0000 (06 (07 10.00	~				

2. 中間ファイルの作成

初めて集計解析プログラムを使用される方は、集計を実行する前に、必ず中間ファイル作成を行って 下さい。

※昨年度基本解析作業を行った場合は、昨年度作成した 2006 年度までの中間ファイルを利用することができます。本年度は、2007 年度の中間ファイルのみを作成して下さい。

①「メニュー」から「中間ファイル作成」を選択。

大気時間値集計・解析プログラム					
XII-					
中間ファイルの作成 地図作成ツールを開く	濃度ランク別集計				
物質の追加	- オフシ 手度ファイル				
風回・風速日変110クフバFDX 風配図作成	月ファイル 🛛 💌 🔿				
	日ファイル				

②時間値ファイル格納フォルダを指定。(p.2 の「時間値データファイル」のダウンロード方法により、 ダウンロードしたデータを解凍したフォルダを指定する。)

- ③中間ファイル出力用フォルダを指定。年度別サブフォルダが作成され、サブフォルダ内に「c+測定 局コード(8桁)年(4桁).txt」が作成される。
- ④開始・終了年度の指定は、今回作成する中間ファイルの期間にあわせて指定する。

(例示: 1990年度から 2007年度の中間ファイルを作成する場合、1990~2007、

2007年度のみを作成する場合、2007~2007)

局数の多い県は、全年度の中間ファイルを一度に作成せず、数回に分けて実行すること を推奨。

- (1年度1県分の中間ファイル作成に要する処理時間は、PC性能により異なるが、概ね、30局で10 分程度かかる。測定局数が100局以上を全年度(1976-2006)一括処理した場合は約10時間、20 局では約2時間が必要。)
- ⑤都道府県選択。
- ⑥物質選択は、全物質選択にチェック。(ない物質は対象物質が存在しない旨の確認メッセージが出るが、問題ない)。
- ⑦「SPM と SPMB を指定した日付けで切り替える」は、通常はチェックを外す。 1970年代の時間値ファイルは、同一年度の同一局に、SPM と SPMB の 2 つの時間値データが存 在する場合があります。その場合は、チェックを入れて下さい。 チェックを入れると、詳細設定画面が表示されるので、切り替える測定局、測定日時の指定を行う。
- ⑧「作成開始」ボタンを押す。
- 注)処理を複数回に分けた場合も、中間ファイル出力フォルダは、同じフォルダを指定する。 ・同じフォルダを指定することにより、指定フォルダ内に年度別にサブフォルダが作成され、中間 ファイルが書き込まれる。)

■ 中間ファイル作成	
時間値ファイル格納フォルダ フォルダバス: g:¥大気時間値¥ 参照	2
中間ファイル出力フォルダ フォルダパス: ©¥中間ファイル¥ 参照	3
处理年度指定 1976 年度 ~ 2006 年度	4
都道府県選択 ● 全都道府県選択 ● 青森県 ● 青森県 ● 岩手県 ● 宮城県 ● 秋田県 ● 山形県	5
 物質選択 ✓ 全物質選択 ✓ 二酸化硫黄(SO2) ✓ 全炭化水素(THC) ✓ 一酸化窒素(NO) ✓ 浮遊粒子状物質(SPM) ✓ 二酸化窒素(NO2) ✓ 浮遊粉じん(SP) ✓ 窒素酸化物(NOX) ✓ 風向(WD) ✓ 一酸化炭素(CO) ✓ 風速(WS) ✓ 光化学オキシダント(OX) ✓ 気温(TEMP) ✓ 非メタン炭化水素(NMHC) ✓ 湯度(HUM) ✓ メタン(CH4) 	6
□ SPMとSPMBを指定した日付けで切り替える 作成開始 終了	7

※中間ファイルがうまく作成できない時は、以下から、ダウンロードできます。

C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u> よりダウンロード。

①右メニュー「基本解析ツール」の「中間ファイル(~2005年度-都道府県別)」から、必要な都道 府県をクリック。

②右メニュー「基本解析ツール」の「中間ファイル(2006年度~-全国年度別)」から、必要な年度 をクリック。

③ダウンロードしたファイルを解凍。

3. 単純集計(年度別・月別)の実行

①開始·終了年度(開始年度~2007年度)

開始年度は、集計したい都道府県の時間値データ整備状況にあわせて指定する。(注意:中間ファイル が作成されていない年度を指定すると、エラーメッセージが表示されて実行できません。)

※昨年度基本解析作業を行った方も、今回、集計対象物質の追加があったため、全年度集計を行って 下さい。

②年度别·月別集計

「年度ファイル」(年度別集計)と「月ファイル」(月別集計)をチェック。

③ヘッダ付加

「ヘッダの付加」をチェック。(出力ファイルにタイトル行が付加されます。)

④物質選択 以下の物質をチェック。

NO2、NOx、Ox、NMHC、SPM、ポテンシャルオゾン(PO) (係数 0.10 を入力)をチェック。

⑤都道府県指定 集計したい都道府県名をチェック。

⑥中間ファイルを格納したフォルダを指定。

⑦出力ファイル

今回は、過去に遡り、全年度を集計するため、「全年度で一括出力」をチェック。(備考:1年ずつ 集計する場合はチェックを外す。)

⑧出力先フォルダ

作成されるファイルの格納フォルダを指定。

⑨単純集計・オプション集計設定 「年月日・時間帯指定集計を追加する」のチェックを外す。

10「実行」ボタンを押す。

■ 大気時 ^{火115}	間値集計・解析プ	ログラム			
(1)単	純集計 (2)濃度:	ランク別集計 3 濃度抽出類	長計 日報月報出力	環境省報告様式出力	
作成ファ 開始年, 終了年, 集計物第 「全報	・イル 度 1976 定 年度ファー 度 2006 マ 年度ファー マ 月ファー 日ファー 費名 例質選択	^{ァイル} (ル (ル (ル		5	
	物質名	環境基準単位変換	<u>, цня</u>	<u>×</u>	
Г	二酸化硫黄(SO2)	r ppb→ppm	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
Г	一酸化窒素(NO)	Γ ppb→ppm	フォルダバス:		
v	二酸化窒素(NO2)	∏ ppb→ppm	e:¥中間ファイル¥	参照	
N	窒素酸化物(NOx)	Γ ppb→ppm	_ 屮カファイル		
	一酸化炭素(CO)	□ 0.1ppm→ppm			
V	光化学オキシダント(OX)	Γ ppb→ppm	優先度 「「全都道府県で一括出力」。	$\overline{7}$	
Г	非又タン炭化水素(NMHC)	厅 pphmC→ppmC			
	メタン(CH4)	Γ pphmC→ppmC	(行为+小小肉は都道府県別、年度別、	物質別に出力)	
	全炭化水素(THC)	Γ pphmC→ppmC			
	浮遊粒子状物質(SPM)	∏ μg/m3→mg/m3	フォルダパス:	(8)	
Г	浮遊粉じん(SP)	∏ μg/m3→mg/m3	c:¥TEMP¥	(愛知)	
	風向(WD)				
	風速(WS)		■ 単純集計・オフション集計設定 □ 年月日・時間帯指定集計を追加する。		
	気温(TEMP)		□ 時間帯別最高値出現の有無を追加す	ち。 集計条件設定	
	湿度(HUM)				
V	ポテンシャルオゾン(PO)	係数 0.10		実行 🔱	
	NOx転嫁率(NO2/NOX)				
				終了	

「単純集計」時の出力ファイルについて

- ・単純集計ファイル(年度別)フォーマット(CSV ファイル形式)
 yPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)
- ・単純集計ファイル(月別)フォーマット(CSVファイル形式)
 mPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)
- 出力ファイルのファイル結合で、「全年度で一括出力を」チェックの場合、下記ファイルも出力。 ・単純集計ファイル(年度別)全年度一括フォーマット(CSV ファイル形式) yAPP_SS.xt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)
- ・単純集計ファイル(月別)全年度一括フォーマット(CSV ファイル形式)
 mAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

測定項目コード

03:NO₂, 04 : NO_x, 06 : O_x, 07 : NMHC, 10 : SPM, 51 : PO

4. 濃度ランク別集計(年度別・月別)の実行

①開始・終了年度(開始年度~2007年度)

時間値データの整備期間にあわせる。(注意:中間ファイルがない年度を指定すると、エラーメッ セージが表示され、実行できません。)

※昨年度基本解析作業を行った方は、2007年度のみを実行して下さい。(2007~2007と指定) ②年度別・月別集計

「年度ファイル」(年度別集計)と「月ファイル」(月別集計)にチェック。

③ヘッダ付加

「ヘッダの付加」をチェック。出力ファイルにタイトル行が付加。

④集計物質名

Ox(光化学オキシダント)、SPM(浮遊粒子状物質)を選択

⑤最小值·最大值·区分

Ox 最小值:0 最大值:240 区分:20

SPM 最小值:0 最大值:240 区分:20

- ⑥都道府県指定
- ⑦中間ファイルを格納したフォルダ指定。
- ⑧出力ファイル

初めて集計する場合は、全年度を集計するため、「全年度で一括出力」にチェックを入れる。 以後1年ずつ集計する場合は、チェックなし。

- ⑨出力先フォルダ
- 作成される出力ファイルの格納フォルダを指定。
- ⑩実行

日 大 火ニュ	、気時間 	値集計・解析プログラム							
単純集計 濃度ランク別集計						濃度抽出集計 日報月報出力		環境省報告様式出力	
作成ファイル (2) 開始年度 1976 「第二日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		/ヨン			6				
		物質名	最小値	最大値	区分	係数	□山形県	✓	
		二酸化硫黄(SO2)	0	400	10				
	Г	一酸化窒素(NO)	0	1850	10		+間ファイル格納フォルダー		
	Г		0	500	10		フォルダバス: (大気時間)は集計・約45-3ログニノ		
	Г	窒素酸化物(NOx)	0	2350	10		「八大時間」に来る「解約」ノロソフム		
		一酸化炭素(CO)	Į0	630	π				
		光化学オキシダント(OX)	0	240	20	- 出7	リファイル		
4		非メタン炭化水素(NMHC)	0	1600	10	_ _□ 7	「ァイル結合 値失問	÷	
Ľ.		メタン(CH4)	0	1100	10				
Ð		全炭化水素(THC)	0	1600	10		▶ 全年度で一括出力 ○		
		浮遊粒子状物質(SPM)	0	240	20		〈デフォルトでは都道府県別、年度	別、物質別に出力〉	
) 注)遅粉しん(SP)	U	2400	Īυ		出力先フォルダー		
		風向(WD)	1	17	1		フォルダバス:	9	
	Γ	風速(WS)	0	500	10		C¥Program Files¥大気時間値集計	+・解析プログ: (菱鱝)	
	Γ	気温(TEMP)	-300	450	10				
	Г	湿度(HUM)	0	100	10				
		ポテンシャルオゾン(PO)						実行10	
								終了	

「濃度ランク別集計」で集計した出力ファイルフォーマット

- ・濃度ランク別集計(年度)フォーマット(CSV ファイル形式)
 ryPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)
- ・濃度ランク別集計(月)フォーマット(CSV ファイル形式)
 rmPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)

出力ファイルのファイル結合で、「全年度で一括出力を」チェックの場合、下記ファイルも作成。

- ・濃度ランク別集計全年度一括(年度)フォーマット(CSV ファイル形式)
 ryAPP_SS.txt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)
- ・濃度ランク別集計全年度一括(月)フォーマット(CSV ファイル形式)
 rmAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コードド)

測定項目コード

06 : Ox, 10 : SPM

©国立環境研究所

基本解析マニュアル 基本編2 集計結果ファイルの作成

Oエクセル形式データの作成

「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルを用いて、エクセルで集計を行い、集計結果ファイルを作成 します。

※以下の設定画面イメージで、年度を指定する箇所は入力例ですので、テキストと合っていない場合があります。テキストに合わせ、適宜読み替えて下さい。

(1)単純集計-年度別出力ファイルの作業

①出力ファイルをエクセルで開きます。エクセルを起動し、全年度一括ファイル yAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

最新年度ファイル

yPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)

全年度一括ファイルの場合

yAPP_SS.txt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

・測定項目コード

03:NO₂, 04:NOx, 06:Ox, 07:NMHC, 10:SPM, 51:PO

Microsoft Excel	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H) 質問を入力してください	-
①ツールバー→ファイル→開く クリック	
7ァイルを開く ?又	
ファイルの場所型: 🛅 23愛知県単純 🔹 🖕 - 🗈 🔞 🗙 📸 匪 - ツール() -	
Image: System	
あ気に入り ③yAPP_SS.txtまたは、yPPYYYY_SS.txt を選択。	
ファイル名(N): 「「「(N)) ファイルの種類(T): テキストファイル (*.prn; *.txt; *.csv)	
②ファイルの種類は、テキストファイルを選びます。	

```
②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたテキストデータとします。
```

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3	
 選択したデータは区切り文字で区切られています。 D太へ]をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。 一元のデータの形式 データのアナイル形式を選択してください: () カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたう イスペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ 取り込み開始行(R): 1 二 元のファイル(Q): 932: J 	
ファイル C.¥Documents and Settings¥情報整備室¥デスクトップ¥集計 1 局コード,年度,有効測定値総和(年総計),有効測定時間総和 2 23101010,1376,223280,8314,26.9,147.0,19.7,22,6185,349 3 23103510,1976,215155,8458,25.4,112,0,17.8,23,5678,355 4	テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3 ? アイールドの区切り文字を指定してください。「データのブレビュー」ボックスには区切り位置が表示されます。 区切り文字 「タブ①」「セミココン(M)」「カンマ〇」」 エスペース(S)」「その他(Q): 「違続した区切り文字は1文字として扱う(E) データのブレビュー(P)
	局コード 年度 有効測定値総和(年総計) 有効測定時間総和(年総計) 平均値(年総計) 23101010 1976 223280 8314 26.9 23103510 1976 215155 8458 25.4 < ★ャンセル 〈戻る(B) 次へ(N) 〉 完了(E)

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

他は「G/標準(G)」(デフォルト)のまま、変更しません。「完了」をクリック。

(局コードの先頭文字が0で始まる県があるため、データ形式を文字列データとして読み込みます。)

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3	×
区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。 [G/標準]を選択すると、数字は数値に、日付は日 付形式の値に、その他の値は文字列に変換されま す。 詳細(<u>A</u>) 列のデータ形式 で G/標準(<u>G</u>) (で 文字列(<u>T</u>)) (○ 日付(<u>D</u>): YMD ▼ (○ 削除する ①	
-データのブレビュー(P)]
↓ 文字列 Q/標準/標準 Q/標準 Q/標準 ↓	
局コード 年度 有効測定値総和(年総計) 有効測定時間総和(年総計) 平均値(年総計) 23101010 1976 223280 8314 26.9 23103510 1976 215155 8458 25.4	
	1
<u>キャンセル</u> く 戻る(B) 次へ(N) > <u>「完了(F</u>)	

④昨年度までの集計結果がある場合は、最新年度(2007 年度)集計データ yPP2007_SS.txt を、過去の集 計データ yAPP_SS.xls に追加します。(yPPYYYY_SS.txt のタイトルを除くすべてデータの行番号をドラ ッグしてコピー、yAPP_SS.xls の最後尾にペースト。エクセルブック形式で保存。)過去データのシートに オートフィルタがかかっている場合は、オートフィルタを外してから、コピーしてください。

⑤データの並べ替えを行うために、シートの左端1の上をクリックし、シート全体を選択。

N	licrosoft Ex	cel-yA23_	06.txt					
	ファイル(E) 編	[集(E) 表示(⊻ 挿入Φ	書式(<u>O</u>) ツ	ール① デー	タ(<u>D</u>) ウィンド	ウѠ ヘルブ	(H) - 8 ×
D	🛩 🖪 🖏	a 🕽 🖉	አ 🖻 🖻	- 💅 IN -	Ci + 🍓 S	E - AL AL	🛍 🚜 100	× • 🕄 🗸
	A1	-	<u>f</u> _x 局コート					
	A	В	С	D	E	F	G	Н
1	局コード	年度	有効測定値	有効測定間	平均値(年編	最大値(年紀	最小値(年	標準偏差(二
2	23101010	1976	223280	8314	26.9	147	0	19.7
3	23103510	1976	215155	8458	25.4	112	0	17.8
4	23105510	1976	264470	7959	33.2	137	0	20.5
5	231 0801 0	1976	304361	8554	35.6	215	0	21.4
6	23111010	1976	251351	8294	30.3	151	0	20
7	23201010	1976	256727	8403	30.6	138	0	19.4
8	23201520	1976	231046	7359	31.4	140	0	16.8
9	23202020	1976	237991	81.04	29.4	132	0	16.7
10	23202510	1976	275177	5952	46.2	154	0	23.4
11	23203010	1976	254761	8494	30	236	0	19.3
12	23204020	1976	231882	8120	28.6	141	0	20.1 💌
H 4	▶ ▶ <u>\</u> \ <u>v</u> A23	<u>06</u> /			•			•

⑥ツールバー「データ」→「並べ替え」。

最優先されるキー「局コード」、2番目に優先されるキー「年度」、範囲の先頭行「タイトル行」をチェックし、 「OK」をクリック。「数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う」をチェックし、「OK」をクリック。

並べ替え	? 🔀
最優先されるキー 「局コード →	 ● 昇順(<u>A</u>) ○ 降順(<u>D</u>)
2 番目に優先されるキー — 「年度	 ○ 昇順(○) ○ 降順(№)
3 番目に優先されるキー	 ● 昇順① ○ 降順(<u>G</u>)
範囲の先頭行 ● タイトル行(R) C テ オプション(Q)…	"-タ(W) K キャンセル

並べ替えの前に
 次の並べ替えのキーにはテキスト形式の数値が含まれているため、正しくソートできません:
 局コード
 操作を選択してください。
 ③ 数値に見えるものはすべて数値として並べ替えを行う(N)
 ④ 数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う(T)
 OK
 キャンセル
 ヘルプ(H)
⑦ツールバー「ファイル」→「名前を付けて保存」

ファイルの種類をエクセルブック形式で、保存。

名前を付けて係	¥存	? 🔀
保存先①:	🔁 23愛知県単純 💽 🖕 - 🖻 🔞 🗙 📸 🖬 • ツール	,(<u>L</u>) →
③ 履歴	衝mA23_06.xls	
۲۲ ۲¥عx>۲		
デスクトップ		
* お気に入り		
	ファイル名(N): mA23_06.xls ・	保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(I): Microsoft Excel ブック (*.xls)	キャンセル

*①から⑦の作業を繰り返し、03:NO_{2、}04:NOx、06:Ox、07:NMHC、10:SPM、51:POについて行いま す。 (2)単純集計ー月別出力ファイル

- (1) 出力ファイルをエクセルで開きます。
 - ・昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データmAPP_SS.xlsを開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの 最新年度(2007 年度)ファイル mPP2007_SS.txtを開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイルmAPP_SS.txtを開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

mAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

mPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード)

・測定項目コード

03:NO₂,04:NOx,06:Ox,07:NMHC,10:SPM,51:PO

以下、「年度別単純集計」の2~6と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

④昨年度までの集計結果がある場合は、過去の集計データ mAPP_SS.xls の「mAPP_SS」シートに、最新 年度データをコピーし、追加。(yPPYYYY_SS.txt のタイトルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコ ピー、yAPP_SS.xls の末尾にペースト。エクセルブック形式で保存。)過去データのシートにオートフィルタ がかかっている場合は、オートフィルタを外してから、コピーしてください。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

 $\mathbf{5}$

⑦1990年度(固定)から2007年度(最新年度)のデータを抽出。

Bをクリックし、列Bを選択します。ツールバー「データ」→「フィルタ」→「オートフィルタ」をチェック。

🔀 M	icrosoft Ex	cel - mA23	_06.xls								
	ファイル(<u>E</u>) 編	諜(E) 表示	⊻ 挿入Φ	書式(0) ツ	/-ル(T)	データ	① ウィンドウW ヘルプ(H)		-	.8×	
D	🗃 🖬 📆	a 🖪 🖤	X 🖻 🛍	• 🛷 K) =	0.+ 1	2↓ 1	並べ替え(<u>S</u>)				
	B1		fx 年度			5	74NA(E)	•	オートフィ	ルタ(E)	
	A	В	С	D	E	5	フォーム(<u>O</u>)	1	すべて表	示(<u>s</u>)	
1	局コード	年度	年	月	有効測	1	集計(B)		フィルタフ	ヤションの	設定(A)
2	23101010	1976	1976	4	25	-		-	10		
3	231 01 01 0	1976	1976	5	31		<br √/J%RQJ\ <u>U</u> /	_	8	2	
4	231 01 01 0	1976	1976	6	27	5	テーブル(<u>T</u>)		7	2	
5	231 01 01 0	1976	1976	7	16	3	区切り位置(E)		3	2	
6	231 01 01 0	1976	1976	8	21	2			3		
7	231 01 01 0	1976	1976	9	16	d:			2	1	
8	231 01 01 0	1976	1976	10	18	1	ブループとアウトラインの設定(G)		2	1	
9	231 01 01 0	1976	1976	11	11	IP t	ピボットテーブルとピボットグラフ レポート(<u>P</u>)		0	1	
10	231 01 01 0	1976	1976	12	12		★#8≓ ニカの取れい ユ (□)		0	1-1	
14 4	• • <u>MA23</u>	<u>306</u> /				2 5	F-9の更新(B)				

「B1」のブルダウンボタンをクリックし、オプションを選択。

	Microsoft Excel - mA23_06.xls												
8	ファイル(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入①	書式(0) ツ	·−ル① デー	·タ(D) ウインド	かШ ヘルス	λ(П)		_ 8 ×		
D	🛩 🖪 🐔	a B.	** X	b C	• 🛷 🗠 •	ci + 🍓 :	$\Sigma - \frac{A}{2} \downarrow \frac{Z}{4} \downarrow$	🛍 🚯 100	1% - 🔉 🗸				
	B1	•	fx	年度		L'ansaire a	1091 1090						
	A	В		С	D	E	F	G	н	I	J 🔽		
1	局コード	年度	(一)年		月	有効測定値	有効測定時	平均值(月)	最大値(月編	最小値(月紅	標準偏二		
2	231 (7/	(て) グテント	\mathbf{Y}	1976	4	25256	716	35.3	111	10	1		
3	231	ション		1976	5	31526	738	42.7	147	8	2		
4	231 1976			1976	6	27035	712	38	147	7	2		
5	231 1978		a	1976	7	16995	689	24.7	113	3	2		
6	231 1979			1976	8	21693	740	29.3	130	3			
7	231 1981			1976	9	16483	715	23.1	134	2	1		
8	231 1982		0	1976	10	18399	739	24.9	112	2	1		
9	231 1984			1976	11	11793	716	16.5	66	0	1		
10	231 1985		+	1976	12	12934	740	17.5	53	0	1 🛶		
14 4	► ► \ <u>m</u> 4	23.06/						1		-			

抽出条件の指定「1990」「以上」「AND(A)」「2007」「以下」をチェック、「OK」をクリック。

オートフィルタ オプション			X
抽出条件の指定: 年度			
1990	*	以上	~
⊙ AND(<u>A</u>) OR(<u>O</u>)			
2006	¥	以下	~
?を使って、任意の 1 文字を表すこ * を使って、任意の文字列を表すこと	とができま とができま	.च. इ. 	
		OK	キャンセル

⑧新規にシートを挿入。(ツールバー「挿入」→「ワークシート」をクリック)。シート名を右クリックして「名前の 変更」をクリック、シート名を「1990-2007」に変更。

💌 м	icrosoft E	ixcel – mA2	3_06.	xls							
:2)	7711/E)	編集(E) 表示	F(V)	挿	入(1) 書式(O) ツール(T)	デー	-タ(<u>D)</u> ウィン	ドウ(w) へル:	プ(<u>H</u>) Adobe	PDF(<u>B</u>)	_ 8 ×
10	📬 🔒 🖻	a a 🛽	ABC		セル(<u>E</u>)	0	- 🧕 Σ	- A↓ X↓ ∭	100% 🦓	- 🕜 📑	. · ·
: 📆	R R				行(<u>R</u>)						
	A1	-	fx		列(<u>C</u>)						
	A	В			ワークシート(型)		F	G	Н	I	J 🗖
1]			グラフ(<u>H</u>)						
2					記号と特殊文字(<u>S</u>)	F					
4					改ページ(<u>B</u>)	⊢					
5				fx	関数(<u>F</u>)						
6					名前(<u>N</u>) ト						
7			_	1	コメント(M)	F					
9						t					
10				2	図表(G)						~
H 4	▶ ▶ <u>199</u>	10 <u>-2006 /</u> mA2	23_06		オブジェクト(の)		<			·]	>
עדב	۲			2	ハイパーリンク(① Otrl+K				N	IUM	
עדב	F			2	ハイパーリンク① Ctrl+K	-			N	IUM	

 ③元データシート「mAPP_SS(PP:県コード SS:項目コード)」をクリックしてアクティブにし、⑦で抽出した 1990-2007 年度のデータの全レコード行をコピーし、「1990-2007」シートの先頭行に貼付け。 10レコードの並べ替え。

シートの左端1の上をクリックし、シート全体を選択します。

ツールバー→「データ」→「並べ替え」局コード>月>年度の順に並べます。範囲の先頭行「タイトル行」を クリックし、「OK」をクリック。「数値とテキスト形式の数値を分けて並べ替えを行う」をクリック。

並べ替え	? 🛛	
最優先されるキー 「局コード	○ 昇順(A) ○ 降順(D)	
2 番目に優先されるキー	 ○ 昇順(○) ○ 降順(N) 	
3 番目に優先されるキー 年度	 ○ 昇順① ○ 降順(G) 	
範囲の先頭行 で タイトル行(R) C デ オプション(Q) OK	-9(W)	
並べ替えの前に		? 🛛
次の並べ替えのキーにはき 局コード 操作を選択してください。 ○ 数値に見えるものはす ・ 数値とテキスト形式の	キスト形式の数値が べて数値として並べ替 数値を分けて並べ替	含まれているため、正しくソートできません: 梵えを行う(N) えを行う(T)

レコードの並べ替えを実行すると、同じ測定局コードの1月(1990-2007年度)、2月(1990-2007年度)…1 2月までの順にレコードが並びます。

M	licrosoft	Excel -	mA23_0)6.xls								L	
:0)	ファイル(E)	編集(E)	表示()	の 挿入(1)	書式(0)	ツール(エ) デ	ータ(<u>D</u>) ウィン	ドウ(図) ヘルフ)(<u>H</u>) Adobe	PDF(B)	質問を入力し	してください -	_ @ ×
10		2		× ایک	B B - (3 - 0	- 😣 Σ	- 21 XI 1	100%	• @] !	11 • ≣ ≣	a 📰 - 🖄	- <u>A</u> - <u></u>
: •••	-		_										
: 🗠	A1	-		6 局コート									
	A				D	F	F	G	н	T		ĸ	
1	局コード	年度	5	Æ	月	有効測定	何有効測定的	平均值(月)	最大値(月編	- 最小値(月)	標準偏差()	中間値(月紀	有効測
2	21 201 01	10	1990	1991	1	11914	4 727	16.4	40	1	10.6	15	17200
3	21 201 01	10	1991	1992	1	7173	3 735	9.8	36	0	8.2	7	
4	21 201 01	10	1992	1993	1	8281	733	11.3	36	0	8.7	8	
5	21 201 01	10	1993	1994	1	5928	3 726	8.2	30	0	7.1	6	
6	21 201 01	10	1994	1995	1	8813	3 729	12.1	32	1	8.2	10	
7	21 201 01	10	1995	1996	1	9715	5 723	13.4	36	0	10.3	11	
8	21 201 01	10	1996	1997	1	8775	5 729	12	36	0	9.7	9	
9	21 201 01	0	1997	1998	1	12087	1 728	16.6	43	0	11.4	14	
10	21 201 01	0	1998	1999	1	6191	438	14.1	38	0	11.5	11	
11	21 201 01	0	1999	2000	1	11189	3 742	15.1	45	0	13.5	12	
12	21 201 01	0	2000	2001	1	12327	/ 744	16.6	39	0	11.8	16	
13	2120101	0	2001	2002	1	11803	3 742	15.9	47	0	12.2	14	
14	2120101	0	2002	2003	1	11371	709	16	41	0	12.3	14	
15	2120101	0	2003	2004	1	11854	4 /44	15.9	41	0	12	14	
16	2120101	.0	2004	2005	1	12167	/ /43	16.4	41	0	12.1	16	
17	2120101	0	2005	2006	1	14881	/44	20	44	0	12.4	21	
18	2120101	0	2006	2007		12151	/38	16.5	44	0	12	14	
19	2120101	0	1990	1991	2	10758	3 602	10.3	04	0	11.3	10	
20	2120101	0	1991	1992	2	10076	3 077	10.7	70	0	10.7	17	
21	2120101	0	1992	1993	2	12270	657	21.1	79	2	10.7		
22	2120101	10	1993	1994	2	11950	2 650	17.0	20	0	10	17	
24	2120101	10	1994	1996	2	14522	2 669	21.7	19	2	11.7	22	
29	2120101	10	1995	1997	2	11396	658	173	40	0	11.7	16	
26	2120101	10	1997	1998	2	14360	2 659	21.8	52	0	134	19	
20	2120101	10	1998	1999	2	9940	1 613	162	44	0	11.8	15	
28	2120101	10	1999	2000	2	15310	1 696	22	53	- O	14.4	22	
29	2120101	10	2000	2001	2	13305	5 672	19.8	47	0	13.4	19	*
H 4	► N \19	90-2006	(mA23)	06/	-	10000	/ 0.2	10.0		, i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	10.1	1.5	
עדב	<i>ر</i> ان								合計=770	041017.6	N	UM	

①同一局コードの平均値(月総計)の平均値を月別に計算。集計は、2回に分けて、実行。

1回目の集計。

シート全体を選択し、ツールバー「データ」→「集計」。

集計の設定 🔹 💽 🔀	集計の設定
グループの基準(<u>A)</u> : 「局コード ▼	クループの基準(A): 局コード 集計の方法(U): 合計
,	集計するフィールド:
요하 🔽	「有効測定値総和(月総計)」をチェック
集計するフィールド(<u>D</u>): 	「有効測定時間総和(月総計)」をチェック
 ✓ 有効測定値総和(月総計) ✓ 有効測定時間総和(月総計) ✓ 平均値(月総計) 	「現在の集計表と置き換える」をチェック。
☑ 現在の集計表と置き換える(C)	「グループごとに改ページを挿入する」をチェッ
 ▼ グループごとに改べージを挿入する(P) ▼ 集計行をデータの下に挿入する(S) すべて削除(R) OK キャンセル 	ク。 「集計行をデータの下に挿入する」をチェック。 「OK」をクリック。

レコードの集計行が挿入され、測定局別に全期間の合計値が表示。

×	Mic	rosoft	Excel -	m/	423_06.	xls																
:2	9 7	ァイル(E)) 編集(<u>E</u>)		表示(⊻)	挿	λ	書式(0)	ッール(1)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ	<u>₩</u>)ל	ヘルプ(日)	Ad	obe PDF(<u>B</u>)		質問を	入力してく	だざい		Β×
3	1 0	3 🛄		3	ABC	íñ.	K I	Da 🙈	+ 🎯 🖾		0 - 0	Σ-	ĄĮ Z.	L I 🌆 🦧	10	0% - 👩	: 11	-	≣ •a•		- 3 - A	A - "
									· · · ·	_			2, A								_	-
1	거리		-																			
		A1	-		fx					_		-										_
Ļ	2 3		A		В			C	D		E		F	G		Н]	[J		K	^
	·	189	2120101	0	19	990		1990	1	2	6951		728		9.5	41		0		8.3		6
	·	190	2120101	0	19	991		1991	1	2	6438	}	733		8.8	31		0		8.4		5
	1.	191	2120101	0	19	992		1992	1	2	7064	ļ	732		9.7	35		0		8.2		7
	·	192	2120101	0	19	993		1993	1	2	7054	1	728		9.7	33		0		7.9		7
	1.	193	2120101	0	19	994		1994	1	2	7998	3	729		11	35		0		8.4		7
	1.	194	2120101	0	19	995		1995	1	2	8458	}	726	1	1.7	36		0		9.1		8
	1.	195	2120101	0	19	996		1996	1	2	4804	ļ	727		6.6	30		0		6.5		4
	1.	196	2120101	0	19	997		1997	1	2	9351		729	1	2.8	42		0		10		8
	1.	197	2120101	0	19	998		1998	1	2	7083	}	744		9.5	38		0		10.6		5
	1 ·	198	21 201 01	0	19	999		1999	1	2	8040)	733		11	43		0		12.1		5
	1 ·	199	21 201 01	0	20	000		2000	1	2	6901		744		9.3	38		0		10.2		5
	1 ·	200	21 201 01	0	20	001		2001	1	2	10529)	744	1	4.2	46		0		12.5		10
	·	201	21 201 01	0	20	002		2002	1	2	8512	2	744	1	1.4	40		0		11.8		7
	·	202	2120101	0	20	003		2003	1	2	8341		734	1	1.4	35		0		10.7		8
	·	203	2120101	0	20	004		2004	1	2	8147	7	744		11	38		0		10.8		7
	·	204	2120101	0	20	005		2005	1	2	9428	}	743	1	2.7	37		0		10.4		12
	T.	205	2120101	0	20	006		2006	1	2	8917	7	738	1	2.1	39		0		11.2		7
	닏	206	<u>212010</u>	10	_集計_						2965425	5 14	15009		=				 			
	1.	207	2120102	0	18	990		1991		1	11686)	734	- 1	5.9	48		2		10.8		12
	1.	208	2120102	0	19	991		1992		1	5966)	737		8.1	29		0		7		5
	Ι.	209	2120102	0	18	392		1993		1	6431		733		8.8	33		1		6.5		6 ~
H.	+ +	N \1	<u>990-2006</u>	χ'n	1A23_06	7					,,,,,,			<				~				>
<u> </u>	マンド														合計	=138847921.6			NUM			1.3

120日の集計。1990-2007年度の月平均値を計算。

ツールバー「データ」→「集計」

集計の設定 🛛 🔀	集計の設定
グループの基準(<u>A</u>):	グループの基準(A):月
月 _	
集計の方法(型):	集計するフィールト:
古計 <u>・</u> 生計オスコノールド(D)・	「有効測定値総和(月総計)」をチェック
▼有効測定値総和(月総計) 「有効測定時間総和(月総計)	「有効測定時間総和(月総計)」をチェック
	「現在の集計表と置き換える」のチェックをは
現在の集計表と置き換える(<u>C</u>)	ずす。
「 クルーノことにロペーンを挿入りるい」 同 生計行なデータの下に振入する(S)	「グループごとに改ページを挿入する」のチェ
	ックをはずす。
	「OK」をクリック。

集計を再実行すると、月別合計値が小計として、表示。

	Microsof	t Excel – r	nA23_06	.xls										
:2] ファイル(E) 編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	挿入(I)	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(Ѡ)	신	プ(<u>H</u>) Adob	e PDF(<u>B</u>)	質問を入力)してください	8 ×
En	- 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 - 1914 -	A A A	ABC	K L	🗈 🗥 -	og 🖉 🚽 🗸	(° - 1 😣	Σ - ∯↓	Z↓ I II	100%	- 🕜 📑	11 - 들	•a•	🗞 - <u>A</u> - 💾
							1.04							
: 🗠		Ŧ												
	A189	T	ţx.											–
1:	2 3 4		左南	B /	C	D	E 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	「「「「」」	10000	G RHG/#/ BS			」 捕獲/戸業/	
.	-г. 🚽		年度	·平	- 1001	<u></u> Я	相 知測	正11/有 SD 洪 • • •	り正明白 202	₩FF3/1個(月1	取入11回月11	較小1個(月≉	標準1偏差1.	,中间偃八一
		212010		1001	1002	1	74	70	727	10.4	40		10.0	
		212010		1002	1002	1	/1	73	730	9.0	30	0	0.2	
		212010	10	1992	1993	1	50	.01 1/20	700	11.3	30	0	7.1	
		212010	10	1993	1994	1	89	13	720	121	30	1	82	1
		212010	10	1995	1996	1	97	15	723	13.4	36	0	103	1
	<u> </u>	212010	10	1996	1997	1	87	75	729	12	36	0	97	
		212010	10	1997	1998	1	120	187	728	16.6	43	0	11.4	1
	· · 1	0 212010	10	1998	1999	1	61	91	438	141	38	0	11.5	1
		1 212010	10	1999	2000	1	111	89	742	15.1	45	0	13.5	1
	· · •	2 212010	10	2000	2001	1	123	27	744	16.6	39	0	11.8	1
	· · 1	3 21 201 0	10	2001	2002	1	118	103	742	15.9	47	0	12.2	1
	· · 1·	4 21 201 0 ⁻	10	2002	2003	1	113	171	709	16	41	0	12.3	1
	· · 1	5 212010	10	2003	2004	1	118	54	744	15.9	41	0	12	1
	· 1	6 21 201 O	10	2004	2005	1	121	67	743	16.4	41	0	12.1	1
	· · 1	7 <mark>212010</mark>	10	2005	2006	1	148	81	744	20	44	0	12.4	2
	· · 1	B 212010 ⁻	10	2006	2007	1	121	51	738	16.5	44	0	12	1
	1	9				1 集計	1766	120 12	174					
	- E - 2	0 <mark>212010</mark>	10	1990	1991	2	2 107	58	662	16.3	54	0	11.3	1
	· 2	1 <mark>212010</mark>	10	1991	1992	2	2 113	128	677	16.7	60	0	11.8	1
	· 2	2 <mark>212010</mark>	10	1992	1993	2	2 122	75	660	18.6	79	2	10.7	1
	· 2	3 <mark>212010</mark>	10	1993	1994	2	2 138	35	657	21.1	39	1	10	2
	· 2	4 <mark>212010</mark>	10	1994	1995	2	2 113	152	659	17.2	38	0	10	1
	• 2	5 21 201 0	10	1995	1996	2	2 145	23	669	21.7	49	2	11.7	2
	· 2	6 21 201 0	10	1996	1997	2	2 113	196	658	17.3	42	0	11	1
	• н М	7 121 201 0 990-2006 /	mA23.06	1997	1998		149	162	659	21.8	52	0	134	>
קב	ンド	<u></u> /		,						승計=1	69751373.6		NUM	

⑬集計行のみ表示。

表示レベルの「3」をクリック。表示レベルが変更。

	licro	soft E	Excel – m	A23_06	.xls										
:2)	ファイ	л(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入(I)	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(₩)	ヘルプ()	H) Adob	e PDF(<u>B</u>)	質問を	入力してください	×
: •	-2		ALA	DA ABG	ANIV		<u> </u>	0	N - Al	ZIIABa			8 11 - L I	= =	A . A . P
				<u> </u>	₩ 0		V -/		Z • Z ŧ	A 🕴 🛄	100%				
2	1 🛃	۔ 🗟													
	A1	89	-	fx											
1 2	34		A		в	С	D	E	F		G	н	I	J	К
		1	局コード	年度	£	Ŧ	月	有効測定	E佢有効測	定時平均	均値(月編	最大値(月	1.最小値(月編標準偏差	()中間値()
ΓΓ		19					1 集計	1766	20 12	174					
	+	37					2 集計	2248	24 11	325					
	+	55					3 集計	3038	63 12	022					
	•	73					4 集計	3621	24 11	904					
	•	91					5 集計	3853	19 12	393					
	٠	109					6 集計	3197	23 12	071					
	+	127					7 集計	2438	13 12	283					
	+	145					8 集計	2433	19 11	799					
	+	163					9 集計	2303	05 12	009					
	+	181					10 集計	1998	73 12	440					
	+	199					11 集計	1416	26 12	089					
	٠	217					12 集計	1340	16 12	500					
		218	<u>212010</u>	10 集	it			29654	25 145	009					
		236					1 集計	1559	17 12	205					
	÷	254					2 集計	1888	81 11	300					
	÷	272					3 集計	2569	25 11	684					
	Ŀ	290					4 集計	3437	44 11	909					
	Ŀ	308					5 集計	3847	54 12	450					
	<u>+</u>	326					6 集計	3238	71 12	004					
	Ŀ	344					7 集計	2444	85 12	412					
	Ŀ	362					8 集計	2469	77 12	194					
	Ŀ	380					9 集計	21.06	55 12	010					
	Ľ	398					10 集計	1765	77 12	205					
	Ľ	416					11 集計	1264	12 11	914					
		434					12 集計	1252	75 12	318					
1 4	• •	195	191 201 0 10-2006 /	mA23.06	1			27844	73 144	605				1	>
יבר	78	(100	<u></u>		-						승計=9	2710356		NUM	

(1)1990-2007 年度までの月平均値を計算。

G列に1列挿入(G1にマウスを置いて右クリック「挿入」)

G1に「平均値(1990-2007)」と入力。

平均値を求める計算式は、月平均値=有効測定値総和/有効測定時間値総和

表示された先頭のセル(G19)に「=E19/F19」と入力。

セルの右下の■をダブルクリックすると全てのセルにコピーされます。

	Micro	soft E	ixcel – mAi	23_06.xls										
;E	1 771.	л(<u>E</u>)	編集(<u>E</u>) 表	示(⊻) 挿入	(1) 書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>) ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘルプ(円)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください	- 8 ×		
			AAR) 🤣 🖏 I	አ 🗅 🛍 •	II) -	(≅ -	1 1 10 43	100% 👻 🕜 📮 🕅 1		🔤 , 🔛 - 🖄 -	<u>A</u> - 🔡		
-	SUM ▼ X V & =E19/F19													
1														
		1	局コード	年度	年	月	有効測定値総和(月	総計)	有効測定時間総和(月総計)	<u>平均値(1990-2006</u>) 平均 🔤		
Г	[🛨	19				1 集計		176620		12174	=E19/F19			
	•	37				2 集計		224824		11325				
	•	55				3 集計		303863		12022				
	•	73				4 集計		362124		11904				
	•	91				5 集計		385319		12393				
	•	109				6 集計		319723		12071				
	•	127				7 集計		243813		12283				
	•	145				8 集計		243319		11799				
	•	163				9 集計		230305		12009				
	•	181				10 集計		199873		12440				
		199				11 集計		141626		12089				
	Ŀ	217				12 集計		134016		12500				
	<u> </u>	218	21201010	<u> 集計</u>				2965425		1 45009				
		236				1 集計		155917		12205				
	•	254				2 集計		188881		11300		<u> </u>		
M	4))	1 <u>99</u>	<u>0-2006 / m</u> /	423_06/										
編	集										NUM			

	Micr	rosoft	Excel - n	nA23_06.)	ds								
÷Ę	27	r/IV(E)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	挿入(])	書式(0)	ツール(T)	データ(<u>D</u>) ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘルプ(日)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください・・・	_ 8 ×
	1 🖻	i 🖬 🗖	A 6	ABC	11 K	🗅 🛍 •	I 🔊 -	(² - 🤮 Σ - <u>A</u> ↓ 3	KI I 🛍 🛷	100% - 🕜 📑 11	• E =	🔤 , 🔛 - 🖄 - 🖊	<u> </u>
	-	1 💼											
-			_	£	- 51 0 / 5	30							
-	2 3	4	×	/×		-19	D	E		C		C	
Ľ		1	局コード		, 	E	E D	右効測定値総和印	目総計)	有効測定時間総和	(日総計)	平均值(1990-2006)	平均合
Г	[+]	19		-+152			/」 1 集計	- H MARKE 12/08/10(7	176620		12174	14 5079678	
	•	37					2 集計		224824		11325	19.85200883	
	•	55					3 集計		303863		12022	25.27557811	
	+	73					4 集計		362124		11904	30.4203629	
	÷	91					5 集計		385319		12393	31.09166465	
	•	1 0 9					6 集計		319723		12071	26.48686936	
	•	127					7 集計		243813		12283	19.84962957	
	÷	145					8 集計		243319		11799	20.62200186	
		163					9 集計		230305		12009	19.17770006	
	•	181					10 集計		199873		12440	16.06696141	
	•	199					11 集計		141626		12089	11.71527835	
	Ŀ	217					12 集計		134016		12500	10.72128	
	닏_	218	212010	<u>)10 集計</u>					2965425		145009	20.44993759	
	l 🛨	236					1 集計		155917		12205	12.77484637	
Ш	+	254			,		2 集計		188881		11300	16.71513274	~
M	→	N (<u>19</u>	<u>30-2006 /</u>	, mA23_06	/								
	マンド									合計=4043	685132	NUM	

(5)⑦~(1)の作業を、「1990-2007」シートを作成したのと同様にして、「1990-1994」シート(1990 年代当初 5 年度)と、「2003-2007」シート(最新 5 年度)を作成。

16エクセルブック形式で、ファイルを保存。

* ①から¹¹の作業を繰り返し、03: NO₂、04: NOx、06: Ox、07: NMHC、10: SPM、51: POについて集計を 行います。 (3)濃度ランク別集計-年度別出力ファイル

- ① 出力ファイルをエクセルで開きます。
- ・昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データ ryAPP_SS.xls を開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの最 新年度(2007 年度)ファイル ryPP2007_SS.txt を開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイル ryAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

ryAPP_SS.txt(y:年度 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

ryPPYYYY_SS.txt(y:年度 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード

・測定項目コード

Ox(06), SPM(10)

以下、「年度別単純集計」②~⑦と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

- ③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。
- ④昨年度までの集計結果がある場合は(オートフィルタがかかっている場合は解除する)、過去の集計データ ryAPP_SS.xls の「ryAPP_SS」シートに、最新年度データをコピーし、追加。(ryPPYYYY_SS.txt のタイ トルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコピー、ryAPP_SS.xls の末尾にペースト。エクセルブック 形式で保存。)
 - (注意)Ox の場合は、セル:有効測定時間総和 120ppb 以上を追加しているため、列ズレを起こしている場合があるので確認する。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

⑦06:Ox の場合。有効測定時間総和 120ppb 以上の計算をする。

有効測定時間総和(120-139)~有効測定時間総和(240以上)の合計値を計算。

最終列の AH 列の AH1 に「120ppb 以上有効測定時間総和」と入力。

合計値を求める計算式:

120ppb 以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(120-139)+有効測定時間総和(140-159)+ 有効 測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定時間 総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が2行目の場合。

AH2 のセルに「=P2(有効測定時間総和(120-139))・・・・・+AB2(有効測定時間総和(240 以上))」と入 カ。 ⑦10:SPM の場合。有効測定時間総和 100µg/m3 以上の計算をする。 有効測定時間総和(100-119)~有効測定時間総和(240 以上)の合計値を計算。 最終列の AH 列の AH1 に「100µg/m3 以上有効測定時間総和」と入力。 合計値を求める計算式:

100µg/m3以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+有効測 定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和 (200-219)+ 有効測定時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が2行目の場合。

AH2のセルに「=N2(有効測定時間総和(100-119))·····+AB2(有効測定時間総和(240以上))」と入力。

	licrosof	ft Excel -	ryA45_	06.xls								_		¢
:0)	771MD	編集(E) 表示	市业 挿入((回方書 く	ツール①	データ(10) ウ	心下り 110 - 4	ヘルプ田	Adobe PDF(B)	1	間間を入力して	ください ・	- 0	×
		i 🗅 🧉 🖟	166	1 🌣 📖	X 🗈 🐔 ·	- 🍠 🄊 -	(* - 😣 🗴	e - 21 %.	10	0% - 😡				
i MS	S Pゴシック	• 11 •	BIU		I 🔤 📑 %	• 🖽 • .	<u>ð</u> - <u>A</u> -			- 18	4 - 🗄 🔟	🗆 📖	~~ ~~	
1	11 11 2	🗞 🖄 🗇	3) 🗿 🗞	@ ₩ 枚	目結果の返信(<u>c</u>) 校開結長	鳥の差し込み参	*7(N)						
	AH2	-	f≈ =P2+R	2+T2+V2+>	(2+Z2+AB2									
	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	1	=
1	有効測定	作有効測定時	トータル有多	エラーコート	エラーコート	エラーコート	データ総数	120ppb以	上有効測定の	時間総和				
2		0	8086	0	0	674	8760		0					
3		0	8277	0	0	507	8784		0					
4		0	8006	0	0	754	8760		0					
5		0	8579	0	0	181	8760		0					
6		0	8312	0	0	448	8760		0					
7		0	8607	0	0	177	8784		0					v
14 4	P H TY	A45 06/						<					>	
: 37	6の調整(12)-	· 🔓 オートショ	1.1.2 心・ 丶	100	-	🗘 🛯 🔙 I	ů · 2 ·	A - = =	a 🗄 🖬 🍘	-				
J72	F								1	-	NUM	1		

計算式を列AHセルにコピー(AH1の右下をクリックして全セルにコピー)

⑧ツールバー「ファイル」→「名前を付けて保存」、ファイルの種類をエクセルブック形式で、保存。

*以上の①~⑧の手順を繰り返し、06:Ox、10:SPM について行います。

(4) 濃度ランク別集計 一月別出力ファイル

①出力ファイルをエクセルで開きます。

昨年度までの集計結果がある場合

過去の集計データ rmAPP_SS.xls を開いた状態で、「大気時間値集計・解析プログラム」出力ファイルの最新年度(2007 年度)ファイル rmPP2007_SS.txt を開きます。

・初めて集計を行った場合

エクセルを起動し、全年度集計ファイル rmAPP_SS.txt を開きます。

・ファイル名

全年度集計の場合

rmAPP_SS.txt(m:月 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)

最新年度集計の場合

rmPPYYYY_SS.txt(m:月 PP:都道府県コード YYYY:年度(西暦) SS:測定項目コード

・測定項目コード

Ox(06), SPM(10)

以下、「月別単純集計」の2~10と同様に、

②データファイル形式は、区切り文字が「カンマ」で区切られたデータとします。

③局コードをクリックし、列データ形式を「文字列(T)」に変更。

- ④昨年度までの集計結果がある場合は(オートフィルタがかかっている場合は解除する)、過去の集計データ rmAPP_SS.xlsの「rmAPP_SS」シートに、最新年度データをコピーし、追加。(rmPPYYYY_SS.txtのタ イトルを除くすべてデータの行番号をドラッグしてコピー、rmAPP_SS.xlsの末尾にペースト。エクセルブッ ク形式で保存。)
 - (注意)Ox の場合は、セル:有効測定時間総和 120ppb 以上を追加しているため、列ズレを起こしている場合があるので確認する。

⑤シート全体を選択。

⑥レコードの並び替え。ツールバー「データ」→「並べ替え」(局コード>年度)。

(7)1990年度(固定)から2007年度(最新年度)のデータを抽出。

ツールバー「データ」→「フィルタ」→「オートフィルタ」。

⑧新規シート「1990-2007」シートを作成。

ツールバー「挿入」→「ワークシート」。シート名変更。

⑨⑦で抽出したデータを新シート「1990-2007」に貼付。

⑩レコードの並び替え。(局コード>月>年度>)

①集計は、2回に分けて、実行。

1回目の集計。

シート全体を選択し、ツールバー「データ」→「集計」。

集計の設定 🛛 🛛 🔀	集計
グループの基準(A):	グル
	集計
,	集計
	「有
集計するフィールド(<u>D</u>):	۲ŀ
 ▼ 有効測定値総和(240以上) ▼ 有効測定時間総和(240以上) ▼ トータル有効測定時間総和 	ドに
✓ 現在の集計表と置き換える(C)	「現
▼ グルーブごとに改ぺージを挿入する(P)	「グ
▼ 集計行をデータの下に挿入する(S)	ク。
_すべて削除(R) OK キャンセル	「集

集計の設定 ブル プの其進

グループの基準(A): 局コード 集計の方法(U): 合計 集計するフィールド : 「有効測定値総和(0-19)」から 「トータル有効測定時間総和」まで全てのフィール ドにチェックを入れる。

「現在の集計表と置き換える」をチェック。 「グループごとに改ページを挿入する」をチェッ ク。 「集計行をデータの下に挿入する」をチェック。

「OK」をクリック。

122回目の集計。

ツールバー「データ」→「集計」

集計の設定	? 🗙
グループの基準(<u>A</u>):	
月 🗸	
集計の方法(U):	
合計	
集計するフィールド(<u>D</u>):	
月 ▼ 有効測定値総和0-19) ▼ 有効測定時間総和0-19) ▼	
 □ 現在の集計表と置き換える(©) □ [グループごとに改べージを挿入する(P)] □ 集計行をデータの下に挿入する(S) 	
すべて削除(<u>R</u>) OK キ	ヤンセル

集計の設定 グループの基準(A):月 集計の方法(U):合計 集計するフィールド: 「有効測定値総和(0-19)」から 「トータル有効測定時間総和」をチェック

「現在の集計表と置き換える」のチェックをは ずす。

「グループごとに改ページを挿入する」のチェ ックをはずす。

「OK」をクリック。

③集計行のみ表示。

表示レベルの「3」をクリック。表示レベルが変更。

📧 Mi	Microsoft Excel - rmA23_06.xls													
:0)	ファイル() 編集(<u>E</u>) 表	眎(⊻) 挿2	(1) 書式(0)	ツール(I)	データ(<u>D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H</u>)	Adobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力してください。	_ 8 ×				
10	🗋 🗃 🖟 🕼 🎒 🕼 🐧 🖇 🕼 🐇 🗣 🖄 • 🛷 • 🐘 🗴 🔹 🕄 🖉 • 🖉 • 🔛 🗴 • 🕼 🖓 100% 🔹 🞯 📑 100% 🔹 🞯 📑 100% 🔹 🖓 🔹 👘 • 11 • • □ Β ΙΙ U 三 三 三 国 • 田 • 🖄 • 🛕 •													
· •	A1													
12	3 4	Δ	B		D	F	F	G	н	_				
Laide La		局コード	年度	年	月	有効測定値総和(0~19)	有効測定時間総和(0~19)	有効測定値総和(20~39)	有効測定時間総和(20~39)	有效				
ГГБ	• 1	9			1 集計	60703	8095	112070	3986					
Ē	• 3	7			2 集計	51370	5711	141807	4884	3				
	• 5	5			3 集計	46896	4693	147479	4943	10				
E	• 7	3			4 集計	38608	3520	138068	4739	14				
E	• 9	1			5 集計	42021	3796	1 40488	4869	15				
	• 1	09			6 集計	51954	5451	109206	3831	3				
	• 1:	27			7 集計	58065	7652	77084	2789	5				
	<u>+</u> 1	45			8 集計	53538	7132	77079	2737	E				
	<u>+</u> 1	53			9 集計	58795	7416	85993	3085	2				
	• 1	31			10 集計	63157	8343	88481	31 40	3				
	<u>•</u> <u>1</u>	99			11 集計	54955	9121	74750	2708	1				
L	• 2	7	- 44-21	-	12 集計	59442	9708	73156	2758					
	2	8 2120101	0 集計			639504	80638	1265661	44469	70				
	• 2	36			1 集計	62886	8799	91535	3370	1				
		24	-		2 集計	53116	6724	116/20	4137					
		12			3 集訂	50237	5743	121/16	4123	- 1				
		20			4 朱司	42472	4004	112073	3810	16				
	. 3	78			3 朱司	42852	4301	1210/5	4101	12				
		20			0 朱訂	49300	3400	102903	3090	Ê				
	Image: 1 march 2 march													
777.4														
JAN I	90.								NUM	1				

⑭06:Ox の場合。有効測定時間総和 60ppb 以上の計算をする。

有効測定時間総和(60-79)~有効測定時間総和(240以上)の合計値を計算。

最終列の AJ 列の AJ1 に「60ppb 以上時間総和」と入力。

合計値を求める計算式:

60ppb以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(60-79)+有効測定時間総和(80-99)+有効測定時 間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+有効測定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和 (160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定時間総和 (220-239)+有効測定時間総和(240以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が19行目の場合。

AJ19 のセルに「=L19(有効測定時間総和(60-79))+N19(有効測定時間総和(80-99))+P19(有効測定時 間総和(100-119))・・・・・+AD19(有効測定時間総和(240 以上))」と入力。

×	Microsoft Excel - rmA23_06.xls													
:2	④ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(D) 書式(O) ツール(D) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H) Adobe PDF(E) 質問を入力して(ださい - 6×													
i 🗆	<u><u></u> <u></u> <u></u> </u>													
1														
	SUM ▼ X V & =L19+N19+P19+R19+T19+V19+X19+Z19+AB19+AD19													
1	234		AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	~			
		1	有効測定時	トータル有家	エラーコード(9997)総数	エラーコード(9998)総数	エラーコード(9999)総数	データ総数	60ppb以上時間総和					
Г		19	0	12174					=L19+N19+P19+R19+	T19+				
		37	0	11325					V19+X19+Z19+AB19+	AD19				
	•	55	0	12022										
	•	73	0	11904										
	•	91	0	12393										
	•	109	0	12071										
	•	127	0	12283										
	•	145	0	11799							_			
	+ 163 0 12009													
H.	→ H\ <u>1990-2006/rm423_06/</u>													
編	ŧ								NUM					

計算式を列 AJ セルにコピー。

10:SPMの場合。

有効測定時間総和(100-119)~有効測定時間総和(240 以上)の合計値を計算。 最終行AJ列のAJ1 に「100 µ g/m³以上時間総和」と入力。

合計値求める計算式:

100 μ g/m³以上有効測定時間総和=有効測定時間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+ 有 効測定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+ 有効測定 時間総和(200-219)+ 有効測定時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)

【入力例】

表示された先頭の集計行が19行目の場合。

AJ19 のセルに「=P19(有効測定時間総和(100-119))+R19(有効測定時間総和(120-139))+T19(有効測 定時間総和(140-159))+・・・・・・・+AD19(有効測定時間総和(240 以上))」と入力。

×	Micro	soft E	xcel - rmA23_10.xls									
:2] 771.	N(E)	編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式((0) ツール(I) データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(₩)	ヘルプ(<u>H</u>) A	dobe PDF(<u>B</u>)		質問を入力して	ください 🚽	_ 8 ×
			a a d 🏶 🛍 🖌 🗅 🛙	B = 🛷 19	- (° - I 🧕	$\Sigma \cdot \frac{A}{Z} \downarrow \frac{Z}{A}$	(† 🛍 🥵 🔟	10% 🔹 🕜 📮 📜 🔹 🛛 🔹		a. , .	• 🖄 • <u>A</u> •	
1) 🔁 P	8										
	SI	JM	🔻 🗙 🗸 🏂 =P19+R19+T	19+V19+X1	9+Z19+AB	19+AD19						
1	2 3 4		AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	A
	_	1	トータル有効測定時間総和	エラーコート	エラーコート	エラーコート	データ総数	<u>100ug/m以上時間総和</u>				
Γ		19	12587					=P19+R19+T19+V19+X19+	Z19+AB19	+AD19		
	•	37	11398									
	•	55	12190									
	•	73	11889									
	•	91	11799									=
	Ŀ	109	11763									
	<u> </u>	127	12122									
	<u> </u>	145	12341									
	<u> </u>	163	12062									<u> </u>
	Ŀ	181	12038									
		199	12033									~
М	• • •	199	<u>0-2006</u> /rmA23 <u>1</u> 0/					<			1111	
編	ŧ									NU	M	

計算式を列AJセルにコピー。

15に進む。

(1) ⑦~(1)の作業を、「1990-2007」シートを作成したのと同様にして、「1990-1994」シート(1990 年代当初 5 年度)と、「2003-2007」シート(最新5年度)を作成。

16エクセルブック形式で、ファイルを保存。

*以上の手順を繰り返し、06:Ox、10:SPM について、集計を行います。

©国立環境研究所

Ver1-6 2009/10/22

基本解析マニュアル 基本編3 基本解析ファイルの作成

1. 基本解析様式(エクセル形式ファイル)のダウンロード

①基本解析ファイルは、基本解析様式(エクセル)を用いて、集計結果ファイルからデータを入力(コ ピー&ペースト)し、作成します。

基本解析様式(エクセル)は、 C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u> から、 ダウンロードして下さい。 トップページ 左メニュー 基本解析ツール → 基本解析提出様式(エクセル) 基本解析様式(エクセル) をクリックし、

必要な都道府県の zip ファイルをダウンロードして下さい。

♥C型共同研究>	マンパーサイト Mozilla Firet	fox			
ファイル(E) 編集(E) 表	モ示(⊻) 履歴(≦) ブックマーク(B) ツール(T)	ヘルプ(円)			*** ***
C X	🏠 🔣 https://project.nies.go.jp/c=c	ox/forum/		😭 🔹 🔀 Google	P
C型;	共同研究メンバーサイト				<u>^</u>
メインメニュー	最新ニュースプロック				関連资料
ホーム	・ 美加続用名第五新のお知らせ(2008-9-4)				H20参加機関名簿
ニュース	 中間ファイルが全国一括でも成別にダウン 中間ファイルの全国一括でも成別にダウン 	ロードができるようになりました(2008-8-11) 08-8-1)			平成20年度第一回研究 会配布资料
フォーラム スケジュール リンク集	 長期利用ファイル交換サーバー運用一時停 北海道2006年度データ提供開始のお知ら 2006年度時間値データのダウンロード開 	u (8/7) (2008-7-29) te (2008-7-7) te (2008-7-4)			平成20年度第一回研究 会ブレゼン资料(内部资 料)
関連リンク	 ・ 参加素関名%の更新(お知らせ)(2008-7- ・ 大気環境学会(2008年9月)諸演表旨(2008年9月) 	-2) 08-6-30)			2007年高濃度発生事 例の水平分布図
大気汚染予測システム (共通ID:toshi 共通 PW:toshi\$123)	 関連資料のダワジロートー時付止(6/2/) 大気汚染予報システム(研究者限定公開)((2008-6-24) JRLの変更(2008-6-24)			H20大気環境学会講演 要旨
時間値(速報値・濃度分	- フォーラムでの最近の投稿				H20/4/23報道発表資 料
布図)タウンロートサイ ト(共通ID:gis4 共通	フォーラム	スレッド	返信 開覧	最终控制	H20/4/23環境省記者
PW:gis4\$123) CEODS(過去面景)サイ	04中国四国グループ	2008年度のOx高濃度事例について	3 20	2008-10-5 10:16 shimane.sagawa	クラノ型波芸文科 大気法染予選択介 VTP
ト(共通ID:user08 共 通りW:080401)	04中国四国グループ	夜闘高O×調査結果とりまとめについて	1 20	2008-10-1 16:37 yamaguchi.osada	H19年度地域Gまとめ
超PW:0004017 覆嵌GIS(士气语选择	2007.4/26-/29(九州、中国四国 Ox)	九州グループの解析について(全体会議の発表要旨)	0 9	2008-9-30 16:04 fukuoka.yamamoto	H19年度基本解析結果
況の常時監視結果)	05九州グループ	九州グループ解析(全体会議要旨)	0 9	2008-9-30 16:02 fukuoka.yamamoto	H19年度第二回研究会
環境数値データベース (大気データのダウン)	03東海近畿グループ	月ごとランク別高邊康発生時間の経年変化について	2 76	2008-9-26 11:38 osaka.wada	资料IN聚京 U10年6日駅会開水フ
й-F)	04中国四国グループ	中国四国Gの高邊度事制解析について	8 151	2008-8-29 10:42 ehime.uno	11940月茶送詞至7 ンケート
そらまめ君	05九州グループ	MANDARAを使った地図作成マニュアル	2 36	2008-8-28 19:34 saga.takahashi	本サイト操作方法
光化学オキシダント等に 関するC型共同研究	05九州グループ	8月19日グループ会議配付資料	0 14	2008-8-28 19:15 fukuoka.yamazaki	平成19年度第一回研究 会资料in更克
ページ	衛星 データ活用グループ	OMIによる対流圏NO2分布画像	2 42	2008-7-16 14:27 yamaguchi.osada	平成19年度第一回研究
AIR KOREA	PDグループ	取りまとめ資料	3 57	2008-6-30 17:21 osaka.itano	会プレゼン資料
ユーザメニュー	P ログループ	取りまとめ资料(和田発表分)	0 14	2008-6-30 16:02 osaka.wada	全国集計結果
アカウント皆報	04中国四国グループ	2008大気環境学会について	1 39	2008-6-30 10:59 shimane.sagawa	最終輩告書
アカウント編集	衛星データ活用グループ	2008年6月勉強会资料	1 56	2008-6-13 16:10 yamaguchi.osada	基本解析ツール
コペンド週世館版	ここだけの話	後方流醫線解析について	7 199	2008-6-13 15:51 fukuoka.yamazaki	時間値進計プログラム 改訂版
受信箱				フォーラムへ	refフォルダ追加ファイ
				J	<i>h</i> /
完了					project.nies.go.jp 🔒 🛒

【基本解析提出様式 (エクセル)】

各自治体の提出様式はエクセル形式で3種類のファイルがあります。(A・B・Cファイル)

- ・基本解析様式 A ファイル 「PPA 都道府県市_2007.xls 」
- ・基本解析様式 B ファイル 「PPB 都道府県市_2007.xls」
- ・基本解析様式 C ファイル 「PPC 都道府県市_2007.xls」

ファイル名:

PPA 都道府県市名_YYYY.xls

PPB 都道府県市名_YYYY.xls

PPC 都道府県市名_YYYY.xls

(例: PP:県コード 市の場合は、都道府県コードの3桁目に1を付加 例: 231 名古屋市.xls YYYY:解析対象最終年度 2007 年度の場合は、2007)

【昨年度基本解析を行った方へのお願い】

本年度の基本解析提出様式は、A、B、C 全てにわたって、大幅に見直しがあったため、事務局 で、各機関別の新提出様式をご用意いたしました。ご面倒でも、昨年度の提出ファイルを修正する ことなく、必ず、本年度の新様式に入力してくださいますよう、お願いいたします。

・本年度の主な変更点

本年度は、①相関係数の有意性検定の追加、②経年変化についての移動平均の導入、③グラフの凡 例設定を自動に変更 等を中心に、解析項目の見直しを行っています。

各ファイルとも、図表シート、計算シートともに多数の変更箇所がありますので、基本解析見本(名 古屋市サンプル)を参照しながら、作業を進めて下さいますよう、お願いします。

【基本解析見本(名古屋市サンプル)】

・名古屋市が行った基本解析結果及び考察をサンプル見本として配布します。
 C型共同研究メンバーサイト <u>https://project.nies.go.jp/c-ox/forum/</u>から、
 トップページ 左メニュー 基本解析ツール → 見本(名古屋市サンプル)
 基本解析見本(エクセル) をクリックし、以下のファイルをダウンロードして下さい。

ファイル名:

基本解析様式Aファイルの見本: 231A 名古屋市_2007.xls 基本解析様式Bファイルの見本: 231B 名古屋市_2007.xls 基本解析様式Cファイルの見本: 231C 名古屋市_2007.xls 2. 基本解析様式(エクセル)の開き方(A・B・Cファイル共通)

 ②①で保存した、「PPA 都道府県市名_2007.xls」、「PPB 都道府県市名_2007.xls」、または「PPC 都道 府県市名_2007.xls」のいずれかのファイルをエクセルで開きます。

下記、メッセージが表示された場合、「マクロを無効にする(D)」をクリック。

セキュリティ警告		×
はマクロを含んでいます。	基本解析	サンプル¥231 名古屋市.xls″
マクロにはウイルスが含まれている場合があ 合、機能が使えなくなります。	かます。通常、マクロを無効にすると5	安全ですが、マクロが適正な場
マクロを無効にする(D)	マクロを有効にする(<u>E</u>)	詳細(<u>M</u>)

③基本解析様式(エクセル)には、数値入力用シートがあります。

各シートの<mark>水色部分</mark>にエクセルによる集計結果をコピーし、値のみ貼付を行います。

<mark>クリーム色部分</mark>は、年度が追加された場合に数式を変更。

色のない個所には、式が入力されているので、上書きしない。

は、グラフシートの元のデータとして値を使用。図番号はグラフシートの図番号に対応。

〇「選定5局」シートについて(A・B・Cファイル共通)

解析対象局(選定5局)の測定局コードと測定局名を、測定局コードの小さいものを左から順に記 入されています。

「選定 5 局」シートに記入されたデータが、他のシートに反映されていますので、変更しないで下 さい。

測定局名が長い場合は、8文字程度に省略した名称を記入しています。(グラフの凡例に表示する ため)

G1は、解析対象とする都道府県市コード

都道府県コードは2桁、市コードは3桁

G2は、都道府県市名

🔀 M	■ Microsoft Excel - 231名古屋市_2005サンプル.xls													
8	ファイル(<u>F</u>) 編集(E) 表	示── 挿入ゆ 書	拭② ツール①	データ(型) ウィンドウ	₩ ヘルプ(H)		質問を入力してくだ	iãn 🕒 🖬 :	×					
	Σ - 2 Δ	100% - 🐥 N	AS Pゴシック	• 11 • B I	<u>u</u> ≡ ≡ ≡ ∎	a 🔊 % , tw	;00 t≡ t≡	🔄 • <u>ð</u> • <u>A</u> •	-					
	A1 🗸	★ 測定局コー												
	A	В	С	D	E	F	G	н						
1	測定局コード	23110040	23110050	23112020	23113010	23115010	231							
2	測定局名	八幡中学校	富田支所	白水小学校	守山保健所	名東保健所	名古屋市							
3														
4														
5				<u> </u>					-					
H 4	▶ ▶ \ <u>選定5局</u> (グラフ	1_Ox/グラフ_SPM/	[クラフ]関連/1・16	i.Ox年半均/2.Ox年	⊑最大/3•5•6.OX濃	関度別時間数(4.C	▶ 半年値との偏差	≝,(7•15.SPM≄						

(お願い)

選定 5 局の変更がある場合は、国環研事務局 cox_office@nies.go.jp にメールでご連絡下さい。 事務局から、変更内容を反映した基本解析サンプル(エクセル形式)を再送します。

ONMHCの解析について

本年度より、NMHC、NOx の時系列解析が追加されました。NMHC は、選定 5 局のうち、測定 している局があれば、該当する局のみ入力して下さい。選定局で測定していない場合に、近傍局の値 で代用していただく必要はありません。5 局とも測定していない場合は、測定していない旨をご報告 下さい。

〇移動平均の追加について

本年度より、時系列分析(経年変化)に移動平均項目が追加されました。

サンプル(エクセル)の該当するシートに、5年間移動平均値の計算式が追加されています。 サンプルでは、1976年~2007年度まで全年度のデータが揃っていることを前提に計算式が入力され ています。データ開始年度が測定局によって異なるため、選定5局の測定状況に合わせて、以下により、値をDELETEして下さい。

<年平均値の5年間移動平均の求め方>

1. 計算は、前後2年間+当年の年平均値を用いる。

すなわち、前々年、前年、当年、翌年、翌々年の5年間の平均値とする。

ただし、データ開始当初の2年間、及び直近2年間は、移動平均を求めない。

〇グラフの凡例について

従来、全国比較のため、グラフの凡例を統一してきましたが、地域差が大きいため、かえってグラ フが見にくいことから、凡例の統一をとりやめました。今回の様式では、グラフの凡例を自動設定に 変更しております。

各機関の判断で、見やすいグラフになるよう、自由に設定変更をして下さいますよう、よろしくお 願いします。

<u>基本解析様式Aファイルの作成</u>

(1) yAPP_06.xls(Ox年度別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)

集計データ「yAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名 2006.xls」に入力します。

「1.Ox 年平均」シート

①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_06.xls を開く。

②局コードにオートフィルタをかけ、選定5局のコードを順に選択する。

(「データ」→「フィルタ」→「オートフィルタ」)

③「平均値(年総計)」をコピーし、当該年度から水色表示のデータ入力部へ「値のみ貼付」。 該当年度がない場合は、0入力ではなく、空欄。(例:1976年の水色表示部分、空欄)

1 かんの 単心の 赤石の 中心の テールの テールの テールの テールの チールの 小口の 1 あ 2 u を 3 m 2 m 2 m 2 m 2 m 2 m 2 m 2 m 2 m 2 m	🔀 Microsoft	S Microsoft Excel													
D ⊕ ⊕ ⊡ ⊕ ∠ ♥ ↓ B ⊕ ⊕ + ♥ → ● ⊕ ∠ + ↓ ↓ ↓ ⊕ ↓ □ + □ + □ + □ + □ + □ + ↓ ↓ ⊕ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ファイル(E) 編	集(E)	表示──	挿入① 書式(Q) ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)						質問	を入力してください 👻
EV7 ▲ 623 CV2240xt C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C C <thc< th=""> <thc< th=""> C <</thc<></thc<>	0 🛩 🖬 🖷	1 6	D. 🖤 🐰	b 🛍 • ≺	10-0	- 🍓 Σ	- 21 21 1	4 100%	• ? . N	IS Pゴシ	ック	•11 • B / U = = =	國 9%,:	8 ;98 🛊 🛊 🛛	• <u>»</u> • <u>A</u> • .
$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	E275		• fi	22.6											
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	💐 y A23_06.x	ls								231:	名古屋市	5_2005サンプル.xls			
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	A		В	С	D	E	F	G	н		A	В	С	D	E
275 3110040 1977 19155 8673 22.6 111 0 1 2 101 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 <t< td=""><td>1 局コー</td><td>-1-</td><td>年度</td><td>有効測定値</td><td>有効測定間</td><td>平均値(年)</td><td>最大値(年編</td><td>小値(年紀</td><td>標準偏差</td><td>1</td><td>Ox</td><td>測定局コード</td><td>23110040</td><td>23110050</td><td>23112020</td></t<>	1 局コー	-1-	年度	有効測定値	有効測定間	平均値(年)	最大値(年編	小値(年紀	標準偏差	1	Ox	測定局コード	23110040	23110050	23112020
276 2310040 1976 171756 8657 188 126 0 1614 3 1976 277 2310040 1978 11960 1607 113 0 124 4 1977 226 230 278 2310040 1986 1261 607 132 76 0 84 5 1978 1988 2006 280 2310040 1986 11473 666 1 1 7 1980 1339 188 15.0 282 2310040 1986 1074 3398 86 821 11 1980 132 18.8 15.0 15.6 15.8 14.9 202 200 237 2310040 1986 15.6 15.6 15.8 14.9 238 2310040 1986 86.0 16.6 16.6 16.6 16.8 35 35 328 2310040 1986 86.0 16.6 16.8 35 35 328 2310040 1986 16.8 15.7 13.1 11.1 19.9 16.1	275 23110	0040	1977	194155	8573	22.6	111	0	14	2	図1	測定局名	八幡中学校	富田支所	白水小学校
227 2310.040 1979 10180 0002 113 0 121 4 1977 226 2237 228 2310.040 1980 102012 8677 132 71 1 9 6 1978 1867 2222 238 2310.040 1981 1242.23 2022 336 168 2022 238 2310.040 1982 1282.3 800 1 9 6 1978 188 2026 238 2310.040 1983 1282.3 800 9 8 9 1982 132 188 150 232 2310.040 1986 1986 86 97 1 8 1 1 1985 9 1982 120 133 38 123 138 38 123 138 133 168 150 128 131 168 150 158 168 150 158 131 168 150 158 136 160 157 158 151 150 151 157	276 23110	0040	1978	171756	8657	19.8	126	0	16.0	3		1976			
12.12 231 1040 1980 12.081 2007 133 70 0 93 5 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 197.8 100 133 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 <td>277 23110</td> <td>040</td> <td>1979</td> <td>161860</td> <td>8662</td> <td>18.7</td> <td>113</td> <td>0</td> <td>12.0</td> <td>4</td> <td></td> <td>1977</td> <td>22.6</td> <td></td> <td>23.7</td>	277 23110	040	1979	161860	8662	18.7	113	0	12.0	4		1977	22.6		23.7
12.12 11.11 12.12 11.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1	278 23110	040	1980	114179	8077	13.9	70	1	9.1	5		1978	19.8		20.6
221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 221 <td>280 23110</td> <td>1040</td> <td>1982</td> <td>125623</td> <td>8029</td> <td>15.2</td> <td>60</td> <td>1</td> <td>1(</td> <td>7</td> <td></td> <td>1979</td> <td>139</td> <td></td> <td>20.2</td>	280 23110	1040	1982	125623	8029	15.2	60	1	1(7		1979	139		20.2
282 2311000 1934 8107 97 1 91 9 1982 156 158 149 283 2311000 1986 7154 838 86 82 191 10 1985 128 131 98 284 2311000 1987 7154 838 66 71 1 181 1986 66 16 66 1 111 1986 96 16 66 1 111 1987 118 150 165 95 287 2311000 1989 8665 766 1 131 16 1987 118 150 169 282 2311000 1981 1986 166 1 17 1988 118 120 118 120 118 120 118 120 118 120 118 120 118 120 118 120 118 120 118 121 1198 131	281 23110	0040	1983	109213	8511	12.8	80	1	9	8		1981	13.2	18.8	15.0
283 2311040 1985 7154 834 86 82 1 91 10 1883 12.8 13.1 99 284 2311040 1987 9351 8331 11.8 90 11 11 1184 97 12.3 106 285 2311040 1987 9855 9331 11.8 90 11.1 12 1986 86 11.6 96 286 2311040 1989 86565 7353 11.8 95 11.1 12 1986 86 15.5 95 286 2311040 1980 110648 72.5 15.1 101 13.1 1986 106 101 15.7 280 2311040 1980 1386 12.7 13.7 1886 10.6 101 15.1 280 2311040 1982 16.6 17.7 14.6 18.2 11.1 18.7 13.3 14.3 13.3 13.3 <th< td=""><td>282 23110</td><td>0040</td><td>1984</td><td>81074</td><td>8398</td><td>9.7</td><td>97</td><td>1</td><td>9.6</td><td>9</td><td></td><td>1982</td><td>15.6</td><td>15.8</td><td>14.9</td></th<>	282 23110	0040	1984	81074	8398	9.7	97	1	9.6	9		1982	15.6	15.8	14.9
2284 23110040 1986 72.30 8445 86 71 1 8.6 11 1984 9.7 12.3 106 286 23110040 1988 8855 8337 118 65 1 11 12 1985 86 16 69 287 23110040 1988 8665 7383 118 65 1 13 1986 86 85 95 287 23110040 1989 11165 1086 101 15.0 16.9 288 23110040 1989 11165 103 13.4 16 1989 11.8 12.0 11.9 290 23110040 1983 1434 17.7 14.8 1989 15.1 13.6 14.7 292 23110040 1983 15.8 17.7 16.8 14.3 1 1989 15.1 13.6 14.7 292 23110040 1997 16.0 12.4 <	283 23110	0040	1985	71584	8334	8.6	82	1	9.6	10		1983	12.8	13.1	9.9
285 2911040 1987 9815 8331 11.8 90 1 11.1 12 1985 865 11.6 965 287 2911040 1988 8655 7363 11.8 85 1 11.1 12 13 1987 11.8 15.0 15.9 288 2911040 1989 1165 2033 13.8 13 11.2 15.1 1986 10.6 10.1 15.7 289 2911040 1991 10448 7251 15.1 10.1 1 13.1 16 1986 10.6 10.1 15.7 280 2911040 1993 12800 8197 10.6 82.7 11.1 18 1986 10.6 11.3 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8 13.8	284 23110	040	1986	72360	8445	8.6	71	1	8.9	11		1984	9.7	12.3	10.6
286 2211 0040 1988 88550 8375 10.6 65 1 1 1966 6.6 8.5 9.5 287 2211 0040 1989 6665 7.63 11.8 65 1 1.1 1.4 1967 11.8 15 1986 10.6 10.1 15.7 283 2311 0040 1992 1382.71 257 15.1 10.7 1 13.8 11.8 1 1986 11.8 1.9 13.8 13.5 14.3 282 2311 0040 1983 128003 8191 15.6 82.2 1 11.8 1 1987 15.6 14.7 282 2311 0040 1986 14477.6 168 18.2 9.7 1 14.4 19 1982 15.7 16.8 14.6 282 2311 0040 1986 134943 742 17 85 1 12.2 1986 17.7 20.7 15.7 28.2 1986 </td <td>285 23110</td> <td>0040</td> <td>1987</td> <td>98151</td> <td>8331</td> <td>11.8</td> <td>90</td> <td>1</td> <td>11.1</td> <td>12</td> <td></td> <td>1985</td> <td>8.6</td> <td>11.6</td> <td>9.6</td>	285 23110	0040	1987	98151	8331	11.8	90	1	11.1	12		1985	8.6	11.6	9.6
287 2211040 1989 66685 7363 11.8 65 1 11.4 1987 11.8 15.0 16.8 288 2311040 1991 104668 7251 15.1 101 1 13.4 16 1988 10.6 101 15.7 289 2311040 1981 12800 8275 16.7 99 1 11 18 1987 15.1 13.6 14.3 282 2311040 1984 148776 8166 16.2 97 1 14.1 18 1987 15.1 13.6 14.7 282 2311040 1984 148776 8166 16.2 97 1 14.1 18 1987 15.6 17.7 14.6 284 2311040 1984 146748 8228 17.7 98 1 13.5 22 1985 17.0 23.0 15.2 285 2311040 1998 176642 7979 22.1 111 1 15.2 25 1998 23.1 20.6 16.	286 23110	0040	1988	88550	8375	10.6	65	1	£	13		1986	8.6	8.5	9.5
288 2311040 1990 1115 10 1 12 15 1004 1998 1004 1004 1997 155 101 113 1 12 15 1004 1998 118 120 115 1004 1992 118 120 117 1998 118 120 118 118 120 118 120 118 121 118 118 121 118 118 121 1999 135 143 282 23110040 1994 149776 8186 182 97 1 14 19 1992 167 188 146 284 23110040 1995 14943 7942 17 85 1 22 1995 1770 230 152 285 23110040 1998 1785 230 186 122 188 24 1997 196 21.6 183 289 23110040 2000 16	287 23110	040	1989	86685	7363	11.8	85	1	11.0	44		1987	11.8	15.0	16.9
2289 23110440 1991 104408 7251 151 100 1 181 120 113 120 113 280 2311040 1983 12803 8191 156 827 111 18 1989 113 120 113 281 2311040 1983 12803 8191 156 82 111.4 19 1989 151 136 147 282 2311040 1985 14843 7442 17 85 1 12 20 1993 156 177 166 284 2311040 1987 16044 165 22 1985 170 230 152 285 2311040 1989 16642 797 221 111 1 12 24 1987 186 12.1 200 130 286 2311040 2000 161345 8260 19.7 1706 1 15.1 27 2000	288 23110	0040	1990	111565	8033	13.9	113	1	12.0	15		1988	10.6	10.1	15.7
1280 231 040 1992 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 13.9 <	289 23110	040	1991	109468	/251	15.1	101	1	13.8	16		1989	11.8	12.0	11.9
1281 1281 1281 1281 1281 1281 1381 133 147 1282 2311040 1995 134943 7942 17 85 1 12 1991 131 133 147 294 2311040 1995 134943 7942 17 85 1 12 1994 182 190 151 294 2311040 1996 145548 8228 177 98 1 133 147 1994 182 190 151 295 2311040 1997 166941 6203 122 118 124 115 22 1995 177 207 167 297 2311040 2000 11345 8206 197 106 1 15 25 1998 221 200 130 130 157 300 2311040 2001 15666 7867 172 76 1 12 26 1999 233 231 157 300 2310040 2002 184773 <td>290 23110</td> <td>040</td> <td>1002</td> <td>1 38271</td> <td>8275</td> <td>10.7</td> <td>99</td> <td>-</td> <td>11.0</td> <td>17</td> <td></td> <td>1990</td> <td>13.9</td> <td>13.5</td> <td>14.3</td>	290 23110	040	1002	1 38271	8275	10.7	99	-	11.0	17		1990	13.9	13.5	14.3
1222 1231 0040 1937 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 10370 <	291 23110	040	1993	1/0776	0191	10.0	02		14.	18		1991	10.1	13.0	14.7
2284 231 10040 1996 14554 6225 17.7 98 1 133 21 1996 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1600 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1610 1	293 23110	040	1995	134943	7942	10.2	85	1	12	20		1992	15.6	177	14.0
285 23110040 1997 160941 9203 124 1 15. 22 1996 17.0 23.0 15.2 286 23110040 1998 176642 7979 22.1 111 1 1 23 1996 17.7 20.7 16.7 287 23110040 1998 186188 8067 23.3 120 1 18.7 24 1996 17.7 20.7 16.7 298 23110040 2000 113345 8206 19.7 106 1 15.7 25 1998 22.1 20.0 130 300 23110040 20001 135666 7867 17.2 76 1 12.7 2 0 1999 23.3 23.1 15.7 301 23110040 2003 187730 7788 24.1 10.4 1 16.6 2 2 2000 22.5 15.4 302 2310040 2005 21376	294 23110	0040	1996	145548	8228	177	98	1	13!	20		1994	18.2	19.0	151
2262 2311 0040 1998 176642 7979 221 111 1 1 23 1996 177 207 167 287 2311 0040 1998 186168 6067 233 120 1 165 24 1997 196 216 183 288 2311 0040 2000 161345 8206 7667 152 1988 221 200 130 289 2311 0040 2001 135666 7867 172 76 1 122 26 1998 233 231 157 300 2311 0040 2003 187730 7788 241 104 1 162 28 2001 172 201 144 302 2311 0040 2003 21376 8291 257 101 1 167 29 2002 223 225 155 2187 2 104 1 167 33 2007 155	295 23110	0040	1997	160941	8203	19.6	124	1	15.1	22		1995	17.0	23.0	15.2
292 23110040 1999 188188 8067 233 120 1 15: 24 1997 196 216 183 293 23110040 2000 161345 8208 197 106 1 15: 25 1998 221 200 130 300 23110040 20001 135666 7867 17.2 76 1 12: 26 1999 233 231 157 300 23110040 2002 187730 7788 241 104 1 16: 28 2001 17.7 201 14.4 302 23110040 2003 241 104 1 16: 29 2000 17.7 201 14.4 302 23110040 2004 202713 8308 24.4 99 1 17.7 29 2000 22.3 22.5 15.4 2186 2 2337 2101 1 16.9 17.5 <td>296 23110</td> <td>040</td> <td>1998</td> <td>176642</td> <td>7979</td> <td>22.1</td> <td>111</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>23</td> <td></td> <td>1996</td> <td>17.7</td> <td>20.7</td> <td>16.7</td>	296 23110	040	1998	176642	7979	22.1	111	1	1	23		1996	17.7	20.7	16.7
288 23110040 2000 161345 8208 197 106 1 157 25 1988 221 200 130 299 23110040 2001 135666 7867 172 76 1 12: 26 1999 233 231 157 300 23110040 2002 184718 6266 223 103 1 15.1 27 2000 197 198 150 301 2310040 2002 184718 6266 223 103 1 15.1 28 2000 17.2 201 144 302 23110040 2005 21376 8241 104 1 16.1 28 2000 223 225 154 303 23110040 2005 21376 8291 25.7 101 1 16.1 30 2003 24.1 22.9 152 2187 2180 2187 2180 2197 24 </td <td>297 23110</td> <td>0040</td> <td>1999</td> <td>188188</td> <td>8067</td> <td>23.3</td> <td>120</td> <td>1</td> <td>18.1</td> <td>24</td> <td></td> <td>1997</td> <td>19.6</td> <td>21.6</td> <td>18.3</td>	297 23110	0040	1999	188188	8067	23.3	120	1	18.1	24		1997	19.6	21.6	18.3
289 2311040 2001 135666 7867 77.2 76 1 1.2: 26 1989 23.3 23.1 15.7 300 2311040 2003 187730 7788 22.3 103 1 15.5 2000 11040 2000 117.2 2000 117.2 2001 114.4 302 2311040 2003 187730 7788 24.1 104 1 16.5 28 20001 17.2 201 14.4 302 2311040 2004 202713 6306 24.4 99 1 7.7 29 2002 22.3 22.5 15.2 2186 2005 21371 101 1 16.6 33 2006 215.5 32 2006 24.4 20.5 15.5 2186 2187 219 2197 2197 24.8 15.1 36 93 2007 21.8 0.54 0.05 37 7.9 0.68	298 23110	0040	2000	161345	8208	19.7	106	1	15.1	25		1998	22.1	20.0	13.0
300 2311 0040 2002 184713 8266 22.3 103 1 15.5 27 2000 19.7 19.8 15.0 301 2311 0040 2003 187730 7788 241 104 1 16.5 29 2000 17.2 201 14.4 302 2311 0040 2004 202713 8308 24.4 99 1 17.2 201 14.4 302 23110040 2005 213076 8291 25.7 101 1 16.4 30 20002 22.3 22.5 15.5 2187 2 2005 25.7 24.8 15.8 32 2006 25.7 24.8 15.8 2188 2190 2192 2194 2197 16.9 17.5 15.1 36 24.9 33 0.49 -0.05 2193 2194 2196 2197 2197 20.8 0.49 -0.05 38 平均値相関係数(1980-2005)	299 23110	0040	2001	135666	7867	17.2	76	1	12.1	26		1999	23.3	23.1	15.7
301 2311040 2003 11/7/30 7/88 241 104 1 16 28 2001 17.2 201 144 302 2311040 2004 20271 3306 2213 2225 15.4 302 2311040 2005 213076 8291 25.7 101 1 16.1 29 2002 22.3 22.5 15.4 2186 2005 213076 8291 25.7 101 1 16.1 30 2003 24.1 22.9 15.2 2186 2005 21377 0 0 2007 24.8 15.8 2189 2190 2192 16.9 17.5 15.1 15.1 2183 2192 2193 16.9 17.5 15.1 15.1 2193 2195 31 2007 33 0.49 -0.05 2193 2195 2197 208 2057 0.78 0.68 0.61 2196 2196 2197 2198 2198 2198 2198 2199 2198 2199 0	300 23110	0040	2002	184713	8266	22.3	103	1	15.9	27	-	2000	19.7	19.8	15.0
Jaiz 2311 040 2004 202/13 6308 244 99 1 17.3 29 2002 22.3 22.5 15.4 2166 2005 213076 8291 25.7 101 1 16.6 31 2005 22.3 22.5 15.4 2187 2005 213076 8291 25.7 101 1 16.6 31 2006 25.7 24.8 15.5 2188 2190 2190 2007 2007 2007 2007 213.3 2006 213.3 2007 2007 2007 213.1 15.1 15.1 15.1 2190 2192 2193 2193 2193 2007 2007 2007 21.1 2007 21.1 2007 2007 20.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 15.1 16.1 20.1 20.1 16.1 20.1	301 23110	0040	2003	187/30	//88	24.1	104	1	16.	28		2001	17.2	20.1	14.4
333 2371 (046) 2003 241 223 152 2186 2003 2130/3 6231 2003 244 223 152 2187 2188 2005 25.7 24.8 155 2188 2006 25.7 24.8 15.8 2189 2190 2192 33 2006 2007 2192 2192 33 2007 16.9 17.5 15.1 2193 2194 2195 36 7 平均値標ອ(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2195 2196 2196 2197 0.68 0.54 0.05 2198 2199 2198 2198 2198 0.68 0.79 0.20 2198 2199 2199 2199 2199 0.89 0.79 0.20 2198 2199 2199 2199 2199 0.89 0.79 0.20 2199 2199 2199 200 2199	302 23110	040	2004	202713	8308	24.4	99	1	17.2	29		2002	22.3	22.5	15.4
1130 31 2004 2447 203 153 2187 2188 2007 248 158 2189 33 2006 257 248 158 2190 33 2007 2007 248 158 2190 33 2007 2007 248 158 2190 35 (全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 36 平均値標ぎ(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2195 38 平均値標ぎ(1990-2005) 0.68 0.49 2196 40 41 平均値相関係数(1985-2005) 0.95 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2199 44 50 50 0.95 0.89 0.20	2186	040	2005	213070	0291	23.1	101	1	10.0	30		2003	24.1	22.9	15.2
110 100 100 100 100 2188 33 2000 2130 240 100 2189 33 2007 2130 2130 2130 2130 2130 2130 16.9 17.5 15.1 2190 2133 36 平均値構成(全規問) 0.33 0.49 -0.05 2193 36 平均値構成(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2194 38 平均値構成(1985-2005) 0.68 0.54 0.05 2195 40 40 41 平均値構成(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2196 43 平均値構成(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2196 2198 43 平均値構成(1980-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 45 45 45 45	2187									31		2004	24.4	20.5	10.0
2188 34 2007 2190 34 2007 2190 35 (全期間 年中均値) 16.9 17.5 15.1 2192 35 (全期間 年中均値) 0.33 0.49 -0.05 2193 36 7 平均値傾き(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 38 平均値傾き(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2195 40 40 40 41 平均値相関係数(全期間) 0.57 0.78 -0.15 2196 40 41 平均値相関係数(1980-2005) 0.89 0.48 -0.15 2198 43 平均値相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2198 43 平均値相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 45 45 45 45 45	2188									33		2005	20.1	24.0	10.0
2190 35 (全期間 年平均値) 16.9 17.5 15.1 2191 36 37 平均値硬き(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 37 平均値硬き(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 38 平均値硬き(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2194 39 平均値硬き(1980-2005) 0.68 0.64 0.05 2195 40 41 平均値相関係数(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2196 41 平均値相関係数(1985-2005) 0.95 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1980-2005) 0.68 0.79 0.20 2199 44 45 45 45 45	2189									34		2007			
2191 36 36 2192 37 平均値傾ぎ(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 38 平均値傾ぎ(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2194 39 平均値傾ぎ(1990-2005) 0.68 0.54 0.05 2195 40 - - - - 2196 40 - - - - 2196 41 平均値相関係数(2年期間) 0.57 0.78 -0.15 2196 42 平均値相関係数(1980-2005) 0.89 0.48 - 2196 43 平均値相関係数(1980-2005) 0.89 0.48 - 2198 43 平均値相関係数(1980-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 - - - - 2200 45 - - - -	2190									35		(全期間 年平均値)	16.9	17.5	15.1
2192 37 平均值倾ぎ(全期間) 0.33 0.49 -0.05 2193 38 平均值倾ぎ(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2194 39 平均值倾ぎ(1990-2005) 0.68 0.54 0.05 2195 40 41 平均值傾ぎ(1990-2005) 0.68 0.54 0.05 2196 41 平均值相関係数(全期間) 0.57 0.78 -0.15 2197 42 平均值相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2198 43 平均值相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44	2191									36					
2193 38 平均值模ぎ(1985-2005) 0.79 0.68 0.16 2194 39 平均值模ぎ(1980-2005) 0.68 0.54 0.05 2195 40 40 40 40 40 2197 42 平均值相関係数(1980-2005) 0.89 0.48 2198 43 平均值相関係数(1980-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 45 45 45 45	2192									37		平均値傾き(全期間)	0.33	0.49	-0.05
2194 39 平均値標意(1990-2005) 0.68 0.54 0.05 2195 40 40 41 2195 42 707 7078 -015 2196 41 平均値相関係数(24期間) 0.57 0.78 -048 -048 2196 42 平均値相関係数(1985-2005) 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 2199 44 45 45 45	2193									38		平均値傾き(1985-2005)	0.79	0.68	0.16
2195 40 41 中均值相関係数(全期間) 0.57 0.78 -0.15 2197 42 平均值相関係数(1985-2005) 0.95 0.89 0.48 2198 43 平均值相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 43 平均值相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2190 44 45 45 45	2194									39		平均値傾き(1990-2005)	0.68	0.54	0.05
2190 41 半均値相関係数(全期時) 0.57 0.78 -0.15 2197 42 平均値相関係数(1995-2005) 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2290 44 45 45 45 45	2195									40					
42 平均値相関係数(1980-2005) 0.95 0.89 0.48 2198 43 平均値相関係数(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 44 44 44 44	2196									41		半均値相関係数(全期間)	0.57	0.78	-0.15
43 十分間相関所設(1990-2005) 0.89 0.79 0.20 2199 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 <t< td=""><td>2197</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>42</td><td></td><td>〒→3700↑日間1後数(1985-2005) 平均は4月間の新(1000,0005)</td><td>0.95</td><td>0.89</td><td>0.48</td></t<>	2197			-						42		〒→3700↑日間1後数(1985-2005) 平均は4月間の新(1000,0005)	0.95	0.89	0.48
2200 45	2199									43		〒*31년1日月1余数(1990-2005)	0.89	0.79	0.20
	2200									44					
2201 46 廖16 平均值(1990-2005) 195 200 152	2201								-	46	1016	平均値(1990-2005)	195	20.0	15.2
If ← + → N <u>vA23 06</u> / 「▲」 If ← + → N 選定5局(グラブ) Ox (グラブ) SPM (グラブ) 開連)、116 Ox 年平均(2 Ox 年最大(3 5 6 Ox 濃度))	H 4 P H \ W	A23 08	i/	9. Q		•			• /	14 4	H<	躍定5局/グラフ_Ox/グラフ_SPM/グラ.	7]関連入1·16.0x年	<u>平均/2.0x年最大</u>	(3·5·6.0x濃度別明

→「グラフ_Ox 図 1~6」シート 図 1.a、b が自動作成されます。

・「2.Ox 年最大」シート

①局コードに、オートフィルタをかけ、「最大値(年総計)」の列からデータをコピーし、当該年度 から「値のみ貼付」(青色表示のデータ入力部へ)。

→「グラフ_ $Ox_$ 図 1~6」シート 図 2.a、b が自動作成されます。

・「4.Ox 平年値との偏差」シート

①局コードに、オートフィルタをかけ、「有効測定値総和(年総計)」と「有効測定時間総和(年総計)」の2列の1990年以降のデータをコピーし、「値のみ貼付」(青色表示のデータ入力部へ)。
 →「グラフ_Ox_図1~6」シート 図4が自動作成されます。

(2) ryAPP_06.xls(Ox 年度別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)
 集計データ「ryAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市名 _2006.xls」に入力します。

・「3・5・6.Ox 濃度別時間数」シート

①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、集計データ ryAPP_06.xls を開く。

- ②局コードにオートフィルタをかけ、選定5局のコードを順に選択する。
- ③「有効測定時間総和(0-19)」のデータ部分をコピーし、青色表示部へ「値のみ貼付」。
- ④上の操作を(20-39)、(40-59)、・・・・(100-119)について繰り返す。
- ⑤120 ppb 以上については、基本解析マニュアルB (3)年度別濃度ランク別集計データ」で計算した 「120ppb 以上の有効測定時間総和」をコピー。

Microsoft Excel												
ファイル(P) 編集(P) 表示(2) 挿入(P) 書式(2) ツール(P) データ(2) ウィンドウ(2) ウィンドウ(2) ヘルブ(P) 質問を入力して(だだい ・ 質問を入力して(だだい ・												
	1 1 1 1 X	B B	Q Σ + ≜1 ₹1 (m 43 100)	• ? _ M	SPゴシ	ック	• 11 • B / U = = =	1 1 9 %	• **8 **8 €≡	🗄 🖂 - 💩 -	A -	
C6 • 16 4032												
ru 422 06 vie												
197120_00.XIS			-				E 11 2000 5 5 7 / Als					
A	日	したが別では公司へへつい	古動測定時間紛至(2.4.2)	十六郎につけまた。		A	В		D 00 1	E L		
	年度	1月 XJ/则正10総和UU-197	1990,则正时间総和UU-197	有知測定電税	-		UX I	J-19ppp	20-39 ppp	40-59 ppp	60-79pt	
275 23110040	1070	40330	4032		2		項日	有効測定時間 総新約-10)	伯知測定時間 総和(20-30)	伯知測定时間 総和(40-50)	有知測定 総和60-	
277 23110040	1979	53731	5299		3		測定局コード	23110040	23110040	23110040	231	
278 23110040	1980	69022	6874		4		測定局名	八幡中学校	八幡中学校	八幡中学校	八幡	
279 23110040	1981	63759	6877		5	図5	1976			2 4 1 2 1 2	7.510	
280 23110040	1982	61.032	5814		6	図6	1977	4032	3626	743		
281 23110040	1983	59244	6686		7		1978	5235	2317	814		
282 23110040	1984	50549	7339		8		1979	5299	2706	620		
283 23110040	1985	40276	7255		9		1980	6874	1594	202		
284 23110040	1986	44221	7427		10		1981	6877	1614	158		
285 23110040	1987	41750	6429		11		1982	5814	1940	274		
286 23110040	1988	50317	6907		12		1983	6686	1671	145		
287 23110040	1989	39390	5788		13		1984	7339	927	111		
288 23110040	1990	45995	5901		14		1985	7255	950	121		
289 23110040	1991	39757	5130		15		1986	1421	949	65		
290 23110040	1992	49352	5509		16		1987	6429	1669	206		
291 23110040	1993	49613	5614		1/		1988	6907	1438	28		
292 23110040	1994	40200	5151		10		1909	0700 5001	1300	241		
293 23110040	1006	40043	5100		20		1991	5130	1674	241		
295 23110040	1007	45805	4907		21		1992	5509	2192	534		
296 23110040	1998	40827	4326	-	22		1993	561.4	2179	384	_	
297 23110040	1999	35592	4141		23		1994	5151	2270	621		
298 23110040	2000	40467	4635		24		1995	51.05	2327	471		
299 23110040	2001	43950	4806		25		1996	5188	2389	595		
300 23110040	2002	40830	4241		26		1997	4907	2345	763		
301 23110040	2003	37227	3737		27		1998	4326	2343	1050		
302 23110040	2004	38287	3964		28		1999	41 41	2333	1227		
303 23110040	2005	36867	3589	2	29		2000	4635	2711	740		
2186					30		2001	4806	2656	381		
2187					31		2002	4241	2725	1140		
2188					32		2003	3737	2571	1228		
2189					33		2004	3964	2597	1458		
2190					34		2005	3589	2811	1631		
2191					30		2000					
2192					27		2007		1			
2193					38		時間数傾考(全期間)	-88.6	28.7	34.5		
2195					39		時間数傾意(1985-2005)	-167.7	85.1	68.9		
2196					40		時間数傾き(1990-2005)	-132.6	59.7	75.8		
2197					41				50.7	. 0.0		
2198					42		時間数相関係数(全期間)	-0.66	0.39	0.66		
2199					43		時間数相関係数(1985-2005)	-0.94	0.93	0.89		
2200					44		時間数相関係数(1990-2005)	-0.92	0.90	0.84		
2201	0.00				45						०.च⊄।	
N (→ N \ <u>r20vA23 05</u> /						• • K	- クリノ_SPMK クワノ」MD里 K1・16.0×年・	T+3/2.Ux年前		0多方时可回数(4.	UX∓∓∏ //	

→「グラフ_Ox_図 1~6」シート 図 3(a,a',b,b')、図 5(a'g)、図 5(a'g')、図 6(a-f)が自動作成され る。

図3は、測定開始年度が異なる場合があるので、グラフの元のデータの範囲を確認する。

図1~5は、グラフ内のタイトルの「都道府県市」を確認する。(選定5局シートの情報を引用) 図6は、グラフ内のタイトルの「都道府県市」「測定局名」を確認する。

- (3) yAPP_10.xls (SPM 年度別単純集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 10:SPM)
 集計データ「yAPP_10.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市名 _2007.xls」に入力する。
- 「7.SPM 年平均」シート(基本的に「1.Ox 年平均」シートでの作業と同じ手順)
 ①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_10.xls を開く。
 ②局コードにオートフィルタをかけ、選定 5 局のコードを順に選択する。
 ③「平均値(年総計)」をコピーし、当該年度から「値のみ貼付」。(青色表示のデータ入力部へ)

→「グラフ_SPM_図 7~9」シート 図 7.a、b が自動作成される。

・「8.SPM_2%除外値」シート

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_10.xls を開く。

②局コードにオートフィルタをかけ、選定5局のコードを順に選択する。

③「日平均値の 2%除外値」をコピーし、当該年度から「値のみ貼付」。(青色表示のデータ入力部へ)

→「グラフ_SPM_図 7~9」シート 図 8.a,b が自動作成されます。

- (4) ryAPP_10.xls (SPM 年度別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 10:SPM)
 集計データ「ryAPP_10.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。
- ・「9.SPM 濃度別時間数」シート(基本的に「3・5・6.Ox 濃度別時間数」シートでの作業と同じ手順)
 ①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、ryAPP_10.xls を開く。(PP:県コード 10:SPM)
 ②局コードにオートフィルタをかけ、選択した 5 局のコードを順に選択する。
 ③「有効測定時間総和(0-19)」のデータ部分をコピーし、青色表示部へ「値のみ貼付」。
 ④上の操作を(20-39)、(40-59)、・・・(240 以上)について繰り返す。
 - →「グラフ_SPM_図 7~9」シート 図 9.a,a,b,bが自動作成されます。

 (5) mAPP_06.xls(Ox 月別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)
 集計データ「mAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。

・「10.Ox 月平均」シート

①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、mAPP_06.xls を開く。(PP:県コード 06:Ox)

②集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致するG列(月平均値)の月平均値をコピーし、「10.0x月平均」シートの当該部へ値のみ貼付、但し、集計がかかっているため、下記方法でコピー。

集計がされている場合のコピー方法:

- ・コピーしたセル範囲をドラックで選択。
- ・「Alt」キーを押しながら「;」キーを押す。
- ・「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押す。

・貼り付けたいセルで、右クリックし、「形式を選択して貼り付け」で、「値」をチェックし、「OK」 をクリック。

*G列は、月平均値:有効測定値総和÷有効測定時間値総和

🛛 Microsoft Excel													
ファイルモン 編集(2) 表示(2) 挿入(2) 書式(2) ツール(2) データ(2) ウィンドウ(3) ヘルブ(4) 質問を入力してくだい													
1 加加加加 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本													
□ 定目動為16 型 X 時度・ダ り・0・0 5・4 引 編 200% ・20 MSP1222 ・11 ・ B / H 三百三国 网 %、 12 型 使信 □・20・A・A・													
G1853 • & E1853/F1853													
M MA23_06.xls				231 名古屋巾	_2005サンフル.xls								
1 2 3 4 A	B C D	G	H	A	B	С	D	E	F	(
	年度年 月	平均値(1990-2005)	半均值(月)最	1 Ox	集計期間	1990-2005	1990-2005	1990-2005	1990-2005	199			
+ 1554	4 台訂	31,4885/331		2	測定向コート	23110040	23110050	23112020	23113010	23			
+ 1588	5 금리 6 스카	29.2879623		3 🗵 10.a	測正同名	八幡中学校	富田支所	日水小字校	守山保健所	名東1:			
+ 1605	7 合計	19 55737999		4	1	14.7	10.2	10.8	10.9				
+ 1622	8 合計	19 42972781		6	2	24.5	25.2	20.7	20.7				
+ 1639	9 合計	17.87447354		7	4	28.4	29.9	24.9	26.0				
 1656 	10 合計	14.47686801		8	5	27.9	31.4	24.3	23.2				
 1673 	11 合計	10.82631974		9	6	23.9	24.8	17.8	18.3				
	12 合計	10.82393978		10	7	19.7	19.5	14.2	14.6				
- 1691 23108040 合計		19.54524462		11	8	19.8	19.1	14.0	15.2				
<u>+ 1703</u>	1 合計	12.51538908		12	1	18.6	18.5	13.5	14.5				
<u> 1715 1715 </u>	2 合計	15.27146933		13	10	14.7	15.1	10.9	11.1				
+ 1727	3 合計	21.30194105		14	11	11.8	11.9	8.3	7.9				
• 1739	4 合計	24.97378074	<u>.</u>	15	12	12.3	12.0	8.9	8.2				
1/01	5 급히 6 스카	25.08012987		16	半均值	19.6	20.1	15.2	15.4				
+ 1775	7 스카	18 51 57 68 98		17									
+ 1787	8 合計	18 56465969		18	45.01.4008.8								
+ 1799	9 승計	17 251 23746		19	果計期間	1990-1994	1990-1994	1990-1994	1990-1994	199			
+ 1811	10 合計	13.21850368		20	測定向コート	23110040	23110050	23112020	23113010	23			
• 1823	11 合計	10.37292033		2 210.6	測定同石	八幡中学校	苗田支所 11 F	日水小学校	守山保健所	治果1:			
 1835 	12 合計	11.23733448		23	2	10.5	168	128	14.0				
- 1836 23109020 合計		17.47655852		24	2	20.6	21.3	169	173				
+ 1853	1 合計	14.70922756		25	4	23.0	24.6	23.6	25.6				
<u>+ 1870</u>	2 合計	19.08897293		26	5	22.6	28.2	24.6	25.7				
<u>+ 1887</u>	3 合計	24.46228535		27	6	21.8	21.0	20.0	20.1				
<u> 1904 1904 </u>	4 台計	28.37125406		28	7	18.2	15.8	15.6	15.0				
+ 1921	5 合計	27.9101134		29	8	16.0	12.5	14.6	14.4				
+ 1938	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23.89034262		30	9	16.4	14.8	14.5	15.2				
1070	/ 급히	19.00204733		31	10	10.3	11.6	9.6	10.0				
+ 1989	9 수計	18.61506849		32	11	9.1	9.1	7.6	7.6				
+ 2006	10 合計	14 74409847		33	12	9.3	9.7	7.2	7.1				
+ 2023	11 合計	11.75350869		34	半均值	15.9	16.3	14.7	14.8	()			
+ 2040	12 合計	12.34975057		35									
- 2041 23110040 合計		19.58110673		30	体中小学生	0001 0005	0001 000F	0001 0005	0001 0005	000			
2058	1 合計	15.18737617		37	米可期回	2001-2005	2001-2005	2001-2005	2001-2005	200			
• 2075	2 合計	19.09625		39 10-	測定周ョート	23110040	23110050	23112020	23113010	<u>23</u> 次亩/			
• 2092	3 合計	25.24326206		40	/炽ルビ/回行	7.11#1+41X 19.6	自田又川 18-2	ロハハナ4X 19.7	5 田林庭川 123	心果1:			
<u>+ 2109</u>	4 合計	29.90790365		41	2	23.2	21.6	16.2	15.0				
• 2126	5 合計	31.38828437		42	3	27.9	27.9	23.9	23.5				
• <u>2143</u>	6 合計	24.75240138		43	4	32.5	32.0	26.8	25.6				
• 2160	/ 台計	19.53523385		44	5	30.8	32.6	22.9	19.7				
H + + H \mA23_06 \1990-2005 /19	90-1994/2001-2005/	•	•	H + > H /7	·15.SPM年平均/8	B.SPM_2%除外值	(9.SPM濃度別時	捐助)10.0x月	<u>平均/11·17·19.</u>	SPM月平			

③「1990-1994」シート、「2003-2007」シートも同様に、コピーして「値のみ貼付」。

→「グラフ_関連図 $10 \sim 14$ 」シート 図 $10(a \sim c)$ が自動作成されます。

 (6) mAPP_10.xls (SPM 月別単純集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 10:SPM)
 集計データ「mAPP_10.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。

・「11.SPM 月平均」シート(基本的に「10.Ox 月平均」シートでの作業と同じ手順)

①基本解析 A ファイルを開いたままの状態で、mAPP_10.xls を開く。(PP:県コード 10:SPM)
 ②集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致する G 列(月平均値)の月平均値をコピーし、「11.SPM 月平均」シートの当該部へ値のみ貼付、但し、集計がかかっているため、下記方法でコピー。

集計がされている場合のコピー方法:

- ・コピーしたセル範囲をドラックで選択。
- ・「Alt」キーを押しながら「;」キーを押す。
- ・「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押す。
- ・貼り付けたいセルで、右クリックし、「形式を選択して貼り付け」で、「値」をチェックし、「OK」 をクリック。
- ③「1990-1994」シート、「2003-2007」シートも同様に、コピーして「値のみ貼付」。

→「グラフ_関連_図 10~14」シート 図 11(a~c)が自動作成されます。

(7) mAPP_04.xls(NOx 月別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 04:NOx)

集計データ「mAPP_04.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名.xls」に入力します。

① 基本解析ファイルを開いたままの状態で、mAPP_04.xls を開く。(PP:県コード 04:NOx)

「12.NOx 月平均」シート

→基本的に「10.Ox 月平均」シート、「11.SPM 月平均」シートでの作業と同じ手順で、NOx につ いて上の作業を繰り返す。

「1990-2007」シート、「1990-1994」シート、「2003-2007」シートについて作業。

→「グラフ_関連_図 10~14」シート 図 12(a~c)が自動作成されます。

- (8) rmAPP_06.xls(Ox 月別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)
 集計データ「rmAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 A ファイル「PPA 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。
- 「13.Ox60ppb 以上月別時間数」シート

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、rmAPP_06.xlsを開く。(PP:県コード 06:Ox)

- ②集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致する AJ 列(60ppb 以上時間総和)の月別時間数をコピーして、「13.Ox60ppb 以上月別時間数」シートの当該部へ「値のみ貼付」。但し、集計がかかっているため、下記方法でコピー。
 - 集計がされている場合のコピー方法:
 - ・コピーしたセル範囲をドラックで選択。
 - ・「Alt」キーを押しながら「;」キーを押す。
 - ・「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押す。
 - ・貼り付けたいセルで、右クリックし、「形式を選択して貼り付け」で、「値」をチェックし、「OK」 をクリック。

*AJ列は、60ppb以上有効測定時間総和:

- =有効測定時間総和(60-79)+有効測定時間総和(80-99)+有効測定時間総和(100-119)+有効測定 時間総和(120-139)+有効測定時間総和(140-159)+ 有効測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総 和(180-199)+有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)
- ③集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致する AE 列(月別有効測定時間総和)の1~12月及び合計時間数をコピーして、「13.Ox60ppb以上月別時間数」シートの当該部(K~O列の青色表示部)へ「値のみ貼付」。但し、集計がかかっているため、上記の、集計がされている場合のコピー方法でコピー。
- ④「1990-1994」シート、「2003-2007」シートも同様に、コピーして「値のみ貼付」。

→「グラフ_関連_図 10~14」シート 図 13(a~c)、図 13(a'~c')を自動作成。

- (9) rmAPP_10.xls (SPM 月別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 10:SPM)
 集計データ「rmAPP_10.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析ファイル A「PPA 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。
- 「14.SPM100ug 以上月別時間数」シート(基本的に「13.Ox60ppb 以上月別時間数」シートでの作業と同じ)

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、rmAPP_10.xls を開く。(PP:県コード 10:SPM)

②集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致するAJ列(100µg/m³以上時 間総和)の月別時間数をコピーして、「14.SPM100ug以上月別時間数」シートの当該部へ「値の み貼付」。但し、集計がかかっているため、下記方法でコピー。

集計がされている場合のコピー方法:

- ・コピーしたセル範囲をドラックで選択。
- ・「Alt」キーを押しながら「;」キーを押す。
- ・「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押す。

・貼り付けたいセルで、右クリックし、「形式を選択して貼り付け」で、「値」をチェックし、「OK」 をクリック。

*AJ列は、100 µ g/m³以上有効測定時間総和:

有効測定時間総和(100-119)+有効測定時間総和(120-139)+ 有効測定時間総和(140-159)+ 有効 測定時間総和(160-179)+ 有効測定時間総和(180-199)+ 有効測定時間総和(200-219)+ 有効測定 時間総和(220-239)+有効測定時間総和(240 以上)

- ③集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致する AE 列(月別有効測定時間総和)の1~12月及び合計時間数をコピーして、「14.SPM100ug以上月別時間数」シートの当該部(K~O列の青色表示部)へ「値のみ貼付」。但し、集計がかかっているため、上記の、集計がされている場合のコピー方法でコピー。
- ④「1990-1994」シート、「2003-2007」シートも同様に、コピーして「値のみ貼付」。

→「グラフ_関連_図 10~14」シート 図 14(a~c)、図 14(a'~c')を自動作成。

※ 基本解析 A ファイルのグラフ作成後、下記事項を確認すること(エクセルのバージョンによって は、デフォルトが違っているため、空白セルのプロットを確認する必要がある)。各ファイルに設 定する必要があるため、基本解析 B、C ファイルも同様の確認作業を行う。



- ① 任意のグラフを選択する。
- ② グラフを選択したまま、ツール→オプ ションをクリック

- オプション **?** | X | インターナショナル 自動保存 エラー チェック スペル チェック セキュリティ 編集 全般 移行 ユーザー設定リスト バラフ 表示 計算方法 色 アクティブ グラフ 空白セルのプロット: 💿 プロットしな()(空白を残す)(N) () 値 0 でプロットする(Z) ○ 補間してブロットする(1) ✓ 可視セルのみプロットする(P) ▽ ウィンドウの大きざに合わせてサイズを変更する(C) グラフのヒント ✓ 名前を表示する(S) ☑ 値を表示する(<u>H</u>) OK キャンセル
- ③ グラフタブをクリック
- ④ アクティブグラフ→空白セルの プロット:プロットしない(空 白を残す)を選択

⑤ OK

基本解析様式Bファイルの作成

 (1) mAPP_06.xls(Ox 月別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)
 集計データ「mAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 B ファイル「PPB 都道府県市 名 2007.xls」に入力します。

・「15.Ox 月平均」シート

①基本解析 B ファイルを開いたままの状態で、mAPP_06.xls を開く。(PP:県コード 06:Ox)
 ②月別有効測定時間が 500 時間に満たないデータを棄却する。

G列:平均値(月総計)の前に1列挿入する。G1にH1(平均値(月総計))をコピーし貼り付け。G2に「=IF(F2>=500,H2,NA())」と入力し、最終行までコピーする。

③「mAPP_06」シートでA列(局コード)~D列(月)まで、オートフィルタをかける。

④A列(局コード): 選定5局を順に選択。

D列(月):4月から順に選択(4~12月、1~3月まで)。

⑤G列(平均値(月総計))の、測定開始年度から2007年度までをコピーし、基本解析 Bファイル(PPB都道府県.xls)の「15.Ox月平均」シートのC列以降の、水色表示のデータ入力部へ、 順次「値のみ貼り付け」。

⑥水色表示のデータ入力部で、「#N/A」と表示されたデータを DEL する。

⑦「5 局平均」の 2007 年度分計算

2006 年度の計算式(BU35~CF35)までをコピーし、2007 年の行(BU36)へ「数式のみ貼り 付け」し(黄色表示部)、表示桁数を調整する。

⑧平均値(2003-2007)の計算部分を1行下へずらす。31~35行についての平均を、32~36行に ついての平均とする(黄色表示部)。

→「グラフ_Ox_図 15」シート 図 15(a~l)、図 15(a'~l')を自動作成。

- (2) rmAPP_06.xls(Ox 月別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 06:Ox)
 集計データ「rmAPP_06.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 B ファイル「PPB 都道府県市 名_2007.xls」に入力します。
- 「16.Ox60ppb 以上月別時間数」シート
 - ①基本解析ファイルを開いたままの状態で、rmAPP_06.xls を開く。(PP:県コード 06:Ox)
 - ②「rmAPP_06」シートの、AJ列の AJ1 に「60ppb 以上有効測定時間総和」と入力し、AJ2 に下の 計算式を入力し、最終行までコピーする。
 - *AJ列は、60ppb以上有効測定時間総和:
 - =L 列(有効測定時間総和(60-79))+N 列(有効測定時間総和(80-99))+P 列(有効測定時間総和 (100-119))+R 列(有効測定時間総和(120-139))+T 列(有効測定時間総和(140-159))+V 列(有効測 定時間総和(160-179))+X 列(有効測定時間総和(180-199))+Z 列(有効測定時間総和(200-219))+ AB 列(有効測定時間総和(220-239))+AD 列(有効測定時間総和(240 以上))
 - ③AK列のAK1に「60ppb以上出現時間率」と入力し、AK2に「=AJ2/AE2*100」という計算式を入力し、
 最終行までコピーする。AE列は、トータル有効測定時間総和。
 - ④「rmAPP_06」シートで A 列(局コード)~D 列(月)まで、オートフィルタをかける。
 - (5A列(局コード): 選定5局を順に選択。
 - D列(月):4月から順に選択(4~12月、1~3月まで)。
 - ⑥AJ列(60ppb以上時間数総和)の、当該年度から2007年度までをコピーし、基本解析ファイル (PP都道府県.xls)の「16.Ox60ppb以上月別時間数」シートのC列以降の、水色表示のデー タ入力部(5~36行の上段)へ、順次「値のみ貼り付け」。
 - ⑦AK列(60ppb 以上出現時間率)の、当該年度から 2007 年度までをコピーし、基本解析ファイル(PP 都道府県.xls)の「16.Ox60ppb 以上月別時間数」シートの C 列以降の、水色表示のデータ入力部(54~85 行の下段)へ、順次「値のみ貼り付け」。
 - ⑧「60ppb 以上出現時間率」のデータ入力部で、欠測により「#DIV/0」のエラー表示が出た場合は、その データのみ DEL。対応する「60ppb 以上時間数総和」についても、有効測定時間総和がゼロなので、 「0」データも DEL。
 - ⑨「5局平均」の2007年度分計算
 - 2006 年度の計算式 (BU35~CF35、BU96~CF96) までをコピーし、2007 年度の行 (BU36、 BU97) へ「数式のみ貼り付け」し (黄色表示部)、表示桁数を調整する。
 - ⑩平均値(2003-2007)の計算部分を1行下へずらす。31~35行・92~96行についての平均を、 32~36行・93~97行についての平均とする(黄色表示部)。
 - →「グラフ_Ox_図 16」シート 図 16-1(a~l)、図 16-1(a'~l')、図 16-2(a~l)、図 16-2(a'~l')を自動作成。
 - ※データ表は、4 月~3 月、グラフは、1 月~12 月の順に配列されているため、データ確認時に は注意してください。

※ 基本解析 B ファイルのグラフ作成後、基本解析 A ファイルの手順(P.12)と同様に、空白セルの プロットを確認する。

基本解析様式Cファイルの作成

(1) mAPP_51.xls (PO 月別単純集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 51:PO)
 集計データ「mAPP_51.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市 2007.xls」に入力します。

「PO 月平均」シート

①基本解析 C ファイルを開いたままの状態で、mAPP_51.xls を開く。(PP:県コード 51:PO)

- ②集計した「1990-2007」シートの局コードが、測定局コードと一致するG列(月平均値)の月平均値をコピーし、「PO月平均」シートの当該部へ値のみ貼付、但し、集計がかかっているため、下記方法でコピー。
 - 集計がされている場合のコピー方法:
 - ・コピーしたセル範囲をドラックで選択。
 - ・「Alt」キーを押しながら「;」キーを押す。
 - ・「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押す。
 - ・貼り付けたいセルで、右クリックし、「形式を選択して貼り付け」で、「値」をチェックし、「OK」 をクリック。
- ③「1990-1994」シート、「2003-2007」シートも同様に、コピーして「値のみ貼付」。

→「グラフ_PO 経月変動図 21」シート 図 21(a~c)を自動作成。 ※本年度から、図のタイトルを、「PO 濃度月平均値の経月変動」から、Ox や SPM 等と合わ せ、「PO 月平均値経月変動」に変更した。

- (2) rmAPP_10.xls (SPM 月別濃度ランク別集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 10:SPM)
 集計データ「rmAPP_10.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市 _2007.xls」に入力します。
- 「SPM100ug m-3 以上月別時間数」シート
 - ①基本解析ファイルを開いたままの状態で、rmAPP_10.xls を開く。(PP:県コード 10:SPM)
 - ②「rmAPP_10」シートの AJ 列のセル AJ1 に「100ug/m3 以上有効測定時間総和」と入力し、AJ2
 に下の計算式を入力し、最終行までコピーする。
 - *AJ列は、100ug/m3以上有効測定時間総和:
 - =P列(有効測定時間総和(100-119))+R列(有効測定時間総和(120-139))+T列(有効測定時間総和 (140-159))+V列(有効測定時間総和(160-179))+X列(有効測定時間総和(180-199))+Z列(有効 測定時間総和(200-219))+AB列(有効測定時間総和(220-239))+AD列(有効測定時間総和(240以 上))
 - ③AK 列の AK1 に「100ug/m3 以上出現時間率」と入力し、AK2 に「=AJ2/AE2*100」という計算式を入力し、最終行までコピーする。AE 列は、トータル有効測定時間総和。
 - ④「rmAPP_10」シートでA列(局コード)~D列(月)まで、オートフィルタをかける。
 - ⑤A列(局コード): 選定5局を順に選択。
 - D列(月):4月から順に選択(4~12月、1~3月まで)。
 - ⑥AJ列(100ug/m3以上時間数総和)の、当該年度から2007年度までをコピーし、基本解析ファイル(PP都道府県.xls)の「SPM100ug m-3以上月別時間数」シートのC列以降の、水色表示のデータ入力部(5~36行の上段)へ、順次「値のみ貼り付け」。
 - ⑦AK列(100ug/m3以上出現時間率)の、当該年度から2007年度までをコピーし、基本解析ファイル(PP都道府県.xls)の「SPM100ug m-3以上月別時間数」シートのC列以降の、水色表示のデータ入力部(54~85行の下段)へ、順次「値のみ貼り付け」。
 - ⑧「100ug/m3以上出現時間率」のデータ入力部で、欠測により「#DIV/0」のエラー表示が出た場合は、 そのデータのみ DEL。対応する「100ug/m3以上時間数総和」についても、有効測定時間総和がゼロ なので、「0」データも DEL。
 - ⑨「5局平均」の2007年度分計算
 2006年度の計算式(BU35~CF35、BU96~CF96)までをコピーし、2007年度の行(BU36、BU97)へ「数式のみ貼り付け」し(黄色表示部)、表示桁数を調整する。
 - ①平均値(2003-2007)の計算部分を1行下へずらす。31~35行・92~96行についての平均を、 32~36行・93~97行についての平均とする(黄色表示部)。
 - →「グラフ_SPM 月別経年変化図 19」シート 図 19-1 (a~l)、図 19-1 (a'~l')、図 19-2(a~l)、図 19-2(a~l)、図 19-2(a'~l')を自動作成。
 - ※データ表は、4月~3月、グラフは、1月~12月の順に配列されているため、データ確認時には 注意してください。

(3) mAPP_10.xls (SPM 月別単純集計データ)、mAPP_51.xls (PO 月別単純集計データ) からのデ
 ータ入力 (PP:県コード 10:SPM、51:PO)

集計データ「mAPP_10.xls」および「mAPP_51.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市名_2007.xls」に入力します。

・「SPM 月別経年変化」シート

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ mAPP_10.xls を開く。

②月別有効測定時間が 500 時間に満たないデータを棄却する。

G 列 : 平均値(月総計)の前に 1 列挿入する。G1 に H1(平均値(月総計))をコピーし貼り付 け。G2 に「=IF(F2>=500,H2,NA())」と入力し、最終行までコピーする。

③「mAPP_10」シートで A 列(局コード) ~D 列(月) まで、オートフィルタをかける。
 ④A 列(局コード): 選定 5 局を順に選択。

D列(月):4月から順に選択(4~12月、1~3月まで)、選定5局のコードを順に選択する。 ⑤G列(平均値(月総計))をコピーし、基本解析Cファイル(C都道府県市 2007.xls)の「SPM

月別経年変化」シートの、水色表示のデータ入力部へ、順次「値のみ貼り付け」。

⑥水色表示のデータ入力部で、「#N/A」と表示されたデータを DEL する。

⑦「5局平均」の2007年度分計算

2006 年度の計算式(BU35~CF35)までをコピーし、2007 年の行(BU36) へ「数式のみ貼り 付け」し(黄色表示部)、表示桁数を調整する。

⑧平均値(2003-2007)の計算部分を1行下へずらす。31~35行についての平均を、32~36行に ついての平均とする(黄色表示部)。

→「グラフ_SPM 月別経年変化図 18」シート 図 18(a~l)、図 18(a'~l')を自動作成。

※データ表は、4月~3月、グラフは、1月~12月の順に配列されているため、データ確認時には 注意してください。 ・「PO 月別経年変化」シート

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ mAPP_51.xls(51:PO)を開く。 ②月別有効測定時間が 500 時間に満たないデータを棄却する。

G列:平均値(月総計)の前に1列挿入する。G1にH1(平均値(月総計))をコピーし貼り付け。G2に「=IF(F2>=500,H2,NA())」と入力し、最終行までコピーする。

③「mAPP_51」シートでA列(局コード)~D列(月)まで、オートフィルタをかける。
 ④A列(局コード):選定5局を順に選択。

D列(月):4月から順に選択(4~12月、1~3月まで)、選定5局のコードを順に選択する。 ⑤G列(平均値(月総計))をコピーし、基本解析Cファイル(C都道府県市 2007.xls)のmAPP 51.xls

を開き、「PO 月別経年変化」シートの水色表示のデータ入力部へ、順次「値のみ貼り付け」。

⑥水色表示のデータ入力部で、「#N/A」と表示されたデータを DEL する。

⑦「5局平均」の2007年度分計算

2006 年度の計算式(BU35~CF35)までをコピーし、2007 年の行(BU36) ~ 「数式のみ貼り 付け」し(黄色表示部)、表示桁数を調整する。

⑧平均値(2003-2007)の計算部分を1行下へずらす。31~35行についての平均を、32~36行に ついての平均とする(黄色表示部)。

→「グラフ_PO 月別経年変化図 20」シート 図 20(a~l)、 図 20(a'~l')を自動作成。

※本年度から、グラフタイトルを「PO2・・・」から、「PO 濃度月平均値」に変更しています。

※データ表は、4月~3月、グラフは、1月~12月の順に配列されているため、データ確認時には 注意してください。

(4) yAPP_51.xls(PO 年度別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 51:PO)

集計データ「yAPP_51.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市名 _2007.xls」に入力します。

・「PO 年平均」シート

- ①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_51.xls を開く。
- ②「yAPP_51」シートでA列(局コード)のみにオートフィルタをかける。
- ③A列(局コード): 選定5局を順に選択。
- ④E列(平均値(年総計))をコピーし、基本解析 Cファイル(C都道府県市_2007.xls)の「PO 年平均」シートの、水色表示のデータ入力部へ、順次「値のみ貼り付け」。

→「グラフ_PO・NOx・NMHC 経年変化図 17・22・23」シート 図 17.a、b を自動作成。

(5) yAPP_04.xls(NOx 年度別単純集計データ)からのデータ入力(PP:県コード 04:NOx)

集計データ「yAPP_04.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市名 _2007.xls」に入力します。

・「NOx 年平均」シート

①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_04.xls を開く。

- ②「yAPP_04」シートでA列(局コード)のみにオートフィルタをかける。
- ③A列(局コード): 選定5局を順に選択。
- ④E列(平均値(年総計))をコピーし、基本解析 Cファイル(C都道府県市_2007.xls)の「NOx 年平均」シートの、水色表示のデータ入力部へ、順次「値のみ貼り付け」。

→「グラフ_PO・NOx・NMHC 経年変化図 17・22・23」シート 図 22.a、b を自動作成。
基本解析マニュアル 基本編3

(6) yAPP_07.xls (NMHC 年度別単純集計データ)からのデータ入力 (PP:県コード 07:NMHC)

集計データ「yAPP_07.xls」の選定 5 局の集計データを、基本解析 C ファイル「C 都道府県市名 _2007.xls」に入力します。選定 5 局のうち、MMHC を測定していない局があった場合は、該当欄を 空欄のままとし入力しないで下さい。

・「NMHC 年平均」シート

- ①基本解析ファイルを開いたままの状態で、集計データ yAPP_07.xls を開く。
- ②「yAPP_07」シートでA列(局コード)のみにオートフィルタをかける。
- ③A列(局コード): 選定5局を順に選択。
- ④E列(平均値(年総計))をコピーし、基本解析 Cファイル(C都道府県市_2007.xls)の「NMHC 年平均」シートの、水色表示のデータ入力部へ、順次「値のみ貼り付け」。

→「グラフ_PO・NOx・NMHC 経年変化図 $17 \cdot 22 \cdot 23$ 」シート 図 23.a、b を自動作成。

※ 基本解析 C ファイルのグラフ作成後、基本解析 A ファイルの手順(P.12)と同様に、空白セルの プロットを確認する。

©国立環境研究所

基本解析マニュアル 基本編4 ファイル交換サーバによるファイル提出

提出ファイルは、ファイル交換サーバを利用してデータ送信します。

1)提出ファイルの準備

基本解析集計結果は以下を提出します。

・集計結果ファイル(集計プログラム出力ファイルをエクセルで保存したもの)
 (1)単純集計年度別ファイル yAPP_SS.xls
 (2)単純集計月別ファイル mAPP_SS.xls
 (3)濃度ランク別集計年度別ファイル ryAPP_SS.xls
 (4)濃度ランク別集計月別ファイル mAPP_SS.xls

(y:年 A:一括出力 PP:都道府県コード SS:測定項目コード)
 提出する測定項目コード
 単純集計 03:NO₂、04:NOx、06:Ox、07:NMHC、10:SPM、51:PO
 濃度ランク別集計 06:Ox、10:SPM

- ・基本解析A・B・Cファイル(基本解析結果をエクセルブック形式で保存したもの。A・B・Cの3種類)
 - PPA 都道府県市名_YYYY.xls
 - PPB 都道府県市名_YYYY.xls
 - PPC 都道府県市名_YYYY.xls
 - (PP:都道府県コード、市の場合は、都道府県コードの3桁目に1を追加する)
 - (YYYY:解析対象最終年度、2007年度の場合は、2007)
 - 例:231 名古屋市_2007.xls

・基本考察(基本解析結果を基に考察を作成したもの。ワード形式)

PP 都道府県市名_YYYY.doc

(PP:都道府県コード、市の場合は、都道府県コードの3桁目に1を追加する)

- (YYYY:解析対象最終年度、2007年度の場合は、2007)
- 例:231 名古屋市_2007.doc
- 2 集計結果ファイルを圧縮形式ファイルにまとめます。
 - ・集計結果ファイルは複数のファイルがあります。一つのフォルダにデータファイルを集めて、フォルダごと圧縮してください。
 - データファイル単位で送信されるため、ファイル数が多いと、送信時間が長くなり、送信エラーが起きやすくなります。必ず、圧縮ファイルで送信して下さい。
 - ・ファイルの圧縮形式は ZIP あるいは LZH を使用してください。
 - ・提出するファイル名は、「PP 集計結果(都道府県市名)_YYYY.zip(または.lzh)」として下さい。
 (PP:都道府県コード、市の場合は、都道府県コードの3桁目に1を追加する)
 (YYYY:解析対象最終年度、2007 年度の場合は、2007)
 例:231 集計結果(名古屋市)_2007.zip、01 集計結果(北海道)_2007.lzh など
- ③ 基本解析ファイル(A・B・C)を圧縮形式ファイルにまとめます。

- ・ファイルの圧縮形式は ZIP あるいは LZH を使用してください。
- ・提出するファイル名は、「PP 基本解析結果(都道府県市名)_2007.zip(または.lzh)」として下さい。
 (PP:都道府県コード、市の場合は、都道府県コードの3桁目に1を追加する)
 (YYYY:解析対象最終年度、2007年度の場合は、2007)

例:231 基本解析結果(名古屋市)_2007.zip、01 基本解析結果(北海道)_2007.lzh など

2)ファイル交換サーバへ接続

ブラウザで以下のURLを開きます。
 国立環境研究所ファイル交換サーバURL: <u>https://fxp.nies.go.jp/</u>

② ログイン画面に、ユーザ ID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックしてください。
 (ログイン画面イメージ)



ユーザ ID は、各機関固有のユーザIDです。 パスワードは、ユーザが自由に変更できます。

ログイン情報(ユーザIDとパスワード)は、メールでお知らせしておりますが、わからない場合は、C型共同研究事務局まで、ご連絡下さい。

3)ファイルの送信(アップロード)

ログインすると、ファイルー覧画面が表示されます。 最初に表示される場面(デフォルト)では、各都道府県、市に対応したフォルダ「cox@@@」が表示され、過去に送信 したフォルダやファイル名が表示されます。 (ファイルー覧画面イメージ)

🚰 Proself ファイル一覧 - M	icrosoft Internet Explorer				
」 ファイル(E) 業 [≫] 」アドレス	(D) 🕘 https://fxp.nies.go.jp/proself/list/propfind.go	▼ 🛃 移動 🛛 Google C-	• »	◎ 設定▼	1
https://fxp.nies.go.jp	ファイル一覧	<u>Web公開一覧</u>			
Permanent 国立環境研究所 ファイル交易サーバ	TOP • Micox01			📰 縮小表示	
and the second s	□ 全選択	++ イブ 百分口 16*16	(计句)法非常	■¥200/主击员	
34,222MB/50,000MB	▶ Pain ▶ 一つ上のフォルダ		11201101418		╴╴
	□ □ <u>平成17年度提供分</u>	2007/07/11 11:01:53 フォルダ			
▶ 新規フォルタ作成	□ □ 王成18年度提供分	2007/09/29 13:39:03 フォルダ		(詳細)	
			Power	d by <u>Proself Ver.</u>	2
					-
e			🖰 🔯 එ	- 你一种小	11

①ファイルー覧画面で、「アップロード」をクリックしてください。

(ファイルー覧画面イメージ)

🕘 Proself ファイル一覧 - M	icrosoft Internet Explorer			_ 🗆 ×
] ファイル(E) 🖇 🎽 アドレス	(D) 🗿 https://fxp.nies.go.jp/proself/list/propfind.go	▼ 🛃 移動 🛛 Google 💽 -	• • »	🔾 設定 🗕 🥂
https://fxp.nies.go.jp	<u>ファイル一覧</u>	<u>Web公開一</u>	it mi	^
Permanent 国立環境研究所 ファイル文物サーバ	TOP ▶ Cl _{cox01}			部小表示
La cox	□ 全選択			Thomas and
69%	○ 宮町 一つ上のフォルダ	サイス 単新日 推想 フォルダ	行力的音楽校	
	□ □ <u>平成17年度提供分</u>	2007/07/11 11:01:53 フォルダ		
新規フォルダ作成	□ ■ <u>平成18年度提供分</u>	2007/09/29 13:39:03 フォルダ		() () () () () () () () () () () () () (
1997日-16	>		Power	d by <u>Proself Ver.2</u>
				-
E			- 🔒 🔮 A	

②アップロード画面が表示されます。「参照」ボタンをクリックし、送信したいデータファイルを指定します。

(アップロード画面)

アイルED 🖇 🗍 アドレス(D) 🗃	https://fxp.nies.go.jp/proself/list/put.go	▼ 🛃 移動 🛛 Google G▼	<u>-</u> +* 〇 設定-
https://fxp.nies.go.jp	22414-1覧	Web/21	l=¥i
BARRARZH 7/14287-4	📌 アップロード		
AN COX	□ 同じファイル名の場合は上書きする	▶ アップロード街に映る公開する	
34,222MB/50,000MB	播 <mark>™</mark> TOP ▶ ¹¹ cox01		
	7		参照
	1. 2		
	Р Т 1		。
C NIES JAP	2		参照。
	1. 1.		
	Р Т		参照
	2		** 82
	-11 1		- 20 A TO -
	アップロード	 一覧に戻る 	

③送信したいデータファイルをすべて指定した後、「アップロード」ボタンをクリックします。

③全てのファイルを指定したら画面下にある「アップロード」をクリックしてください。

(アップロード画面イメージ)

🕘 Proself アップロード - Mic	crosoft Internet Explorer	_ 🗆 ×
ファイル(E) \$ * アドレス	🔘 🜒 https://fxp.nles.go.jp/proseif/lst/put.go 🔄 🛃 移動 🛛 Google 💽 🔹 🔹) Re- 🥂
https://fsp.nies.go.jp	<u>────────────────────────────────────</u>	*
CO Permanent	アップロード	
A cox	□同じファイル名の場合は上書きする □ アップロード後にWeb公開する	
34,222MB/50,000MB	编 <mark>阵</mark> TOP > Micex01	
	フ ア ル レ	
	2 7 ル ル	
C NIES fap	フ ア ル ル	
	フ ア ル ル	
	77771 参照4.	
	アップロード 一覧に戻る	_
6	🗎 🎽 🔿 ታንዳ-	-*>† //

④アップロードされたファイルの確認

ファイルー覧画面に、以下のファイル名が表示されているかを確認します。

- ・集計結果ファイル(zip または lzh ファイル)
- ・基本解析結果ファイル(zip または lzh ファイル)
- ・基本考察(Word ファイル)

🕘 Proself ファイル一覧 - M	icrosoft Internet Explorer						×
」 ファイル(E) 🗯 🎽 🛛 アドレス	(D) 🕘 https://fxp.nies.go.jp/proself/list/pu	it.go	💌 🔁 移動 📗	Google G	- - ♦,	* 🔘 設定 🖌 🧂	7
https://fxp.nies.go.jp	<u>ファイル一覧</u>			<u>Web/</u>			-
Permanent 国立環境研究所 ファイル交換サーバ	<u>[™]TOP</u> ▶ [™] cox01					部小表示	
a cox	□ 全選択						
69%	○ 20 前	<u><u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u></u>	更新日	<u>種類</u> フォルダ	1寸刀01青辛饭	言手布世"「青辛饭	
	□ □ 平成17年度提供分		2007/07/11 11:01:53	フォルダ		田田	
▶ 新規フォルダ作成	🔲 🦰 平成18年度提供分		2007/09/29 13:39:03	フォルダ		(詳細)	
	DI北海道.xls	909KB	2007/10/16 12:31:29	xls		(詳細)	
10000000000000000000000000000000000000					Power	by Proself Ver.2	•
e					- 🔒 🎯 AV	ターネット	//.

(ファイルー覧画面)

4)ファイル送信完了の連絡

ファイルを送信した旨、<u>cox_office@nies.go.jp</u>宛にメールにてご連絡下さい。 件名には「基本解析ファイル送信完了(〇〇都道府県市)」とお書き下さい。 本文は、送信者の署名情報(ご氏名、所属、メールアドレス)をお書き下さい。

<u>5)問い合わせ先</u> 国立環境研究所 環境情報センター 情報整備室 C型共同研究事務局(担当:宮下) E-Mail:cox_office@nies.go,jp TEL:029-850-2342 FAX:029-850-2566 〒305-0856 つくば市小野川 16-2